

第二十八回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十二號

委員長 男爵辻 新 次君 副委員長 男爵武井 守正君
朝鮮總督府判事ノ恩給ニ關スル法律案特別委員會

委員長子爵勘解由小路資承君

副委員長

千頭 清臣君

產生馬組合法改正法律案特別委員會

委員長 伯爵奧平 昌恭君 副委員長 仁尾 惟茂君

煙草專賣法中改正法律案特別委員會

委員長

藤田 四郎君

副委員長

男爵青山 元君

明治四十五年二月二十日(水曜日)

午前十時五分開議

議事日程第十二號 明治四十五年三月二十日

午前十時開議

第一 朝鮮醫院及濟生院特別會計法案(政府提出、議院送付、衆)

第二 朝鮮總督府判事ノ恩給ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第三 衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長)

第一讀會

第一讀會ノ續(委員長)

第一讀會

第四 刑事訴訟法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第五 水先法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第六 產牛馬組合法改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第七 煙草專賣法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔河井書記官朗讀〕

一昨十八日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ

送付セリ

鐵道又ハ船舶ト露國ノ鐵道又ハ船舶トノ貨物ノ聯絡運送ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ

旨ヲ衆議院ニ通知セリ

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

同日本院ニ於テ採擇スヘキモノト議決シタル陰陽連絡鐵道速成ノ請願外二

十件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

保險業法中改正法律案特別委員會

樺太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案

朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

日本勸業銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

明治四十三年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十三年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十三年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十三年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

新聞紙法中改正法律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、朝

鮮醫院及濟生院特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

朝鮮醫院及濟生院特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

衆議院議長 大岡 育造

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

朝鮮醫院及濟生院特別會計法

第一條 朝鮮總督府醫院、朝鮮總督府道慈惠醫院及朝鮮總督府濟生院ノ會

計ハ之ヲ通シテ一ノ特別會計トシ資金ヲ有シ政府支出金、資金ヨリ生スル收入、院收入、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

第二條 前條ノ政府支出金ハ年額金四拾五萬圓ヲ限トシ毎年度豫算ノ定ム

ル所ニ從ヒ朝鮮總督府特別會計ヨリ之ヲ繰入ルヘシ

第三條 資金ハ政府ヨリ交付シ又ハ他ヨリ寄附シタル財產及歲入殘餘ヨリ

成ル

第四條 資金ハ之ヲ支消スルコトヲ得ス但シ用途ヲ指定シタル資金ハ用途

指定者ノ同意ヲ得テ元金ヲ使用スルコトヲ得

第五條 職員ノ俸給、諸給、旅費、事務所費、診療醫育教養及救療ニ關スル諸費、修繕費、雜支出金、其ノ他寄附者ノ指定シタル費途ヲ以テ本會

計ノ歲出トス

第六條 政府ハ毎年度本會計ノ歲人歲出豫算ヲ調製シ歲人歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 每年度豫算ニハ避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ爲豫備費ヲ設クヘシ

第八條 寄附財產ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第九條 本會計ニ於テ外國ヨリ直接ニ圖書、機械、標本、藥品及實驗用材料ノ買入ヲ爲ス場合ニハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第十條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
附則
〔政府委員荒井賢太郎君演壇ニ登ル〕

本法ハ明治四十五年度ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際朝鮮總督府醫院及朝鮮總督府道慈惠醫院ニ屬スル財產ハ總テ之ヲ本會計ノ資金ニ編入スヘシ

〔政府委員荒井賢太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(荒井賢太郎君) 朝鮮總督府ノ醫院、同ジク道慈惠醫院、此ニツノ

病院ハ唯今マデハ朝鮮總督府ノ他ノ官衙ノ諸經費ト同ジク朝鮮總督府ノ會計ノ中ニ編入……豫算ヲ入レマシテ經理ヲ致シテ居リマシタ、然ルニ此兩院ト

モ自己固有ノ收入ガ澤山アリマシテ、其上ニ此兩院ノ目的ニ特ニ使用スル爲ニ寄附金ヲ致ス者ガゴザイマス、其寄附金ヲ受入レテ居リマシタノデ、左様ナ

有様デゴザイマスカラシテ、此兩院ノ會計ヲ特別ニ致シマシテ、自己ノ收入並ニ寄附金ヲ以テ經理ヲ致サセタ方ガ宜カラウト、斯ウ云フコトニ考ヘマシタ、ソレニ加ヘマスルニ今回新ニ濟生院ト云フモノヲ設ケマシテ、其濟生院ハ貧民ノ施療、不具者、精神病者等ノ教育、並ニ療治ノコトヲ掌ラシムル

積リデゴザイマス、トコロガ此濟生院ノ事業ハ殆ド總テ特別ノ寄附金ヲ以テ致スト云フコトニナフテ居リマスル、左様イタシマスルト云フト、是モ矢張

リ其收支ヲ特別ニ致シマシテ、經理ヲサセテ行ッタ方ガ宜カラウト、斯ウ云
フコトニ考ヘマシタ結果、前ノ二ツノ病院ト併セマシテ此濟生院等ヲ通ジテ
一ノ特別會計ヲ立テ、收支ヲ別途ニ整理ヲ致サセマシテ、而シテ追ミハ資金
ヲ積ミマシテ自營獨立ヲサセテ行クヤウニ致シタイ、恰モ内地ニ於ケル諸學
校ノ經理ノヤウナ工合ニ致シテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘヲ以チマシテ此特別
會計法案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、然リマシテ其寄附金又ハ自
己ノ收入以外ニ不足ヲ生ジマスルモノハ、政府カラ支出金ヲ致シマシテ補填
ヲ致シテ行カウ、其支出金モ本案ニ於キマシタ最高ノ限度ヲ限リマシテ追
独立自營ヲサセテ行クヤウニ致シタイ、左様イタシマスルニハ特別會計ニ致
シマスルヨリ外ニ經理ノ途ガゴザイマセヌノデ、此法案ヲ提出イタシマシタ
次第デゴザイマス、何卒御協賛ヲ願ヒマス

○男爵關義臣君 質問ガ政府委員ニゴザイマス、此第一條ノ朝鮮總督府醫院
ト云フモノハ一箇所デアリマスカ、如何、又朝鮮總督府道慈惠醫院トアルノ
ハ是ハ理由書ヲ見ルト「各道」トアルガ、各道デ見レバ朝鮮ハ八道悉ク其慈
惠醫院ガアルノデアリマスカ、且ツ此附則デ見マスルト是ハ既設デアリマス
ルガ、既設デアレバ、イツゴロ是ハ設立ニナツタモノデアリマスカ、ソレカ
ラ此濟生院ト云フモノハ附則ニモ見エマセヌガ、是ハ此度新規ニ設立ニナル
ノデアリマスカ、ソレカラ其事業ハ醫院トハ全ク別物デアリマスルカ、是ニ
ハ關係ナイ窮民等ノ救助ニ充テラレルバカリデアルカ、ソレカラ此醫院ト云
ヒ、慈惠醫院ト云フノハ畢竟、醫院トアルケレドモ濟生院ノコトデアリマス
カ、ソレヲ伺ヒタウゴザイマス、ソレカラ矢張リ第一條ニ「其ノ他ノ收入
ヲ以テ」トアルガ、其他ノ收入ハ何等ノ類デアルカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレ
カラ第二條ニ特別會計トアルノハ「朝鮮總督府特別會計ヨリ」トアリマス
カラ、是ハ無論今日此三基金ノ特別會計ノ外ノモノデアラウ、豫ネテ朝鮮
總督府ニハ特別會計ガ設ケテアツテ、ソレヨリ繰入レルモノデアリマセウカ、
ソレモ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ第七條ニ「豫算ノ不足ヲ補フ爲豫備費ヲ設ク
ヘシ」トアルガ、是ハ矢張リ此度設ケラレル三基金資本カラ豫備費ヲ設ケル
ノデアルカ、是ハドウデアルカ、理由ヲ伺ヒタイ

〔政府委員荒井賢太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(荒井賢太郎君) 御答ヘ致シマス、朝鮮總督府醫院ハ一箇所デゴ
ザイマス、是ハ舊韓國政府時代ニ大韓醫院ト稱シテ居リマシタモノヲ京城ニ

設立シテアリマシタ、ソレガ併合以來、朝鮮總督府醫院ト改稱イタシマシタ
ノデゴザイマシテ、京城ニ一箇所アリマス、ソレカラ朝鮮總督府道慈惠醫院
トアリマスノハ御尋ネオ通リ各道ニ一ツヅツアリマスノデ、唯今十三道ニ一
ツヅ、アリマスカラ、十三箇所設立ニナツテ居リマスル、是ハ舊韓國政府時
代ニ慈惠醫院ト云フヤウナモノヲ僅カニ立テマシタモノデゴザイマスルガ、
十三道ニ悉ク立テルヤウニナリマシタノハ併合以來デアリマシテ、漸ク此頃
ニ至リマシテ十三道ニ一ツヅ、設立スルト云フコトニナリマシタノデゴザイ
マス、ソレカラ朝鮮總督府濟生院、是モ御尋ネオ通リ今回之ヲ新タニ設立イ
タシマスルノデゴザイマシテ、是ハマダ成立ツテハ居リマセヌモノデアリマ
スル、是ハ貧民ノ施療、ソレカラ精神病者ノ療養、ソレカラ盲啞者、孤兒、棄
兒等ノ教育ヲ致サセマスル所デゴザイマス、全ク總督府醫院ト道慈惠醫院ト
ハ別ノ仕事ヲヤルコトニナツテ居リマス、ソレカラ此醫院ガ「寄附金其ノ他
ノ收入」ト申シマスルノハ、是ハ雜收入デアリマシテ極僅カナモノデアリマ
ス、不用物品ノ賣拂代デアリマスルトカ云フヤウナモノヲ此中ニ籠メテ居リ
マスル、ソレカラ第二條ニ朝鮮總督府特別會計ヨリ繰入レルト申シマスルノ
ハ、朝鮮總督府一般ニ通ジマシテ範圍ノ廣イ特別會計ガアリマスルノデ、其特
別會計ノ方カラ入レマシテ一般會計ノ方カラハ仰ガナイン、朝鮮總督府特別
會計ノ經費カラ此方ニ繰入レルト、斯ウ云フコトニ致シマス積リデアリマス、
第七條ニ「豫備費ヲ設クヘシ」トアリマスルノハ、是ハ此唯今提出ヲ致シテ
居リマスル醫院特別會計ノ豫算ノ中ニ豫備費ヲ設ケテ置ケト、即チ第一豫備
金ノ補充費途ニ屬スルヤウナ經費ハ矢張リ院自ラノ特別會計ノ中ニ豫備金ヲ
設ケテ支辨シテ行ケト、斯ウ云フコトニ致シマシタノデゴザイマス
ザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト記メマス

出、衆議院送付、第一讀會、本日ハ通牒文ノ朗讀ヲ省略シテ御異存ゴザイマセヌカニ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ徵フ〕

権太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十五年三月十九日

衆議院議長 大岡 育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

権太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案

第一條 権太ニ於テハ主務大臣ノ指定シタル區域内ノ石炭採掘ニ付採掘料ヲ徵收ス

前項ノ區域内ニ於ケル石炭ノ採掘ハ其ノ採掘料ヲ競争入札ニ付シ落札者ニ之ヲ許可ス

競争入札加入者ノ資格及競争入札ノ方法ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 行政官廳ハ前條ノ規定ニ依ル採掘ノ許可ニ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ノ條件ニ依リテ生スル鑛業權者ノ義務ハ鑛業權ト共ニ移轉ス

第三條 鑛業權者採掘料ヲ完納セス又ハ許可ノ條件ニ違反シタルトキハ行政官廳ハ其ノ鑛業權ヲ取消スコトヲ得

第四條 採掘料ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收法及明治四十年法律第三十四號ヲ準用ス但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際第一條ノ區域内ニ於ケル國ノ石炭採掘區域ニ付テハ國ハ其ノ鑛業權ヲ有ス

〔政府委員江木翼君演壇ニ登ル〕

○政府委員(江木翼君) 唯今提案ニナツテ居リマス権太ノ石炭ノ採掘ニ關シマスル法律案ノ提出ノ理由ヲ説明イタシマス、從來権太ニ於キマシテハ既

ニ鑛業法ノ一部ガ施行ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ権太ニハ大ナル炭田ガ三箇所モアルノデアリマス、即チ北部炭田、中部炭田、南部炭田ノ此三箇所ノ大ナル炭田ガ在ルノデゴザイマスガ、此炭田ハ権太廳ノ調査發見ニ係ル所ノモノデアリマシテ、從來一般ニ開放シテ居ラナイノデアリマス、即チ發

見者ノ先願ニ對シテ許可ヲ與ヘルト云フ方法ヲ執ツテ居ラナイノデアリマス、此度是等ノ炭田ヲ開放イタシマシテ、其採掘ヲ許可シタイト云フ目的ヲシテハ固ヨリ廳ガ其權利ヲ保留イタシマシテ、相當ノ條件ヲ附シテ採掘ヲ許可スルト云フ方法ヲ以チマシテ此進行ヲ圖リタイト希望シテ居ル次第ゴザイマス、即チ鑛業法ノ一部施行ニ對シマシテ相當ノ除外例ヲ設クル必要ヲ認メマシテ本案ヲ提出シタ次第ゴザイマス、御賛成ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十五年三月十九日

衆議院議長 大岡 育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル

文官判任以上ノ者ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

第一條 朝鮮ニ於ケル學校職員ニシテ國庫ヨリ俸給ノ支給ヲ受ケサル文官判任以上ノ者及其ノ遺族ハ本法ニ依リ退隱料及遺族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二條 府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ハ第一條、第二條、第九條、第二十條及第二十一條ヲ除クノ外前條ノ學校職員及其ノ遺族ニ之ヲ準用ス但シ同法第十條及第十六條中府縣郡市町村トアルハ俸給ヲ支辨スル團體ニ該當ス

○政府委員(江木翼君) 唯今提案ニナツテ居リマス権太ノ石炭ノ採掘ニ關シマスル法律案ノ提出ノ理由ヲ説明イタシマス、從來権太ニ於キマシテハ既

第三條 明治二十九年法律第十三號第二條及第四條ノ三ノ規定ハ之ヲ第一

條ノ學校職員ニ準用ス

第四條 第一條ノ學校職員ノ在官年月數ト文官判任以上ノ教官、教育事務ニ從事スル文官、文官判任以上ノ待遇ヲ受クル學校及圖書館ノ職員竝小學校本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル公立幼稚園長及保姆ノ在官又ハ在職ノ年月數トハ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法、府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法、在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法、明治二十九年法律第十三號、明治三十三年法律第七十七號、明治四十一年法律第三十五號及本法ニ依ル退隱料、扶助料及扶助金ノ支給ニ關シ相互通算ス

前項ノ規定ニ依リ通算スルコトヲ得ヘキ官職ノ種類及通算ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 明治四十年法律第四十八號ハ之ヲ第一條ノ學校職員ニ準用ス

前條ノ規定ニ依リ文官判任以上ノ教官又ハ教育事務ニ從事スル文官ノ在官年月數ヲ第一條ノ學校職員ノ在職年月數ニ通算スル場合ニ於テハ其ノ朝鮮ニ在勤シタル年月數ハ之ヲ第一條ノ學校職員ノ朝鮮ニ於ケル在勤年月數ト看做ス

附 則

本法ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ國庫納金ニ關スル規定ヲ除クノ外本法施行前退官シタル者又ハ本法施行前死亡シタル者ノ遺族ニモ之ヲ適用ス

朝鮮ニ於ケル在外指定學校職員ノ明治四十年四月二十三日以後ノ在職ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ第一條ノ學校職員ノ在官ト看做ス

〔政府委員江木翼君演壇ニ登ル〕

○政府委員(江木翼君) 唯今提案ニナリマシタ朝鮮ニ於ケル學校職員ノ退隱料並遺族扶助料ニ關スル法律案ノ提出ノ理由ヲ説明イタシマス、朝鮮ニ從來存シテ居リマシタ所ノ學校ノ中デ、主トシテ内地人ノ教育ヲ目的トシテ居リ

マシタ所ノ居留民團、又學校組合ニ於テ設立シタル所ノ學校ハ、韓國ノ存在シテ居リマスル間ハ在外指定學校ト致シマシテ、其指定ヲ受ケテ、從ツテ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法ノ適用ヲ受ケテ、恩給關係ニ於キマシテハ相當ノ保護ヲ受ケテ居ツタ次第アリマス、然ル所、既ニ併合ニナツタ以

上ハ、該法律ノ適用ヲ存續スルト云フコトハ穩當ヲ闕ク次第アリマシテ、是等ニ對シマシテ新ニ法ヲ設クルノ必要ヲ認メタノデアリマス、尙ホ從來

韓國ノ經營ニ係ツテ居ル、韓國ノ公共團體ノ經營ニ係ツテ居ル所ノ諸學校、即チ道、府、郡、面ト云フヤウナ種類ノ公共團體等ニ於キマシテ經營ヲシテ居リマシタ所ノ謂ハユル公立學校ナルモノハ、韓國時代ニ於テハ何等恩給制度ノ設ケガ無カッタノデアリマス、然ルニ併合ニナリマシテ、均シク我國ノ公立學校トナツタ以上ハ、是等ニ對シマシテモ同様ナル恩典ヲ設クルノ必要ヲ認メタノデアリマス、昨年ノ九月ニ朝鮮教育令ナルモノヲ制定サレマシテ、又之ニ引續キマシテ諸般ノ學校ノ組織、職員ノ資格等ニ付キマシテモ、略、制度ガ完成ヲ致シタ次第アリマシテ、此機會ヲ以テマシテ、是等公立學校ノ職員ノ退隱料並ニ遺族扶助料ニ關スル法律ヲ制定イタシマシテ、職員ノ保護ヲ全ウ致シタイト云フ目的ヲ以チマシテ本案ヲ提出イタシタ次第ゴザイマス、御審議ノ上御協賛ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 日本勸業銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會日本勸業銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治四十五年三月十九日

貴族院議長公爵德川家達殿 衆議院議長 大岡育造

日本勸業銀行法中改正法律案

日本勸業銀行法中改正法律案

第三十五條ノ二 日本勸業銀行ハ券面金額二十圓以下ノ勸業債券ヲ發行スル場合ニ於テハ賣出ノ方法ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ賣出期間ヲ定ムルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ社債申込證ヲ作ルコトヲ要セス

第一項ノ規定ニ依リ發行スル勸業債券ニハ商號及商法第百七十三條第二號、第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

商法第二百四條ノ三第一項ノ期間ハ勸業債券ノ賣出期間満了ノ日ヨリ之ヲ起算シ其ノ登記スヘキ事項ハ賣出期間内ニ於ケル勸業債券ノ賣上總額

及商法第二百七十三條第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項トス
賣出ノ方法ニ依リ勸業債券ヲ發行シタル場合ニ於ケル社債ノ登記ノ申請

書ニハ賣出期間内ニ於ケル勸業債券ノ賣上總額ヲ證スル書面ヲ添附スル
コトヲ要ス

第三十五條ノ三 日本勸業銀行ハ賣出ノ方法ニ依リ勸業債券ヲ發行セムト
スルトキハ賣出期間及商法第二百三條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事

ル事項ヲ公告スヘシ

第五十六條中「第三十四條」ノ下ニ「又ハ第三十五條ノ三」ヲ加フ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

農工銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十五年三月十九日

衆議院議長 大岡 育造

貴族院議長公爵德川家達殿

農工銀行法中改正法律案

農工銀行法中左ノ通改正ス

第二十六條ノ二 農工銀行ハ券面金額二十圓以下ノ農工債券ヲ發行スル場
合ニ於テハ賣出ノ方法ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ賣出期間ヲ定ム

ルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ社債申込證ヲ作ルコトヲ要セス

第一項ノ規定ニ依リ發行スル農工債券ニハ商號及商法第二百七十三號第二

號、第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

商法第二百四條ノ三第一項ノ期間ハ農工債券ノ賣出期間満了ノ日ヨリ之ヲ起

ヲ起算シ其ノ登記スヘキ事項ハ賣出期間内ニ於ケル農工債券ノ賣上總額

及商法第二百七十三條第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項トス

賣出ノ方法ニ依リ農工債券ノ發行シタル場合ニ於ケル社債ノ登記ノ申請
書ニハ賣出期間内ニ於ケル農工債券ノ賣上總額ヲ證スル書面ヲ添附スル

コトヲ要ス

第二十六條ノ三 農工銀行ハ賣出ノ方法ニ依リ農工債券ヲ發行セムトスル
トキハ賣出期間及商法第二百三條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事

トキハ賣出期間及商法第二百三條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事
項ヲ公告スヘシ

第四十六條中「第二十六條」ノ下ニ「又ハ第二十六條ノ三」ヲ加フ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十五年三月十九日

衆議院議長 大岡 育造

貴族院議長公爵德川家達殿

北海道拓殖銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第十二條第二項ヲ左ノ如ク改ム

債券ハ券面金額ヲ十圓以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者
ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

債券ヲ發行スル場合ニハ商法第二百九十九條ノ規定ヲ適用セス

第十二條ノ二 北海道拓殖銀行ハ券面金額二十圓以下ノ債券ヲ發行スル場
合ニ於テハ賣出ノ方法ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ賣出期間ヲ定ム
ルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ社債申込證ヲ作ルコトヲ要セス

第一項ノ規定ニ依リ發行スル債券ニハ商號及商法第二百七十三條第二號、

第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

商法第二百四條ノ三第一項ノ期間ハ債券ノ賣出期間満了ノ日ヨリ之ヲ起

算シ其ノ登記スヘキ事項ハ賣出期間内ニ於ケル債券ノ賣上總額及商法第
二百七十三條第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項トス

賣出ノ方法ニ依リ債券ヲ發行シタル場合ニ於ケル社債ノ登記ノ申請書ニ
ハ賣出期間内ニ於ケル債券ノ賣上總額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要
ス

第二條ノ三 北海道拓殖銀行ハ賣出ノ方法ニ依リ債券ヲ發行セムトスル
トキハ賣出期間及商法第二百三條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事

項ヲ公告スヘシ

第二十七條中「第十二條」ノ下ニ「又ハ第十二條ノ三」ヲ加フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員橋本圭三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(橋本圭三郎君) 唯今議題ニ上ボリマシタ勸業銀行法ノコトニ付キマシテ、チヨット御説明ヲ申上グマスガ、是ハ其次ノ農工銀行法ノ改正ト、其次ノ北海道拓殖銀行法ノ改正ト共ニ同一ノ理由ニ依ツテ政府ハ提出ヲ致シタノデアリマスガ、御承知ノ通り、改正商法ニ於キマシテハ、債券ノ募集ニ付キマシテハ、申込證ヲ徵スルト云フコトニナツテ居リマシテ、銀行ノ方デモ手數ヲ要シマス、又申込者ノ方ニ於テモ手數ヲ要シマスニ依ツテ、此證券ノ即チ金額ノ記載債券ノ勸業銀行カラ出シマスモノ、又ハ農工銀行、拓殖銀行、此三ツノ銀行カラ出シマス所ノ記載證券ニ對シマシテハ、商法ノ規定ニ據ラズシテ賣出ノ方法ヲ用キタイト云フ精神ニ依ツテ此法案ヲ提出シタノデゴザイマス、其他一二箇條ノ改正ハゴザイマスケレドモ、ソレハ其賣出ヲ許スト云フコトノ自然ノ結果トシテ改正ヲ要スル次第デアリマシテ、別ニ深イ意味ノアルノデハゴザイマセヌ、ドウゾ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今、大藏次官ノ説明セラレマシタ三案ハ、曩ニ農工銀行法中改正法律案ノ委員ガ出來テ居リマスカラ、其委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 明治四十三年度豫備金支出ノ件、明治四十三年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、明治四十三年度特別會計豫備金支出ノ件、明治四十三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、政府提出、衆議院送付、會議議

明治四十三年度豫備金支出ノ件

明治四十三年度豫備金支出ノ件

明治四十三年度特別會計豫備金支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及付候也

明治四十五年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 大岡 育造

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、朝鮮總督府判事ノ恩給ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕
朝鮮總督府判事ノ恩給ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナヲト議決セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月十八日

右特別委員長

子爵勘解由小路資承

〔子爵勘解由小路資承君演壇ニ登ル〕

○子爵勘解由小路資承君 朝鮮總督府判事ノ恩給ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告仕リマス、十八日ニ特別委員會ヲ開キマシテ、例ニ依リマシテ委員長副委員長ノ選舉ヲ終リ、引續キ委員會ヲ開イテ參リマシテ、初メニ本案ニ對スル政府委員ノ説明ヲ請ヒマシテゴザイマス、昨年ノ五月ニ朝鮮總督府裁判所令ニ改正ガゴザイマシタ、此改正ノゴザイマシタノハ

「判事」體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキハマシタノデアリマス、裁判所構成法ノ七十七條ニハ「判事ハ退職シタルトキハ恩給法ニ依リ恩給ヲ受ク」ト云フ規定ガゴザイマス、之ニ依リマシテ退職判事ハ恩給ニ浴シテ居リマスノデゴザイマス、朝鮮總督府ノ判事ノ退職者ニモ内地ノ退職判事ト同ジク恩給ニ浴スルヤウニサセタイト云フ所ノ理由を得マシタノデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ審議ノ結果、至當ナル所ノ案ト認メマシテ可決ニナリマシテゴザイマス、右御報告仕リマス、以上述べ

マシタ如ク極ク明瞭ナル案デゴザイマスカラ、讀會省略ノ上、委員會ノ決議ニ御賛成ヲ願ヒタウゴザイマス、讀會省略ノ動議ヲ提出シマス

○子爵青木信光君 賛成

○馬屋原二郎君 賛成

○伯爵松平直之君 賛成

○田邊輝實君 賛成

○男爵原口兼濟君 賛成

○男爵德川厚君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○男爵野田鉄通君 賛成

○子爵酒井忠亮君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 勘解由小路子爵ノ讀會ヲ省略スルト云フ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、衆議院議員選舉法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

衆議院議員選舉法中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月十八日

右特別委員副委員長

男爵 有地 品之允

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議員選舉法中改正法律案
第一章 議員ノ定數及選舉ニ關スル區域
〔小字ハ特別委員ノ修正、ハ同削除ノ符號〕

第一條 第一項ヲ左ノ如ク改ム

衆議院議員ハ四百五十人以内トシ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

第五條 削除

第六條 郡市長ハ選舉長トナリ選舉ニ關スル事務ヲ擔任ス

一選舉區ニシテ數郡市ニ涉ルトキハ地方長官ハ關係郡市長ノ一人ヲシテ選舉長タラシムヘシ

第十一條 中左ノ如ク改ム

六年ノ懲役又ハ

三無期又ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者及舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者但シ復權ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

四禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第四十二條 投票管理者ハ一名又ハ數名ノ投票立會人ト共ニ投票ノ翌日迄

二投票函、投票錄及選舉人名簿ヲ選舉長ニ送致スヘシ

第四十四條 中「選舉長」ヲ「地方長官」ニ改ム

第六章 選舉會

第五十一條 選舉會ハ選舉長ノ屬スル郡市役所又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

第五十二條 選舉長ハ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第五十三條 選舉長ハ投票立會人中ヨリ三名以上七名以下ノ選舉立會人ヲ選任シ選舉會ニ立會ハシムヘシ但シ一選舉區タル市ニ於テハ投票立會人ヲ以テ選舉立會人トス

第五十四條 選舉長ハ一選舉區タル市ニ於テハ投票ノ翌日其ノ他ノ郡市ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘン

第五十五條 第一項、第五十七條及第五十九條中「開票管理者」ヲ「選舉長」ニ、「開票立會人」ヲ「選舉立會人」ニ改ム

第五十五條第二項ヲ左ノ如ク改ム

選舉長ハ選舉立會人ト共ニ各投票所ノ投票ヲ點檢スヘシ

第五十六條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第六十條 選舉長ハ選舉錄ヲ作リ選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ選舉立會

人ト共ニ署名シ投票錄ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第六十一條 削除

第六十二條中「開票」ヲ「選舉會」ニ改ム

第六十三條中「開票所」ヲ「選舉會場」ニ改ム

第七章 削除

第六十四條 削除

第六十五條 削除

第六十六條 削除

第六十七條 削除

第六十八條 削除

第六十九條 削除

第七十條中第二項乃至第五項ヲ削リ左ノ二項ヲ加フ

當選人ヲ定ムルニ當リ投票數同シキトキハ年齡ニ依リ年齡同シキトキハ

抽籤シテ其ノ順位ヲ定ム

判決ニ依リ當選無效トナリタルトキハ選舉長ハ前二項ノ例ニ依リ更ニ當

選人ヲ定ムヘシ

第七十一條 當選人定マリタルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ氏名、得票數及選

舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數其ノ他選舉ノ結果ヲ地方長官ニ報告

スヘシ

前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ地方長官ハ直ニ當選人ニ當選ノ旨ヲ告知ス

ヘシ

當選人ナキトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第七十二條中「選舉長」ヲ「地方長官」ニ改ム

第七十四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

當選人其ノ當選ヲ辭シ若ハ死亡シ又ハ當選人ナキトキハ地方長官ハ選舉

ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ但シ第七十條第二

項ニ依リ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シ又ハ死亡シタルトキハ選舉長ハ次

ノ順位者ヲ當選人ト定ムヘシ

同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無效トナリタル者アル

トキハ地方長官ハ第一項ノ例ニ依リ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

第七十八條中第一項ヲ削リ第二項ヲ左ノ如ク改ム

議員ニ關員ヲ生シタルトキハ地方長官ハ内務大臣ノ命ニ依リ其ノ命ヲ受

ケタル日ヨリ二十日以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

第八十六條中「十圓以上」ヲ削ル

第八十七條○中「一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上」ヲ「一年以下ノ禁錮又ハニ改ム選舉ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ五百圓

以下ノ罰金ニ處ス

一 投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ金錢、物品、手形其ノ他ノ利益皆ハ公私ノ

職務ヲ選舉人又ハ選舉運動者ニ供與シ又ハ供與セムコトヲ申込ミタ

ル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾セムコトヲ周旋勸誘シタル者並其ノ供

與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二 投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ酒食遊覽其ノ他方法及名義ノ何タルヲ問ハ

ス人ヲ饗應接待シ又ハ選舉會場若ハ投票所ニ往復スル爲船車馬ノ額

ヲ供給シ又ハ旅費休泊料ノ額ヲ代辦シタル者並此等ノ約束ヲ爲シタ

ル者及其ノ饗應接待若ハ船車馬ノ額ノ供給ヲ受ケタル者又ハ旅費休

泊料ノ額ノ代辦ヲ受ケタル者並此等ノ約束ヲ受ケタル者

三 投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、

組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其他利害ノ關係ヲ

利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其ノ誘導ニ應シタル者

投票ヲ得シメ又ハ投票ヲ妨クルノ目的ヲ以テ前項各號ニ該當スル所爲ヲ

爲シタル者亦同シ

前二項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル物件ハ之ヲ沒收シ既ニ費用シタルモノハ其ノ價ヲ追徵ス

第八十八條中「二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「二年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ改メ第一

號中選舉人ノ下ニ「議員候補者、選舉運動者」ヲ加フ

第八十九條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人及監視者選舉人ノ投

票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シ又ハ其ノ選舉區ノ投票結了前票數ヲ表示シタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス其ノ表示シタル事實虛偽ナルトキ亦同シ

第九十條中「開票所」ヲ「選舉會場」ニ、「一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上」ヲ「一年以下ノ禁錮又ハ」ニ、「ノ罰亦前項ニ同シ」ヲ「ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改ム

第九十一條中「開票管理者」及「開票所」ヲ削リ「四月以上四年以下ノ輕禁錮ニ處ス」ヲ「五年以下ノ禁錮ニ處ス」ニ改メ第二項ヲ左ノ如ク改ム

多衆聚合シテ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ五年以下ノ禁錮ニ處ス
ノ情ヲ知テ勢ヲ助ケタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス刑法第百六條ノ例ニ依リ處斷ス

第九十二條中「開票所」ヲ削リ「ヲ嘯聚シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處ス其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處ス」ヲ「聚合シタル者ハ首魁ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ改メ第二項ヲ削ル

第九十三條中「選舉人、議員候補者及選舉運動者ニシテ」ヲ削リ「二年以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上」ヲ「二年以下ノ禁錮又ハ」ニ改ム

第九十四條中「開票所」ヲ削リ「前條ノ例ニ依リ一等ヲ加フ」ヲ「三年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ改ム

第九十五條中「十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上」ヲ「六月以下ノ禁錮又ハ」ニ改ム

第九十七條中「六月以下ノ輕禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「一年以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ改ム

第九十八條中「一年以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ヲ「一年以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス」ニ改ム

第九十九條中「五圓以上」ヲ削ル

第一百條中「第九十二條第二項」ヲ削ル

第二百二條 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者ハ判決ヲ以テ罰金ニ付テハ判決確定ノ日ヨリ其ノ他ノ刑ニ付テハ其ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ

執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ二年以上八年以下選舉人及被選舉人タルコトヲ禁ス

第一百六條第一項中「掌ル」ヲ「掌リ町村役場トアルハ戸長役場又ハ之ニ準スヘキモノニ該當ス」ニ改メ第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

郡長ヲ置カナル地ニ於テハ本法ニ規定シタル郡長ノ職務ハ北海道廳支廳長、島司又ハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

東京市、大阪市ノ區及北海道、沖繩縣ノ區ニ付テハ本法中市トアルハ區、市長トアルハ區長、市役所トアルハ區役所ニ該當ス

第一百七條中「開票管理者」ヲ削ル

第一百十條中「及」ヲ削リ「沖繩縣」ノ下「其ノ他交通不便ノ地」ヲ加フ

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ次ノ總選舉前ノ議員補闕ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本法ハ北海道廳根室支廳管内千島ニ屬スル諸郡及東京府小笠原島ニハ當分ノ内之ヲ施行セス

沖繩縣ニ於テ初メテ議員ヲ選舉スルニ付必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限リ第十八條乃至第二十條第二十四條第二十六條第二十七條ノ期日及期間ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

(別表)

東京府		議員總數	二十四人
東京市	郡部		
第一區	麹町區	十七人	
第二區	赤坂區		一人
第三區	麻布區		一人
第四區	芝區		一人
第五區	京橋區		二人
日本橋區			一人

京都府		議員總數														
第四區	第三區	第二區	第一區	第十八區	第十七區	第十六區	第十五區	第十四區	第十三區	第十二區	第十一區	第九區	第八區	第七區	第六區	
船井郡	北桑田郡	南桑田郡	相樂郡	久喜郡	宇治郡	紀伊郡	乙訓郡	葛野郡	愛宕郡	京都市	八人	北多摩郡	西多摩郡	南多摩郡	伊豆原島郡	荏原七島郡
船井郡	北桑田郡	南桑田郡	相樂郡	久喜郡	宇治郡	紀伊郡	乙訓郡	葛野郡	愛宕郡	京都市	八人	北多摩郡	西多摩郡	南多摩郡	足立郡	葛飾郡
一人	一人	一人	一人	三人	五人	三人	五人	三人	一人	一人	一人	一人	一人	二人	三人	

神奈川縣		議員總數														第六區			
第二區	第一區	橫須賀市	横濱市	橫須賀市	横濱市	第十區	第九區	第八區	第七區	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	第六區			
横須賀市	横濱市	横須賀市	横濱市	横須賀市	横濱市	泉南郡	泉州郡	南北內郡	中河內郡	豐能郡	三島郡	北河內郡	東成郡	西成郡	堺市	南區	北區	東區	西區
横須賀市	横濱市	横須賀市	横濱市	横須賀市	横濱市	泉南郡	泉州郡	南北內郡	中河內郡	豐能郡	三島郡	北河內郡	東成郡	西成郡	堺市	南區	北區	東區	西區
一人	三人	五人	三人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	三人	二人	二人	二人	七人	一九人	一人	一人	

第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	兵庫縣	議員總數	第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區				
久良岐郡	都筑郡	橘樹郡	三浦郡	高座郡	津久井郡	十六人	神戶市	姫路市	有馬郡	川邊郡	多紀郡	美囊郡	明石郡	印南郡	加古郡	多可東郡	加西郡	磨崎郡
久良岐郡	都筑郡	橘樹郡	三浦郡	高座郡	津久井郡	十六人	神戶市	姫路市	有馬郡	川邊郡	多紀郡	美囊郡	明石郡	印南郡	加古郡	多可東郡	加西郡	磨崎郡
久良岐郡	都筑郡	橘樹郡	三浦郡	高座郡	津久井郡	十六人	神戶市	姫路市	有馬郡	川邊郡	多紀郡	美囊郡	明石郡	印南郡	加古郡	多可東郡	加西郡	磨崎郡
久良岐郡	都筑郡	橘樹郡	三浦郡	高座郡	津久井郡	十六人	神戶市	姫路市	有馬郡	川邊郡	多紀郡	美囊郡	明石郡	印南郡	加古郡	多可東郡	加西郡	磨崎郡

人 人 人 人 人 人 三 人 二 一 三 人 人 人 人 人

議員總數		第八區	第七區	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	長崎縣	第十二區	第十一區	第十區	第九區
議員	總數	佐 佐 田 渡	高 潟 岡 部	長 鴻 瀬 市	新 縣 潟 市	新 郡 縣 市	長 崎 世 保	長 崎 崎 保						
對	壹	南 高 來	北 松 浦	東 彼 杵	西 彼 杵	佐 世 保	長 崎 市	九	人	三 原 郡	津 名 郡	朝 來 郡	出 石 郡	美 城 佐 赤 穗 郡
岐	南 高 來	松 浦	浦	來	郡	保	市			津 名 郡	朝 來 郡	養 父 郡	石 郡	城 崎 佐 穗 郡
馬	郡	郡	郡	郡	郡	市				津 名 郡	朝 來 郡	養 父 郡	石 郡	城 崎 佐 穗 郡

群馬縣											埼玉縣											
第六區		第五區		第四區		第三區		第二區		第一區		第六區		第五區		第四區		第三區		第二區		
高崎市	前橋市	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	第十一區	第十區	第九區	第八區	第七區	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	新潟市	長岡市		
秩父郡	児玉郡	北埼玉郡	南埼玉郡	大比里郡	北足立郡	入間郡	北埼玉郡	佐渡	西頸城郡	中頸城郡	高田市	東頸城郡	中魚沼郡	南魚沼郡	北魚沼郡	刈羽郡	三島郡	古志郡	南蒲原郡	中蒲原郡	岩船郡	東蒲原郡
一 人	一 人	二 人	二 人	二 人	二 人	二 人	一 人	十 人	一 人	一 人	二 人	一 人	一 人	一 人	一 人	二 人	二 人	一 人	二 人	二 人	一 人	

茨城縣											千葉縣													
第九區		第八區		第七區		第六區		第五區		第四區		第三區		第二區		第一區		第六區		第五區		第四區		
郡水戸市	郡水戸市	第九區	第八區	第七區	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	千葉縣	市原郡	千葉郡	多野郡	勢多郡	利根郡	佐波郡	碓氷郡	吾妻郡	群馬郡	邑山郡	新田郡	高崎市	前橋市
安房郡	君津郡	夷隅郡	長生郡	匝瑳郡	海上郡	香取郡	東葛飾郡	印旛郡	市原郡	千葉郡	多野郡	勢多郡	利根郡	佐波郡	碓氷郡	吾妻郡	群馬郡	邑山郡	新田郡	高崎市	前橋市	九 人	九 人	
九 一 人	一 人	一 人	二 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	十 人	一 人	一 人	二 人	二 人	二 人	一 人	一 人	二 人	一 人	一 人	一 人	七 人	七 人	

四一 | 二 一 | 一 一 | 二 一 | 七一 | 一 一 | 一 一 | 一 一 | 一 一 | 一 一 | 一 一 | 一 一 | 一 一 | 一 一 | 一 一 |

人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人 人

貴族院議事速記錄第十二號

明治四十五年三月二十日

衆議院議員選舉法中改正法律案

第一讀會ノ續

一九七

福島縣									
第十區	第九區	第八區	第七區	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區
議員總數 郡若松市 福島市									
相馬郡	雙葉郡	石城郡	耶麻郡	河沼郡	大北郡	南會津郡	東白川郡	西瀬郡	岩瀬郡
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡
田村郡	積田郡	石川郡	達安郡	伊達郡	安積郡	福島郡	夫信郡	島若郡	市松郡
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
十一人									

一人	一人	一人	一人	一人	一人	二人	一人	一人	一人	九一人	一人								
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

青森縣									
第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	第七區	第六區	第五區	第四區
議員總數 郡前森市 青森市									
西津輕郡	北津輕郡	中津輕郡	三戶郡	下北郡	東津輕郡	南津輕郡	弘前市	青森市	七人
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	市	市	
磐井郡	磐井郡	并郡	東郡	西郡	氣郡	江郡	贍郡	和郡	碑郡
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡
伊郡	伊郡	伊郡	伊郡	伊郡	仙郡	刺郡	澤郡	賀郡	貴郡
郡	郡	郡	郡	郡	市	市	市	市	市
九戸郡	二戸郡	盛岡市	盛岡市	盛岡市	紫波郡	巖手郡	巖手郡	巖手郡	巖手郡
郡	郡	市	市	市	郡	郡	郡	郡	郡
伊郡	伊郡	市	市	市	郡	郡	郡	郡	郡
郡	郡	市	市	市	市	市	市	市	市
九人	二人	七人							

二人	一人	一人	一人	一人	一人	五一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	六一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----

山形縣							
郡米澤市				郡山形市			
秋田縣				秋田縣			
郡部				郡部			
福井縣	第八區	第七區	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區
雄勝郡	平鹿郡	仙北郡	由利郡	河邊郡	鹿角郡	北秋田郡	秋田市
八人	八人	八人	八人	八人	八人	八人	八人
七人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人
六人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人

石川縣							
郡福井市				郡市			
富山縣				富山縣			
郡部				郡部			
第一區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	第五區	第四區
富山市	富山市	富山市	富山市	富山市	富山市	富山市	富山市
七人	七人	五一人	一人	二人	一人	五一人	四一人
五人	五人	一人	一人	一人	一人	一人	一人

明治四十五年三月二十日

第三區		第二區		第一區		第五區		第四區		第三區		第二區	
議員總數		議員總數		議員總數		議員總數		議員總數		議員總數		議員總數	
島根縣	隱郡松江市	島根縣	隱郡松江市	島根縣	隱郡松江市	鳥取縣	鳥取郡	鳥取縣	鳥取郡	鳥取縣	鳥取郡	鳥取縣	鳥取郡
飯石郡	大仁郡	能義郡	八束郡	松原郡	東江郡	西野郡	氣伯郡	岩頭郡	美高郡	鳥取市	四人	射水郡	婦負郡
川郡	石郡	仁郡	多義郡	原東郡	江市	八人	八人	八人	八人	市	四人	見水郡	新川郡
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一
五	五	五	五	五	五	一	一	一	一	一	一	二	一
一	一	一	一	一	一	人	人	人	人	人	人	人	人

第八區		第七區		第六區		第五區		第四區		第三區		第二區		第一區		第六區		第五區	
議員總數																			
廣島縣	尾吳道	岡山縣	岡山縣																
英田郡	勝田郡	苦米郡	久庭郡	真米郡	阿哲郡	上房郡	上川郡	後月郡	小田郡	淺口郡	吉備郡	邑久郡	和氣郡	赤磐郡	上道郡	兒島郡	御津郡	岡山郡	市
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

十一人十一人十一人八人一入人十一人十一人十一人十一人十一人十一人十一人

香川縣	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	德島縣	和歌山縣	第六區	第七區	第八區	第九區
第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	議員總數	德島郡	和歌山郡	第六區	第七區	第八區	第九區
三好郡	美馬郡	板野郡	麻植郡	阿波郡	名西郡	海部郡	那賀郡	勝浦郡	東郡	德島市	有田郡	伊賀郡
好郡	馬郡	野郡	植郡	波郡	西郡	部郡	賀郡	東郡	東郡	市	高郡	海草郡
						六人	東牟婁郡	西牟婁郡	妻郡		日高郡	和歌山市

一 人 一 人 一 人 一 人 五 一 一 人 一 人 三 人 一 人 五 一 一 人 一 人 一 人

高知縣		愛媛縣		松山市		高松市		丸龜市		高松市		市部	
第七區	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	第七區	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區
南宇和郡	北宇和郡	東宇和郡	喜多郡	上浮穴郡	宇摩郡	周智郡	越智郡	伊豫郡	溫泉郡	松山市	木田郡	小豆郡	香川郡
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	市	郡	郡	市
九人	九人	九人	九人	九人	九人	九人	三豊郡	仲多度郡	綾歌郡	大川郡	丸龜郡	高松市	七人
五一人	五一人	五一人	五一人	五一人	五一人	五一人	八一人	八一人	八一人	八一人	八一人	八一人	五一人

福岡縣		小倉市		門司市		久留米市		福岡市		第三區		第四區		第二區		第一區	
第十一區	第十區	第九區	第八區	第七區	第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	議員總數	
三潴郡	浮羽郡	三井郡	朝倉郡	筑紫郡	嘉穂郡	鞍手郡	遠賀郡	糟屋郡	糸島郡	早良郡	小倉市	門司市	久留米市	福岡市	吾川郡	佐土原郡	高知市
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	市	市	市	市	長岡郡	美藝郡	六人
十六人	十六人	十六人	十六人	十六人	十六人	十六人	十六人	十六人	十六人	十六人	人	人	人	人	人	人	
十二人	十二人	十二人	十二人	十二人	十二人	十二人	十二人	十二人	十二人	十二人	人	人	人	人	人	人	

佐賀縣										大分縣						熊本縣							
第四區				第三區				第二區		第一區		第六區				第五區		第四區		第三區		第二區	
藤 津 郡 部	杵 島 郡 部	小 城 基 郡 部	三 養 基 郡 部	神 埼 郡 部	佐 賀 郡 部	佐 賀 市	六 人	速 見 郡	宇 佐 郡	下 毛 郡	西 國 東 郡	玖 田 郡	珠 郡	直 入 郡	大 野 郡	大 海 部 郡	北 海 部 郡	大 分 市	七 人	築 上 郡	京 都 部	企 救 郡	八 女 郡
二 人	一 人	一 人	一 人	五 人	一 人	一 人	六 人	二 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	七 人	一 人	一 人	一 人
一 人	一 人	一 人	一 人	五 人	一 人	一 人	六 人	二 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	七 人	一 人	一 人	一 人

鹿兒島縣										宮崎縣						第五區						熊本縣					
第三區				第二區				第一區		第七區				第六區		第五區		第四區				第三區		第二區		第一區	
大 郡 部	鹿 兒 島 市	鹿 兒 島 縣	大 島 部	東 臼 杵 郡	東 臼 杵 郡	西 諸 縣	西 諸 縣	北 諸 縣	北 諸 縣	南 那 珂 郡	兒 湯 郡	宮 崎 郡	宮 崎 郡	天 草 郡	球 磨 郡	葦 北 郡	八 代 郡	字 土 郡	下 益 城 郡	上 益 城 郡	阿 蘇 郡	菊 池 郡	鹿 本 郡	玉 名 郡	飽 託 郡	熊 本 市	
一 八 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	九 一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	
一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	九 一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	一 人	

議員總數

十人

根室釧路河西網支廳管内

議員總數十二人

一人

第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區
鹿兒島市	鹿兒島郡	川邊郡	日置郡	薩摩郡	出水郡	熊毛郡	伊佐郡	始良郡	贈大島
十人	十一人								
札幌區	小樽區	函館區	札幌支廳管内	空知支廳管内	增毛支廳管内	宗谷支廳管内	網走支廳管内	根室支廳管内	函館支廳管内
札幌	小樽	函館	札幌支廳管内	空知支廳管内	增毛支廳管内	宗谷支廳管内	網走支廳管内	根室支廳管内	函館支廳管内
第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區
議員總數									
第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區
那霸郡	那蘭支廳管内	後志支廳管内							
首里區	浦河支廳管内	函館支廳管内							
八重山郡	宮古郡	八重山郡	宮古郡	八重山郡	宮古郡	八重山郡	宮古郡	檜山支廳管内	河西支廳管内
頭郡									
北海道									
札幌區									
函館區									
小樽區									
札幌、増毛、宗谷、浦河上 函館、檜山、後志各 支廳管内	札幌、增毛、宗谷、浦河上 函館、檜山、後志各 支廳管内								
三 人	五 人	一 人	一 人	一 人	一 人	三 人	一 人	一 人	一 人

本表ハ十年間ハ之ヲ更正セス

〔男爵有地品之允君演壇ニ登ル〕

○男爵有地品之允君 諸君、唯今問題トナツテ居リマスル衆議院議員選舉法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ去ル三月十一日ニ開キマシテ正副議長ヲ選ンダノデゴザイマス、委員長ニハ三島子爵ガ當選デゴザイマシタガ、差支ガアリマシテ闕席ガ多クゴザイマシタ、副委員長ノ私ガ代ツテ委員會ヲ開イタコトガ多ウゴザイマス、本日モ亦委員長ハ闕席デゴザイマスカラ私ガ代ツテ御報告ヲ申上ゲル次第デゴザイマス、委員會ハ委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ引續イテ右議案ノ審査ニ著手ヲ致シマシタノデゴザイマス、其內容ニ至リマシテハ既ニ諸君ノ御手許ニ回ツテ居リマスル速記録デ御承知ノコト、考ヘマスカラ委シイコトハ申上ゲヌデゴザイマス、其大體ダケヲ搔摘ンデ申上ゲル積リデアリマス、ソコデ第一ニ質問ノ起リマ

シタノハ此案ニ對シテ衆議院ノ修正ガアル、之ニ對シテハ政府ハ御同意ニナツタカ如何カト云フ、斯ウ云フ問ヒガ起ツタノデ、之ニ付キマシテハ政府ハ衆議院ニ於テハ同意スルトモ同意シナイトモ明言ハシナカッタ、併ナガラ同意シテ宜イコトモアリ、同意セラレヌコトモアル、是ハ逐條ニ於テ申述べヤウト云フコトニナツタノデアリマス、ソレカラ又今回ノ改正案ノ第一ニゴザリマスル衆議院議員ノ數ハ四百五十人以内ト定ム、此點ニ付イテモ質問ガアツタノデアリマス、ソレハ是マデ議員ノ數ヲ定メルニ市ハ三万、郡ハ十三万以上ト云フ標準ガアツタ、然ルニ四百五十名ト云フ全體ノ數ヲ定メラレタ以上ハ、將來新ニ市ガ起リ、又ハ人口ノ増加ニ依ツテ其標準通リニ行カヌヤウニナリハシナイカ、其節ニ人員ノ割振リハドウナサル見込デアルカト云フコトデアツタ、之ニ對スル答へハ此改正案ニ出テ居ル所ノ別表ハ十年間ハ動カサヌノデアル、ソレデ固ヨリ十年間ニハ動カス必要ハナイ、其先キノ十年間ニ於テモ未ダ十九名ノ餘裕ガアルカラ差支ナイヤウニ思フ、併ナガラ非常ニ人口ガ增加シテ來テ、差支ヘルヤウナコトガ起ツタトキニハ、標準ヲ變ヘル外仕様ガナイ、大略サウ云フヤウナ答ヘデアツタノデアリマス、ソレヨリ内務大臣ノ本議場ニ於キマシテ述ベラレマシタ改正ノ趣旨ニ基イテ、各委員ヨリ反覆丁寧ニ質問ガアツタノデアリマス、又内務大臣モ之ニ對シマシテ答辯ヲ頗ル懇切ニ盡サレタノデゴザイマスル、然ル所其大體ハ先般本議場ニ於テ演説セラレマシタ所ノ趣意ヲ繰返シテ詳細ニ述べラレタニ過ギヌコトデゴザリマシタ、中ニ就キマシテ重モナルコトハ此大選舉區ハ制定當時ノ豫想ニ反シテ弊害モ多イ、結局選舉ノ爲ニ運動費モ多ク要ル、又取締モ不十分デアル、故ニ之ヲ小選舉區ニ改正ヲシテ其矯正ヲスルノデアルト云フガ如キ大體ノ趣意デアツタノデアリマス、委員會ハ以上四回開キマシタノデゴザイマスガ、其三回ハ右ノ質問デ終ツタノデゴザイマス、然ル所、先決問題トシテ本案ノ骨子タル選舉區ノ區域ヲ改正スル、即チ現行法ヲ變ヘテ小選舉區ニスル、斯ウ云フコトニ付イテ採決ヲシタラ宜カラウ、サウ云フコトニナツタノデアリマス、之ニ對シマシテモ種々議論モゴザリマシタガ、其原案反対ノ理由トシテ述ベラレマシタ所ノ意見ハ、要スルニ選舉法ハ一定ノ資格アル選舉人ヲシテ自由ニ適材ト信ズル所ノ人ヲ議員ニ選舉スルノ規定デアル、選舉區ヲ定ムルコトニ付キマシテハ、選舉人ニ出來得ルダケ自由ニ其目的ヲ貫徹セシメヌケレバナラナイ、又選舉ノ爲ニ町村ノ自治體ノ圓滿ヲ傷ケルヤウナコ

トガアツテハ宜シクナイ、又若クハ親族ノ平和ヲ害スルト云フガ如キコトモ、是ハ大ニ避ケヌケレバナラヌ、又競爭ノ爲ニ不正ナル不當ナル手段ヲ用キルト云フ如キコトモ力ヲ盡シテ之ヲ防ガヌケレバナラヌ、現行法ハ往年屢々經驗シタル實蹟ニ鑑ミマシテ、選舉區畫ヲ大選舉區ト改メラレタモノデアル、爾來十箇年ヲ經過イタシマシタノデゴザイマスガ、此總選舉ヲ行フコトニヤ否ヤヲ判断スルノ時機ニ達シテ居ラヌ、勿論選舉區ノ規定ニ付キマシテハ僅ニ四回ニ過ギヌノデアリマス、此間補闕選舉ハ屢々有リマシタガ、今ヤ其運用ノ慣熟セムトシツ、アル折柄デアリマス故ニ、未ダ詳ニ規定ノ適當ナルヤ否ヤヲ判断スルノ時機ニ達シテ居ラヌ、勿論選舉區ノ規定ニ立復ハ現行法ニ於テモ其短所ガ無イトハ言ハナイ、ソレト共ニ今回提出ニナリマシタ改正案ニ付イテモ長所ナシトハ申サヌガ、併ナガラ既ニ實驗ニ鑑ミ改正シタル此現行法、即チ大選舉區法、之ヲ又ゾロ舊法ニ類似スル如キ規定ニ立復ヘルトスルニハ其理由ガ甚ダ乏シイノデアル、デ兩者ノ得失ヲ尙ホ經驗シ又研究ヲ重ネテ慎重ニ之ヲ考慮スルノ餘地ガアルト信ズルノデアル、殊ニ國家ノ大典即チ憲法附屬ノ法律ヲ議スルニ當リマシテハ、假初ニモ輕忽ニ嫌ヒアル事ハ慎マナケレバナラヌ、此理由ノ下ニ小選舉區ハ否決セラレタノデゴザリマスル、是ヨリ之ニ伴ヒマスル條項ノ修正等モ細カク調ベル爲ニ小委員ヲ設クルコトニナツタノデアリマス、此小委員會ハ二回開キマシテ、サウシテ修正案ヲ作成ヲ致シマシタ、更ニ委員會ヲ開イテ唯今御手許ニ回ツテ居リマスル所ノ修正案ヲ委員會ハ可決シタ次第デゴザイマス、尙ホ小委員ニ於キマシテ二問題ガゴザリマシタカラ其事モ附加ヘテ御報告イタシテ置キマス、第八十七條ノ各號ニ瓦リマシテ其每號共ニ「投票ヲ得ルノ目的ヲ以テ」ト衆議院ノ修正ニナツテ居ルノデゴザイマス、政府ノ原案デハ「選舉ニ關シ」トナルヌ、又先刻申シマシタ通リニ政府ハ此點ニ付イテハ衆議院ノ修正ヲ賛成スルト云フ中ノ一デゴザリマス、段々研究ヲ致シマシタ末、八十七條ノ本條ニテハ或ハ「投票ヲ得ルノ目的」ト云フコトニシテモ大シタ違ヒハナイカモ知テ云フ廣大方ノ意味ニナリマシテモ餘リ廣過ギルガ爲ニ、人權ニ立入ルト云フ選舉ノ前後ヲ問ハス」トスウアリマス、「前後ヲ問ハス」トアル以上ハ「投票ヲ得ルノ目的」ト云フコトニナツテハ不都合デアル、又「選舉ニ關シ」ト人ヲシテ述ベラレマシタ所ノ意見ハ、要スルニ選舉法ハ一定ノ資格アル選舉人ヲシテ自由ニ適材ト信ズル所ノ人ヲ議員ニ選舉スルノ規定デアル、選舉區ヲ定ムルコトニ付キマシテハ、選舉人ニ出來得ルダケ自由ニ其目的ヲ貫徹セシメヌケレバナラナイ、又選舉ノ爲ニ町村ノ自治體ノ圓滿ヲ傷ケルヤウナコトハ必ズ政府ニ於テモ注意セラレルデアラウ、依ツテ政府案ノ通りニ復シタ方ガ穩當デアル、斯ウ云フコトデアツタノデゴザリマス、又別表ニ

於キマシテハ唯小區ヲ大區ニ改メタダケデ、人員ニ於キマシテハ即チ増加シマシタ所ノモノヲ其儘少シモ取捨セヌノデゴザリマス、然ルニ成ルベク公平ニ調査シナケレバナラヌト云フコトカラ、此中ニ現在、市トナツテ居リマスル大分市ト高田市ノ此二ツノ市ハ獨立ノ選舉區ニナツテ居リマセヌ、又大分市ノ如キハ現在ニ於テハ人口モ三万以上アル、是ハ成ルベク之ヲ獨立セシメテ公平ヲ保ツヤウニ仕方ハ無イダラウカト云フコトニ付キマシテハ、種々委員中ニモ考ヘヲセラレタノデアリマスルガ、結局此別表ノ人口ノ調べハ四十一年ノ末日ノ統計局ノ調べニ依テ總テノ人員ヲ調べテアルノデアリマスルカラ、大分市ノミ他ノ年度ノ調べニ依ルト云フコトハ穩デアルマイ、甚ダ大部分市民ニ對シテハ氣ノ毒ノヤウデアルケレドモ、ドウモ仕方ガアルマイ、斯ウ云フコトデ其議論モ消エタノデゴザリマス、ソレデ御手許へ回ツテ居リマスル所ノ委員會ノ修正案ハ、大體カラ申シマスルト小選舉區ト云フモノヲ大選舉區ニ變ヘタニ付イテノ修正、是ハ多クハ現行法ニ復ツタノデゴザイマス、ソレカラ刑法ノ改正ニ依ッテ起ツタ修正ガ有ツタノデゴザイマス、是等ノ多クハ衆議院ノ修正ニ依リ、又ハ政府ガ同意ナラヌト云フ點ニ付キマシテハ政府ノ意見ヲ採ツテ決定シタノデゴザリマス、尙ホ段々委員會ニ於キマシテ御意見モゴザリマシタガ、ソレハ必ズ此議場ニ於テ御意見モ御發表ニナルコト、考ヘマスルカラ、私ノ報告ハ是ダケデ止メテ置キマス

〔森田庄兵衛君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 森田君ハ何デゴザイマスカ

○森田庄兵衛君 贊成ノ意見ヲ……

○議長(公爵德川家達君) ソレハ第二讀會ニ移ツテカラニ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今ガ最モ適當ノ時機ト考ヘマス

○西村亮吉君 私ハ質問ガアリマスガ、唯今質問ヲ致シマシテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 唯今ガ最モ適當ノ時機ト考ヘマス

○西村亮吉君 私ハ本案ヲ贊成スルニ付イテ聊カ決シ兼ネマスノデ、内務大臣ニ伺ヒタウ存ジマス、政府ハ臨時制度整理局ヲ設ケラレテ、行政財政整理ノ調査ヲセラレテ居リマス、行政整理ニ付キマシテハ課局ノ廢合等モアリマ

セウ、又官吏ノ減少ニナリマスルコトモアリマセウ、又財政ノ整理ニ付イマハ已ムヲ得ナイ場合ニハ上級官吏ノ俸給モ減ゼラル、コトニナラウト思ヒマ

スル、サウ云フコトニ立至リマスルト、唯行政上ノ整理ノミニ止マラズシテ、立法府ニモ改正ヲ加ヘナケレバナラヌコトニナリマシテ、議員ノ數モ歳費モ減少セネバナラヌト云フコトニ立至ラウト思ヒマスル、且ツ特ニ國防上トノ出來ヌ今日デアリマスル、斯ノ如ク國防上ニ要スル財政ニモ苦シニ居ル際ニ當ツテ現行法ヲ改正シテ議員ノ數ヲ増サナケレバナラヌト云フ必要ハ如何ナル譯デアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイモノデアリマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 西村君ノ御質問ニ御答ヘヲ致シマスガ、議員ノ增加ハ歲費ノ增加ガ之ニ伴ヒマスルケレドモ、併ナガラ此人員ノ增加ニ付キマシテハ屢々衆議院等ヨリ改正案ノ提出ニナツタコトモアリ、又人口ノ增加ニ依ツスル所ノ委員會ノ修正案ハ、大體カラ申シマスルト小選舉區ト云フモノヲ大選舉區ニ變ヘタニ付イテノ修正、是ハ多クハ現行法ニ復ツタノデゴザイマス、ソレカラ刑法ノ改正ニ依ッテ起ツタ修正ガ有ツタノデゴザイマス、此場合ニ於テ此クハ衆議院ノ修正ニ依リ、又ハ政府ガ同意ナラヌト云フ點ニ付キマシテハ政府ノ意見ヲ採ツテ決定シタノデゴザリマス、尙ホ段々委員會ニ於キマシテ御意見モゴザリマシタガ、ソレハ必ズ此議場ニ於テ御意見モ御發表ニナルコト考ヘマシテ之ヲ提出スルガ適當デアルト政府ニ於テハ考ヘタ次第デゴザイマス

○國務大臣(原敬君) 尚ホ御尋ネ致シマス、唯今ノ内務大臣ノ御言葉デハ十分ニ理由ガ分ラヌ、何カ其他ニ理由ハアリマセヌカ、ソレヲ伺ヒタイノデゴザイマス

ス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 唯今申上ゲマシタ以上ノ理由ヲ申シマスレバ、殆ド委員會ニ於ケル討議ヲ繰返サナケレバナリマセヌ、唯今申シマシタノガ最モ主要ナ點デ、主トシテ改正ヲ致サナケレバナラヌ理由ト考ヘマスカラ御答ヘヲ致シマシタ、其他ノ詳細ノ理由ニ至リマシテハ色ニナコトモアリマスルケレドモ、ソレヲ茲ニ繰返スノハ餘リ煩雜ヲ釀スグラウト考ヘマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○男爵有地品之允君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵中川興長君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル有地男爵ノ動議ニ對シテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、諸君ニ御誇リヲ致シマス、本案全部ヲ問題ニ供シ、委員長ノ報告ヲ議題ト致シマス、ソレデ宜シウゾザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ヨリ通告ノ順ニ依リ登壇ヲ促シマス、森田庄兵衛君

〔森田庄兵衛君演壇ニ登ル〕

○森田庄兵衛君 閣ト並ニ諸君、私ハ極ク手短ニ詰マリ今度ハ反対ノ意見ヲ述ベルコトニナリマシタ、暫ク御耳ヲ拜借イタシタウゴザイマス、固ヨリ私ノ如キ淺學不敏ナル者ガ博學多識ノ皆サンノ前ニアツテ所詮皆サンノ御知リノナイトカ又ハ發見シテナイト云フヤウナ名論モ卓説モアラウ筈ハゴザイマセヌ、併ナガラ茲ニ一言述ベザルヲ得マセヌト云フ昨今ノ形勢ヲ見テ甚ダ憂慮ニ堪ヘヌ次第デゴザイマスルニ付イテ、極簡單ニ申上グル次第デゴザイマス、此本案ニ付キマシテ色々修正ノ箇條ガゴザイマスルケレドモ、第一ノ主眼、即チ骨髓トスル所ハ、其爭點ト云フモノハ、大選舉區、小選舉區、此二ツニ外ナラヌト思ヒマス、其他ノ修正ノ條項ノ如キハ或ハ衆議院送付ノ案トハ違ツテ居リマシテモ、是ハ兩院ノ協議ヲスルコトナレバ必ズヤ圓滿ニ解決ノ付クコトデアラウト考ヘマス、要スルニ此大選舉區小選舉區ト云フノガ争ヒニナツテ居ルノデゴザイマス、ソコデ此大選舉區ト云フノ賛成スル論者デハ、主トスル所ハ不用ナル投票ガ無イ、詰リ少數ノ黨派モソレ相應ニ代表者ガ出セル、斯ウ云フノデ、ソレハ其點ニ於テハ廢リ札ガ無クテ宜イ、ソレハ私モ認メテ居リマス、其點ハ大選舉區ナル方ガ宜シイ、併ナガラ又一方カラ申シマスレバ、大選舉區ニナリマスルト云フト、殆ド一府縣ノ下ニ選舉ノ爭

ヒノ無イ所ガナイコトニナル、例ヘバ我ガ和歌山縣ノ如キニ致シマスルト云フト、五人ノ定員デアツテ……和歌山市ハ別ニナリマスカラ五人ノ定員デアリマシテ、ソコニ一人殖エマスルト云フト、即チ六人ニナリマスレバ、必ズリマスルケレドモ、小選舉區ニナリマスレバ競争ノ無イ所ガ隨分澤山數ガ出來ルコトニナリマス、又一方カラ申シマスルト云フト、ドウモ此大選舉區ニナルト云フト……此小選舉區ノ方ニ致シマスルト、ドウモ大選舉區デモニナリマスルケレドモ、小選舉區ニナリマスレバ競争ノ無イ所ガ隨分澤山數ガ出來ルコトニナリマス、又一方カラ申シマスルガ、ソレハ私ハドウモ其大選舉區デアルカラ人物ガ出ルトカ、出ナイトカ云フコトハ、是ハ私ハ重ク見テ居リマセヌ、ドチラデモ同ジコトデス、併ナガラ又小選舉區ニナルト云フト、ドソレハ其郡長ノ古手ガ出ルデアラウトカ、地方ノ如キ極ク土著ノ餘リ何事ニモ選舉區ガ小サクナリマシテモ必シモ其土地ノモノヲ選ブト云フ昔ノ小選舉區デハアリマセヌ、日本ノ國民デアリサヘスレバ誰デモ出ルンデスカラ、サク云フ憂ハ無イ、私ハ此人物論ニ至ツテハ重ク見テ居リマセヌ、マア小選舉區ニナリマスルト云フト詰マリ費用ノ要ラナイト云フコトハ是ハモウ屢々返ス話デアリマスルガ、實際ニ徵シテ是ハ争ハレス事實デアリマス、ソレカラ又大選舉區ニナリマスルト云フト、謂ハユル其穩健ナ思想ヲ有タナイ人ガ飛込ンデヤツテ來テ、僥倖ヲ萬一シテカラニ當選ヲ圖ルト云フコトガ、是ハ争ハレス事實デアリマシテ、既ニ最早此大選舉區ニナラウト云フ様子ヲ見テ、候補者ガドン……如何ハシイ候補者ガ殖エテ來タト云フコトノ報告モ聞イテ居リマス、スレバ此大選舉區ノ爲ニ今日ハイザ知ラズ此後十年ノ間ニハ隨分危險ナ人物ガ選舉場ニ立ツテ候補ヲ争フカモ分リマセヌ、凡ソ此今日デハ左ホドニモサウ目ニ見エナクテモ、此後十年ノ間ニドウ云フ工合ニ世ノ中ガ推移シテ行クカト云フコトヲ豫メ圖ツテ法ヲ拵ヘルノガ即チ立法者ノ最モ必要ナ所デアラウト私ハ存ジマスル、サウ云フ點カラ申シマスルト云フト、此小選舉區ノ方ガ利益ナリト私ハ信ジテ居リマス、併ナガラ此小選舉區ノミ有ツテ、一方ニ害ノミ有ル譯デハゴザイマセヌ、必ズ利害ノ有ルモノデ

ゴザイマス、ソレデ先ヅ本案ニ付イテ一步ヲ讓リマシテ、若クハ數百歩ヲ讓リマシテ是ハ利害相半バスルモノト見テデモ、私ハ小選舉區ヲ贊成スルモノデアリマス、ト申シマスルノハ此議論ハ雙方ニ道理モアリマスルケレドモ、要スルニ衆議院ノ委員會ニ於テ原案ノ反對者タル花井卓藏博士ノ申ナレタコトヲ私ガ讀ンデ見マシタ、其論ニハ此大小選舉區ハ何レニモ利アリ何レニモ害ハアルモノデアル、即チ利害相半バスルモノデアル、故ニ此法律ノ改正ノ必要ハ無イ、斯ウ云フ斷案デアッタノヤウニ心得マス、先ヅ衆議院デ反對ノ花井代議士ノ論ニシマシテデモ利害相半バシタモノデ、ドチラニシテデモ宜イ、斯ウ云フノガ反對ノ最モ有力ナル花井代議士ノ議論ノヤウニ思ヒマス、サスレバドチラデモ宜イト云フ話ニナリマスルケレドモ、私ノ見ル所ハ、又衆議院デノ話デアレバ、サウデアリマスルケレドモ、今日衆議院ガ大多數ヲ以テ小選舉區ヲ可決シテ本院へ送付サレタ以上ハ、即チ衆議院ノ方ノ意見ヲ尊重シテ我ガ貴族院ノ方ニ於テハ衆議院ノ意見ニ協賛ヲ與ヘルト云フコトガ穩健ナル議論デアラウト云フノ趣意デゴザイマス、ト申シマスルノハ此衆議院議員選舉法ト云フモノハ全ク貴族院ノ方ニハ關係ガ有リマセヌ、尤モ國家ニハ關係ガ有リマスケレドモ……然ルニ衆議院ハ如何ト見マスレバ、是ハ衆議院ハ……自家ニ最モ衆議院議員ハ直接ノ關係ガ甚シイ問題デアリマス、ソレガ既ニ衆議院ヲ通過シタト云フ以上ハ、貴族院ニ直接ノ關係ノ無イ、又國民ニ取ッテモ反對ノ名士ガ利害相半バシテ居ルト云フ斷案ヲ下ダシテアルコトデアレバ、既ニ一方ニ於テハ可決シタモノデアル、故ニ貴族院ノ方ニ於テハ之ニ協賛ヲ與ヘテ同意スルノガ至當デアラウト云フノ意見デアリマス、若シ之ニ反シテ貴族院ガ此法案ニ反対ヲスルト云フコトニナルト云フト、私ハ甚ダ憂慮ニ城ヘナイト云フコトヲ申上ゲタイノデ、ソレハ他デモゴザイマセヌガ、此議事ニ方ツテハ固ヨリ貴族院ノ諸君ハ誠意誠心唯國家ノ爲ニ此法案ヲ議シタイト云フコトハ議員諸君ノ御精神ハ私ハ了解イタシテ居リマスケレドモ、世間或ハ是ハ衆議院ノ唯多數黨ノ頭ヲ抑ヘルガ爲ニ、即チ露骨ニ申セバ政友會ノ頭ヲ抑ヘル爲ニ此案ニ賛成シナイノデアル、サウ云フ世評モ有リマスレバ、又新聞ナドニモ折々散見スルコトデアリマス、シマスルト云フト、貴族院ヨリシテ衆議院ニ戰ヒヲ挑ム、斯ウ云フコトニナリハシマイカ、若シソレガ今日デハ戰ヒヲ挑ムノデアルカ、誠意誠心此案ヲ議シテ居ルンダカ、ソレハ分ツテ居ル人モアリマセウガ、分ツテ居ラヌ人モ

アリマセウガ、先ヅ疑問ノ中ニアッタ所デ、斯ウ云フ事ガ追ミト兩院ノ反感ヲ挑發シテ、遂ニハ國政ノ議事ニ大ニ障碍ヲ與ヘルヤウナコトハ無カラウカ、要スルニ私ハ之ガ爲ニ貴衆兩院ノ感情ガ大ニ惡ルタナリハシマイカト云フコトヲ甚ダ憂ヘテ居リマス、陛下ノ開院式ニ賜フタ所ノ勅語ニモ即チ「和衷審議以テ協賛ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム」ト仰セラレテゴザイマス、要スルニ私ハ貴衆兩院ガ圓滿ニ國政ノ議事ヲ致シマシテ聖旨ニ答ヘラレムコトヲ希望スルノ一點ニ外ナラヌノデゴザイマス、故ニ私ハ此貴衆兩院ノ衝突ヲ避ケムガ爲ニ、自家ニ關係ノ無キ此選舉法ハ小選舉區ヲ贊成シテ、多少ノ修正ヲケ加ヘテモ、ソレハ兩院ノ交渉デ纏マルコトデアラウト存ジマスカラ、私ケムガ爲ニ、自家ニ關係ノ無キ此選舉區贊成ノ意見ヲ述ベマス

〔江木千之君「チヨット質問ガ致シタウゴザイマス」ト述フ〕

○議長（公爵德川家達君）江木君ハ……

○江木千之君 唯今ノ演説ニ對シテ……

○議長（公爵德川家達君）唯今ノ演説者ニ對シテデスカ

○江木千之君 左様デゴザイマス、御演説ノ御趣意ハ拜聽イタシマシタガ、憲法ニ於テ貴族院ヲ置カレタル御趣旨ヲ御承知ニナツテ居リマスナラバ、一應伺ヒタウゴザイマス

○森田庄兵衛君 御答ヘ致シマス、ソレハ固ヨリ最初ヨリ申上ゲマシタ通り、淺學不敏ノ我ニヨリモ、江木先生ノ方が遙ニ御存ジデアラウト思ヒマスカラ、私ヨリ答辯スルノ限リデハナイト考ヘマス

〔村田保君「本員モドウゾ今ノ……」ト述フ〕

○議長（公爵德川家達君）通告順ニ依リマシテ登壇ヲ促シマス、……〔村田保君「チヨット質問ダケ願ヒマス」ト述フ〕

○議長（公爵德川家達君）久保田男爵

○議長（公爵德川家達君）久保田男爵ニ發言ヲ許シマシタ
〔村田保君「議長、ソレハ江木君ニ御許シニナツテ、本員ヘ御許シニナラヌノハ……」ト述フ〕
ゴザイマス」ト述フ

〔村田保君「ソレハ私ハ餘リ議長ガ御壓制ダラウト思ヒマス、私ノ方ガ先キデアリマス、質問ヲ致シタイノデアリマスト」ト述フ〕

○議長（公爵徳川家達君） 村田君ニ申上ゲマスガ、左ホド御熱心デアルナラバ、久保田男爵ノ登壇ヲ促シマシタカラ、久保田男爵ノ御演説ガ濟ミマシタ後ニ森田君ニ御質問ヲナスツタラ宜カラウト思ヒマス

〔村田保君「本員ハ久保田君ニハ質問ハアリマセヌ」ト述フ〕

○議長（公爵徳川家達君） 今、森田君ト申シマシタ……久保田男爵

〔村田保君「ソレデハ餘リ困リマス」ト述フ〕

○男爵久保田讓君 本員ハ登壇ヲ致シマス前ニ、政府ニ向ツテ質問ヲ致シタイ

○議長（公爵徳川家達君） 宜シウゴザイマス

○男爵久保田讓君 本案ニ付キマシテハ委員長ノ報告シタ原案ニ政府ハ賛成スルノデアリマスカ、反対イタサレマスカ、御意見ヲ伺ヒタイ

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（原敬君） 唯今、御質問デアリマスルガ、箇條ノ中ニハ或ハ御同意ノ出來得ルモノモ有ルト見マスルケレドモ、大體ニ於テ小選舉區ヲ改メテ現行ノ大選舉區制ニ戻スト云フコトニハ、政府ハ御同意ガ出來兼ネマス

○男爵久保田讓君 尚ホモウ一應伺ヒマスガ、御同意ニナラヌノハ、ドウ云フ理由デアリマスルカ、是ハ委員會デ數回御答辯ガゴザイマシタガ、即チ委員會デ御答辯ニナッテ居ル所ノ趣意デ本會ニ於テモ御同意ニナラヌト云フコトニ了解シテ宜シウゴザイマスカ

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（原敬君） 唯今ノ久保田男爵ノ御質問ノ通リデアリマス、本議場、並ニ委員會ニ於テ述ベマシタ所ノ理由ニ依リマシテ、政府ハ小選舉區ヲ以テ今日ノ時弊ヲ矯ムルニ最モ適切ナル方法ト考ハマスルガ故ニ、大選舉區ニ引戻スト云フコトニハ御同意ガ出來兼ネルノデアリマス

〔男爵久保田讓君演壇ニ登ル〕

○男爵久保田讓君 諸君、私ハ此場合ニ於テ意見ヲ述ベマスル前ニ、一言諸君ニ御断リヲ致シテ置キタイノデゴザイマス、今日此場合ニ於テハ議員中ノ有力ナル一人ガ演説ヲ致サレル筈デアリマシタ、然ルニ不幸ニシテ昨夜、家内ニ悲ムベキ事ガ出來マシテ此席ニ出ラレルコトガ出來マセヌト云フコトデ

アッテ、俄ニ私ガ此補闕トシテ演説ヲセヌケレバナラヌト云フヤウナ場合ニアリマシタ、ソレデ再三固辭イタシマシタケレドモ、ドウシテモ出ナケレバナラヌト云フ事情デ、ソヒ此所ニ登ルコトニナリマシタ、從ツテ何等演説ノ準備モゴザイマセヌ、唯委員中ノ一人デアリマシテ委員中ノ年長者デアルト云フコトノ爲ニ餘儀ナク此所ニ登壇シタヤウナ次第デアリマス、ソレ故ニ申述ベマスコトハ極メテ簡単デアリマシテ、又順序モゴザイマセヌ、甚ダ御聴苦シイコト、存ジマスガ、此儀ヲ御断リ申シテ置キマス、此問題ハ諸君御承諾ノ通リニ衆議院議員ノ選舉法ノ改正デアリマス、而シテ其要點ハ凡ソ三ツニ分レニ分レテ居リマス、第一ハ人員ノ増加ト云フコトデアリマス、第二ハ選舉區ノ大小ト云フコトデ、第三ニハ選舉ノ取締ニ關スルコト、凡ソ三ツニ分レテ居リマス、其中最大切ナルコトハ、重要ナルコトハ何デアルカト申スト、私ハ人員ノ増加ト云フコトデアラウト思ヒマス、即チ選舉權ノ區域ノ擴張ト云フコトデアリマス、五十人ノ……殆ド五十人クラキノ議員ノ人員ガ増スト云フコトノ問題デアリマスカ、選舉ニ關スル問題トシテハ餘ホド重要な點デアルト思フ、選舉區ノ大小ト云フ問題ハ今日此焼點ニナッテ居ル問題デアリマスガ、唯今申シタ人員ノ増加ト云フコトノ問題ニ比ヅレバ……比較ヲスレバ餘ホド輕イ問題デアラウト思フノデアリマス、取締ニ關スル問題ハ刑法ノ關係其他ノコトデ、是ハモウ一層比較的ニ輕イ問題デアラウト存ズルノデアリマス、其最モ重シトスル所ノ選舉權ノ擴張ニ關スル所ノ問題ハ、本員ニ於テハ……本委員ニ於キマシテハ政府ニ同意ヲ致シ、衆議院ノ議ニモ同意イタシテ、選舉ニ關スル問題ニモ大要、政府ノ原案、並ニ衆議院ノ修正ニ同意イタシタノデ、單リ同意ノ出來マセヌノハ此選舉ノ區域ノ問題デアルノデアリマス、是モ本員ノ考ヘデハ強イ反對ヲ致スト云フコトデナイ、同意ガ出來ナイト云フコトノ意味デアル、ソレデ私ノ是カラ申述ベマスコトモ此議論ノ燒點ニナッテ居ル大選舉區ト云フコトニ付イテノコトヲ申上ゲタイト思フノデ、本議場ニ於キマシテモ内務大臣ハ懇切ニ本案ノ原案ノ趣旨ヲ説明イタサレマシタ、又委員會ニ於キマシテモ數回數日懇々ト説明ヲ致サレマシタ、是等ニ對スル委員ノ質問辯論ニ於キマシテモ、頗ル鄭重ニ、且ツ丁寧ニ質問ヲ致サレマシタ、本員ニ於キマシテハ此選舉事務ナドノコトハ至ツテ不案内地アル、ソレデ委員會ノ兩者ノ議論質問ニ於テ大ニ發明ヲ致シ、分カルコトモアリマシタ、ソレデ其議論ノ要點ハ先刻委員長モ述ベラレマシテゴザイマ

スシ、又速記録ニモ出テ居リマス、大要私ノ聞キマシタ所デハ六箇條トドノ大キナ箇條ガアルト聞イテ居リマシタ、第一ハ選舉區ノ大小ニ依ッテ選舉サレル所ノ人物ノ優劣ニ關スル所ノ問題デアル、第二ニハ少數代表者ヲ選出スルコトノ如何ト云フ問題デ、第三ハ選舉者被選舉者ノ便利ニ關スル問題デアル、第四ハ選舉ノ費用ノ多寡ニ關スル問題デ、第五ハ選舉ノ取締ノ便否ニ關スル問題デアル、第六ハ選舉干涉ニ關スル問題デアル、餘ホト澤山アリマシタガ、私ノ聽取りマシタ所ノ重モナル點ハ斯様ナコトデアツタヤウニ記憶ヲ致シマス、而シテ此六箇條ノ中ノ議論、互ニ議論モアリ、辯駁モ致サレ、又説明モアリ、反駁モ致サレマシタガ、要スルニ大選舉區、小選舉區ニ關シテ此六箇條ノ問題ハ何レモ利害得失ガアルヤウデアリマス、人物ノ優劣ト云フコトガ一番ニ第一ノ問題ノヤウデアリマスガ、之ニ付イテハ大選舉區カラデナケレバ大人物ガ出ナイ、小選舉區カラハ小人物ガ出ル、或ハ大選舉區ハ穩健ナル人物ガ出ルコトガ、ムヅカシクテ、危險ナル者ノ出ルニ便利デアルト云フヤウナ種々ナコトガアリマシタガ、私ハ此總テノ箇條ニ付イテ自分ノ意見ヲ定メマスニハ、色々學說モアリマシタリ、又議論モ理論モアリマシタ、私ハ此コトニ付イテハ實地ノ……實際ノ利害、事實上ノ利害ト云フコトニ付イテ自分ノ意見ヲ決メタイト思ッテ、サウ云フ上カラ段々考ヘタノデアリマス、今日マデ大選舉區ニ依ッテ選舉ヲ行ッタコトモアリ、又小選舉區ニ依ッテ選舉ガ行ハレタコトガアルト云フコトバ、諸君モ御熟知ノ通リデアリマス、而シテ其結果ハドウ云フコトデアルカト申シマスト、私ノ見ル所ニ依ルト、大選舉區ニ依ッテ選舉サレタ選舉モ、小選舉區ニ依ッテ選舉サレタ選舉モ、出ル所ノ人ニ實際格別ノ差違ハナイト私ハ見テ居ルノデ、現ニ現在衆議院議員ヲ致シテ居ラレル所ノ松田君デモ、長谷場君デモ、尾崎元田ノ兩君デモ、犬養君デモ、大石君デモ、河野君デモ、箕浦君デモ、斯ウ云フ著名ナ人モ同様ノコトデアラウト私ハ思ヒマス、大選舉區ヲ主張サレル人ハ小數代表者ハ大選舉區ニ限ルヤウニ申サレマス、私ハ必シモサウ云フ次第デナイ、小選舉區デモ少數代表者ハ出ラレルコト、思フ、又實際出テ居ルコト、思フ、ソレカラ選舉者、被選舉者ノ便否、是亦同様ナ次第デアリマシテ、色々議論モアリ

マシタガ、ドチラモ便利モ不便利モアルヤウデアリマス、選舉費ノコトモ是亦同様デアリマシテ、大選舉區ヲ非難サル、人ハ、費用ノ多イコトハ大選舉區ニ限ルヤウニ申サレマスケレドモ、又其反対ニ小選舉區ヲ主張サル、人ノ話ヲ承ルト、矢張リ小選舉區デモ多分ノ費用ヲ要スルヤウナ場合ハ幾ラモアルヤウデアリマス、選舉ノ取締ト云フコトモ同様ナ次第デアリマス、選舉干涉ト云フコトマデ議論ガ出タノデアリマス、或ル人ハ小選舉區デアルト選舉ノ干渉ニ頗ル便利デアル、是ハ弊害トシテ宜シク無イト大選舉區ヲ主張サル、人ハ申スノデアリマス、トコロガ内務大臣ノ申サル、ニハ、ソレハサウカモ知ラヌガ、併ナガラ大選舉區デモ選舉ノヤリ様ニ依ッテハ十分ナ選舉ノ干渉ガ出来ル、斯ウ云フヤウナ話ガアル、ドチラモ實驗上ノ御話デアツテ、私ハ初メテ斯ウ云フ事ヲ承ッタ、上ニハナカ一上ハ手ガアルノデアル、之ヲ以テ必シモ其選舉區ノ大小ニ依ッテ選舉ノ干渉ニ厚薄ガアルト云フコトモ申サレヌデアラウト思フ、ソレデ唯今申上グルコトヲ約メテ申スト、小選舉區必シモ是ナラズ、大選舉區必シモ非ナラズト云フコトニ歸著ヲ致スノデアル、ソコデ此選舉法ハ申上グルマデモナイ憲法附帶ノ法律デアリマス、選舉ニ關スル根本ノ法律デアリマス、初メニ小選舉區デアツタモノヲ半途ニシテ大選舉區ニ改正ヲ致シ、以來十年間之ヲ實行イタシタノデアリマス、是モ亦更ニ最初ニ戻ッテ小選舉區ニ復スルト云フコトニ付イテハ大イナル明カナル理由ガ無クテハナラヌ、若シ明カナル理由ナクシテ之ヲ改正ヲ致シタナラバ、再ビ又大選舉區ニ改正ヲセヌナラヌト云フコトガ生ゼヌトモ限ラヌ次第デアル、斯ウ云フ大切ナル法律デアリマスカラシテ、成ルベク鄭重ニ後戻リヲシ、又後戻リヲスルト云フコトノ無イヤウニアリタイト考フルノデアリマス、ソレデ唯今申上グルヤウナ次第デ、何分今之ヲ改正ヲシナケレバナラヌト云フコトノ特別ナ理由ヲ見出ダスコトハ私ニハ出來マセヌ、ソレデ先づ是ハ未ダ機ガ熟シテ居ラヌト云フモノデハナイカ、デ尙ホ今後之ヲ續イテ實行ヲ致シ、即チテハ他ノ最モ大イナル點ノ人員ヲ増加スルト云フコトニハ同意ハ致シマスケレドモ、此選舉區ノ改正ノ利害得失ノ未ダ判然シナイト云フ點ニ於テハ遺憾ナガラ御同意ヲ致シ兼ネル、政府ハ宜シク御再考ニナツテ尙ホ御研究ヲ積マレルヤウニ致シタイト云フコトガ、本員ノ意見ノ要點デアリマス、今一ツ之

ニ加へタイコトハ、如何ニモ此改正案ヲ企テラレタコトガ突然デアルト考ヘルノデアリマス、斯ノ如キ選舉ニ關スル法律ノ改正ト云フコトハ如何ニ少クトモ一年前クラキニハ決定ヲ致シテ、サウシテ公ケニ之ヲ頒布シテ選舉人並ニ被選舉人ヲシテ十分ナ準備ヲ致サセルト云フコトガ必要デアラウト思フ、今日マデ政府ニ於テ……現内閣ニ於テモ、又前内閣ニ於テモ、議員選舉法ノ改正ト云フコトハ勿論、議ノアツタコトデアラウ、即チ人口ノ增加ニ伴ウテ議員ヲ増加シナケレバナラヌトカ、刑法ノ改正ニ伴ウテ取締法ヲ變ヘヌナラヌトカ云フヤウナコトハ議ガ有ツタデアラウ、併シ大選舉區ヲ廢シテ小選舉區ニシナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、曾テ公ケニナツタコトモ無シ、又地方長官ニ之ヲ諮詢セラレタト云フコトモ無イ、又直接ニ關係ヲ有ツテ居衆議院ニ於テモ大選舉區ノ問題ヲ決シテ法律案トシテ提出ニナリ、或ハ建議案トシテ政府ニ出サレタト云フコトモ無イ、詰マリ世間デハ未ダ此大選舉區ト云フヤウナ事ニ付イテハ左ホド深ク考ヘテ居ナイ問題デハナイカ、然ルニ今突然、現内閣成立以來、此事ニ御著手ニナツテ今日之ヲ決定シテ發表ニナリマシタガ、選舉マデニハ僅ニ二箇月ホカ無イノデアル、是ハドウモ斯ノ如キ法律ノ準備ノ時機トシテ甚ダ宜シキヲ得テ居ラヌデハナイカト云フ意見ヲ以テ内務大臣ニモ御尋ネヲ申シタ、内務大臣ハソレハ格別障リハ無イ、選舉ナドハ餘リ長引クト……選舉ノ準備ナドガ餘リ時ガ經ツト、ソレニ付イテノ弊害ト云フコトモ益長クナルト云フ嫌ヒガアル、寧ロ選舉ノ期日ハ短イ方ガ弊害ハ少イデアラウ、短イコトニ付イテハ何等ノ不都合ハ無イト云フコトヲ申ナレマシタガ、是ハ政府ノ當局者ノ御言葉デアルカラ成ルベク御同意ヲ致シタイガ、何分私ハ是ハ御同意ヲ致シ兼ネルノデアリマス、デ衆議院ノ議員ノ候補者ニナルニハ旦夕ノ間ニ自分ニ多數ノ投票ヲ得ルト云フコトハ、謂ハユル金ノ力ニ依ルカ、又其他ノ餘ホドナ奇態ナ事情ニ依ツテデナクテハ急速二人年ヲ要シテ養成シナケルヌコト、思フノデアリマス、ドウモ此事ハ政府ノ御答辯ニモ餘リ感服ヲ致サヌ、ソレデ此法律ヲ準備ノ時機ナク、早速ニ又自分ノ技倅ヲ以テ候補者ニ立ツト云フニハ、此準備ハ一年ノミナラズ、數意イタシ兼ネルツノ箇條デアリマス、ソレデ本員ノ望ム所ハ、政府ニ於テマシテモ、衆議院ニ於カレマシテモ、ドウゾ此委員會ノ修正案ニ御同意ニ

ナツテ決定ヲスルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、先刻モ申ス通りニ此中ノ重要ナ問題、議員ヲ増加スルト云フヤウナコトハ實ニ重大ナ問題デアル、ソレニハ御同意ヲ致シ、協賛ヲ致シテ居ルノデアル、其他ノ事ニモ出来得ルダケ御同意ヲ致シテ居ルノデアル、御同意ノ出來ヌ箇條モ能ク御研究ニナツタラ宜カラウト云フコトヲ誠意ヲ以テ申スノデアリマスカラ、ドウゾ政府並ニ衆議院ニ於テハ之ニ御同意ニナツタラ宜カラウ、御同意ガアルコトヲ切ニ望ム、若シ之ニ御同意ニナラヌ結果ハドウ云フモノデアルカト云フコトヲ考ヘマスルト、兩院ノ協議ニ付サナケレバナラヌ、協議ト云フコトハ互ニ讓ル餘地ガアツテ協議ガ成立ツ、此問題ハ極メテ簡単デ、白トカ黒トカガ衆議院ノ議ニ從フカ、衆議院ガ貴族院ノ議ニ全然同意ヲセラレルカ、貴族院分カリ切ツタ問題デアリマスカラ、協議會ヲ規則ニ依ツテ開イテモ、或ハ此問題ガ全部消滅シテ仕舞フカモ知レヌト云フ憂ガアル、此ニ於テ兩院ハ何レカ其責ニ任ゼナケレバナラヌ、國民ハ此數十名ノ議員ヲ増加スルコトニ付イテハ、實ニ希望シテ待ツテ居ルダラウト思フ、然ルニ衆議院モ政府モ之ヲ提出ヲシテ同意セラレタ、貴族院モ此増員ハ同意シテ居ルノデアル、然ルニ唯此手續上ト申スカ、兩院ノ關係上ノ手續ノ爲ニ萬々一、是ガ消滅ヲスル、全部消エルト云フコトニナリマシタラ、私ハ多クノ國民ハ甚ダ失望スルデアルウ、本院ニ於テモ亦遺憾ニ堪ヘヌ、ドウゾ吳々モ政府ハ之ニ御同意ニナリマシテ、衆議院ノ議員ニ於カレテモ是ハ御同意ニナツテ此事ヲ御實行ニナリタシテ云フコトヲ茲ニ切望イタシテ置キマス、此問題ニ附帶シテ一言申述ベテ置キタイコトハ、此問題ヲ貴族院ガ修正ヲ致シタニ付イテ、先刻モ前論者モイロ／＼御説ガアリマシタガ、世間ニハ種々ノ說ガアル、其中就中東京ニ最モ有力ナル所ノ新聞紙ニ、貴族院ノ僻見ダト云フコトノ問題デ、此問題ヲ論ジテ居ル、其要旨ハ貴族院ノ諸君ノ學識、經驗、議論ニハ多クハ感服スル、併シ一タビ對政黨ト云フコトニナルト貴族院ハ眼ガ眩シデ仕舞フト云フコトヲ言ツテ居ル、ソレデ此問題ヲ以テ貴族院對政黨ノ問題ダト云フコトニ論ジテ居ル、是ハ甚ダ私ハ遺憾ナコトデアルト存ジマスガ、之ヲ辯解ヲスルニハ誠ニ又一方ニ極好イ例ガアル、大阪ニ於テ最モ著名ナ關西ニ有力ナ新聞ガアリマスガ、是ハ又貴族院ノ態度ヲ誠ニ卓見ダ……卓見ダトハ中シテ居ラヌガ、貴族院ノ態度ガ甚ダ宜シイ、是ハドウシテモ貴族院デ能ク修

正ヲシテ、小選舉區ナドヲ採用セヌヤウニセヌケレバナラヌト、斯ウ云フコトニ付イテハ、常ニ注意ヲ怠ラ
トヲ明カニ論ジテ居ル、ソレデ私ハ此問題ハ世間ニモ有力者ガイロ。ト考
ヘテ居ルノデアルケレドモ、決シテ貴族院ノ偏見ト云フコトニ輿論ハ一致シ
テ居ルモノデナイト云フコトヲ見マシタカラ、別段是ハ私ハ辯解ハ致シマセ
ス、今一箇條ハ此問題ハ衆議院ノ選舉法ニ關スル問題デアツテ、前論者モイ
ロ。申サレタヤウデアリマスガ、是ハ衆議院ノ議員ノ選舉ニ關スル問題デ
アルカラシテ、貴族院ハ餘リ喙ヲ容レスガ宜カラウト云フヤウナコトガアル
ノデス、是ハ本員モ少シ辯ジテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、衆議院ノ選
舉ニ關スルト云フコトノ問題ハ、貴族院デ成ルベク斟酌ヲシナケレバナラヌ
トカ、注意ヲシナケレバナラヌトカ云フコトハ、是ハ人情トシテ勿論當然ナ
コトデアリマス、貴族院トシテハ此法律案ニ對シテ、衆議院ニ關シテ居リマ
シテモ、或ハ衆議院ニ關シナイ問題デモ、決シテ殊更ニ事ヲ好ンデ之ヲ可否
得失ヲ論ズルト云フヤウナコトハ斷ジテナイノデアリマス、ソレデ現ニ本年
ノ豫算案ニ對シテモ、隨分貴族院トシテハ相當ナ理由ヲ以テ意見ヲ有ツテ居
ルノデアリマス、鐵道ノ問題ニ於テモ同様デアリマス、隨分相當ナ理由ヲ以
テ意見ヲ有ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ政府ノ提案デアツテ衆議院ヲ通
過イタシタモノデアリマスルカラ、是等ニ付イテハ一切意見ヲ棄テ、總テ同
意ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、單リ衆議院ノミナラズ貴族院ノ政府
ニ對スル態度ト云フコトモ勿論同様ナ譯デアリマシテ、現政府ニ立ツテ内閣ヲ
組織セラレルト云フコトハ、陛下ノ御信任ノアルコトハ勿論デアリマスル
ケレドモ、同時ニ國民ノ輿望ヲ負ウテ内閣ト云フモノガ成立ヲ致スノデアリ
マスカラ、貴族院ノ議員トシテハ何レノ内閣デアラウガ、ドノ政府デアラウ
ガ、現在ノ政府ニ對シテハ出來得ルダケ厚意ヲ以テ、同情ヲ以テ其施政ヲ贊助
シテ、サウシテ政機ヲ圓満ニ致シテ行キタイト云フコトハ最モ希望イタシテ
居ル點デアリマスカラ、決シテ政府ノ……現内閣ノ關係、或ハ衆議院ノ關係
ニ依ツテ考ラ二三ニスルト云フヤウナコトハ毫モ無イコトデアラウト本員ハ
深ク信ズルノデアリマス、併ナガラ苟モ事ノ國家ノ大利害ニ關スルコト、並
ニ國體ノ基礎ニ關スルコトノ如キニ至リマシテハ、政黨デアルトカ、元老デ
アルトカ、政府デアルトカ、衆議院デアルトカ、サウ云フコトハ問ハナイ、
如何ナルモノニ對シテモ國家ノ大利害ニ關シ國體ノ基礎ニ關スルヤウナコト
ニ付イテハ一步モ讓ルコトハ出來ナイノデアリマス、デ貴族院ハ常ニ公平ナ

態度ヲ以テ國家ト云フコト、國體ト云フコトニ付イテハ、常ニ注意ヲ怠ラ
ズ、何事モ之ヲ基礎ニシテ立論ノ基礎ト致シテ居ルコトト存ズルノデアリマ
スカラ、若シ其議ニ反シテ先刻モ御議論ガアリマシタガ、是ハ衆議院ノ何デ
アルカラ貴族院ハ唯同意シタラ宜カラウト云フヤウナコトニハ何分同意ハ出
來ナイ、今後ト雖モ此根本ノ義ニ觸レタコトニ於テハ決シテ貴族院ハ御同意
ヲ致スコトハ出來ナイト云フコトヲ私ハ斷言イタシテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス
午後零時一分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、是ヨリ特別委員ノ
氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔東久世書記官朗讀〕

朝鮮醫院及濟生院特別會計法案特別委員
侯爵大炊御門幾麿君 伯爵正親町實正君 子爵榎本武憲君
男爵高木兼寛君 男爵目賀田種太郎君 男爵肝付兼行君
男爵小早川四郎君 若槻禮次郎君 三山近六君
公爵二條基弘君 伯爵柳原義光君 子爵鳥居忠文君
子爵伊集院兼知君 子爵前田利定君 男爵野田裕通君
男爵阪井重季君 原保太郎君 藤田四郎君
朝鮮ニ於ケル石炭ノ探掘ニ關スル法律案特別委員
ノ者ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案特別委員
侯爵花山院親家君 伯爵川村鐵太郎君 子爵五辻治仲君
男爵石黒忠惠君 小牧昌業君 谷森眞男君
木場貞長君 武石橋次君 佐藤友右衛門君
明治四十二年度豫備金支出ノ件外三件(承諾ヲ求ムル件)特別委員
男爵小畑美稻君 子爵入江爲守君 男爵沖原光孚君
男爵原口兼濟君 男爵村上敬次郎君 男爵外松孫太郎君
男爵平野長祥君 西村亮吉君 本間金之助君

○議長（公爵徳川家達君） 鎌田榮吉君ノ登壇ヲ促シマス

〔鎌田榮吉君演壇ニ登ル〕

○鎌田榮吉君 本員ハ此政府案ヲ賛成イタシマス、政府案中ノ小選舉區案ヲ賛成スル其理由ヲ簡單ニ述ベマセウト思ヒマスガ、最早大抵論旨ハ盡キテ居ルノデゴザイマス、本員ハ唯重複セザル限りニ於テ意見ヲ述ベマス、第一、此衆議院議員選舉ノ目的ハ先づ第一ノ要件トシテハ民意ヲ代表スルト云フコトガ肝要デアル、而シテ第二ノ要件ハ相當ノ人物ヲ選舉スル、即チ國民ノ選良ヲ舉ゲルト云フコトガ要件デアル、苟モ此二要件ニ反スル所ノモノハ宜シクナイ、又之ニ適フ所ノモノハ……ヨリ適フモノハ、ヨリ宜イト云フコトニ歸著スルダラウト思フ、第一、民意ヲ代表スルト云フ上カラ申シテ小選舉區ト大選舉區ト何レガ適當デアルヤト言ヘバ、無論小選舉區デナクテハナラヌ、先づ小選舉區ナラバ、殊ニ一區一人制デアリマスレバ、親シク其人ヲ知リマシテ又當選シタ上モ選舉區民ト議員トノ關係ガ明カニナツテ居ル、ソレガ最モ大切ナコトダラウト考ヘル、政黨モ亦此分子ガ寄ツテ出來タ政黨ナラバ、穩健ナ確實ナル政黨ガ出來ルダラウト考ヘル、而シテ人物モ大人物モ宜シイ中人物モ宜シイガ、兎ニ角其人ニ相當ノ人格ト相當ノ知識ヲ具ヘテ能ク國家ノ政治ヲ了解シテ、又國家ノ政治ニ適スル所ノ議論ヲ有チ之ヲ措置スルコトノ出來ル所ノ人デ無ケレバナラスト同時ニ、能ク地方ノ事情ニ通ズルノガ必要デアル、能ク地方出ノ小人物ヲ出ストカ何トカ言ヒマスガ、大小ノ論ニナレバ餘ホドムヅカシイ、兎ニ角地方ノ情況ヲ能ク知リ地方ノ民情ニ通ジテ、而シテ國家大體ノ事ニ考ヲ有ツテ居ル人ヲ舉ゲナクテハナラヌノデアル、唯如何ニ大キナ考ヲ有ツテ居ツテモ空漠タル政治論ヲ有ツテ居ル人ハ必シモ宜イト云フ譯ニハイカヌノデアル、而シテ大選舉區ナルモノハ先づ良イ人物、大人物ヲ舉ゲ得ル、殊ニ比例的ニ少數黨ヲ代表シ得ル制度デアルト云フコトガ、此制度ノ理由ニナツテ居リマスケレドモ、十年モ行ヒ來ツタ所ニ徵スルト、決シテ其通リニハナツテ居ラヌノミナラズ、往々其反對ノ結果ヲ見ルト云フコトハ事實デアル、ナゼナラバ成ルホド七分三分トカ、七三トカ四六トカ、四分六分トカ云フヤウナ、机ノ上デ議論ヲ立テレバ立チマス、選舉區ノ區域ヲ撤回シテ全縣ヲ通ジテヤレバ少數黨モ亦其人數相應ノ割合デ出ルカラ、七分三分ノ割合ナラバ相當ノ割合デ出ルト考ヘタデアリマセウガ、事實ハ決シテサウデナイ、却ツテ小選舉區ハ少數黨ヲ能ク代表シテ出スコトガ

出來ル、ト云フノハ、大抵地方ニ依ツテ黨派ガ分レテ居ル、或ル郡ハ甲黨ニ屬スル、又他ノ方ハ乙黨ニ屬スルト云フコトガ實際デアリマスカラシテ、小體ニ於テハ少數デアルガ、郡中ノ多數黨ガ出ルコトニナル、之ヲ大選舉區デアリマスト云フト、或ル郡ハ少數ノ黨派ガ多數ヲ占メテ居リマシテモ、全縣ヲ通ジテ競爭シマスカラ、ソコニ皆寄ツテ來テ、反對黨ノ所ニ寄ツテ來テ、取ラウ取ラウトシマスカラ、遂ニハ手ヲ取ラレ足ヲ取ラレテ仕舞ヒマスカラ、其郡カラシテ其少數黨ノ人物ヲ出サズニ終ハルト云フコトガ往々アル、又サウデナイ場合モアリマスガ、其場合ガ理窟上多クナツテ來ル故ニ少數代表ハ却ツテ小選舉區ノ方ニ寧ロ確實ニ得ラレルト云フコトバ是ハ確カナコトデアリマス、而シテ此費用ト申ス點カラ申セバ、大選舉區ハ無論多クノ費用ヲ要スル、人ニ依リマスト選舉ニ費用ハ是非伴フカラ、費用ノ多少ハ問フニ及バヌト云フ論者モアリマスガ、成ルホドソレモ一應尤モデアリマス、併ナガラ法律上、是非多額ノ費用ヲ必要トスルト云フコトハ決シテ宜イコトデハナシニ當選シ得ルコトモ出來ルガ、大選舉區デアレバ如何ニ理想的選舉ヲ以テ、如何ニ無競争デアツテモ必ズ數千圓ノ金ヲ要スル、是ハ私ガ申サズトモ諸君ノ御承知ノ事デアリマシテ、唯自分ノ考ヲ書イテ配付スルト云フダケニ既ニ數千圓ノ金ヲ要スルト云フコトニナル、是ハ法律ニ依ツテ斯ノ如ク定メルト云フコトハ不當デアル、例ヘバ建築條例ヲ施キマシテ先づ此日本橋通りニ家ヲ建テルモノハ、コレノ設備ヲシナケレバナラヌ、コレノ機關ヲ持タネバナラヌ、コレノ防火用ノ備ヲシナケレバナラヌ、然ラバ是ハ坪數百圓ノ家ヲ建テナクテハナラヌト云フコトナラバ、法律ガ之ヲ強要スルコトガ出來ル、併ナガラ若シ此法律ノ要スル所ノ家屋制度ニ從ヘバ數千圓數スルト、決シテ其通リニハナツテ居ラヌノミナラズ、是ハ非常ナ不當ナルコトヲ云フコトハ事實デアル、ナゼナラバ成ルホド七分三分トカ、七三トカ四六トカ、四分六分トカ云フヤウナ、机ノ上デ議論ヲ立テレバ立チマス、選舉區ト云フコトハ事實デアル、ナゼナラバ成ルホド七分三分トカ、七三トカ四六トカ、四分六分トカ云フヤウナ、机ノ上デ議論ヲ立テレバ立チマス、選舉區ト云フコトニナリマスト、必ズ如何ナル人モ多額ノ費用ヲ先づ拂フダケノニ住ハスト云フダケノ話デアル、丁度之ト同ジャウナ例ニナリマシテ、大選舉區ト云フコトニナリマスト、必ズ如何ナル人モ多額ノ費用ヲ先づ拂フダケノ

準備ガ無ケレバナラヌト云フコトニナル、然ルニ今日ノ此被選者タル者ノ資格ニ付イテハ、満三十歳以上ノ男子ニシテ苟モ白痴瘋癲デナイ者ナラバ誰デモ候補者トシテ立ツコトガ出來ルト云フ、誠ニ自由ナル、廣ク人物ヲ集メ得ル制度ニナツテ居リナガラ、其裏面ニ於テハ必ズ數千圓數万圓ノ金額ヲ要スルモノデアルト云フコトハ、一面ニ於テハ人ヲ進メ、他面ニ於テハ之ヲ防グト云フコトニナルカラ、不當ノコト、言ハナケレバナラヌ、其一點ニ於テ大選舉區ハ費用ノ點カラ申スト宜シクナイト云フコトヲ本員ハ信ズル、又此少數代表ニ關シテ申スト云フト、小選舉區ナラバ獨立議員ヲ出スコトガ出來ル、少數黨ノ議員モ相當ニ出ラレ得ル外ニ、獨立ノ議員ヲ出スコトガ出來ルガ、大選舉區デハ此獨立ノ人ガ段々出セナクナツテ來ル、今日ハマダ幾ラカ出シ得ル餘地ガアリマスケレドモ、政黨ノ組織ガ益、完全ニナツテ政黨ノ組織ガ發展シテ來ルト云フト、ドウシテモ大選舉區デハ苟モ政黨ニ屬セザル者ハ當選スルコトヲ得ナイト云フ情況ニ立至ルダラウト本員ハ信ジテ居リマス、固ク信ジテ居リマス、殊ニ又政黨モ少數黨ヨリハ大政黨ガ益、勢力ヲ作ルト云フコトニナルダラウ、現ニ今日相當ノ地盤ヲ有ツテ居ル人ガ候補ニ立タムト欲スルノニ、小選舉區デアツタナラバ自己ノ地盤ニ於テ立チ得ル者ガ、今日ノ制度デハ是非、或ル政黨ニ加ハラヌケレバナラヌト云フコトデアル、殊ニ大政黨ニ加ハラヌケレバナラヌト云フコトノ實情ヲ呈シテ居ルノデアリマスカラシテ、此勢ヒガ益、馴致シテ行ツタナラバ殆ド政黨萬能ト云フコトニナツテ、獨立議員ノ出ル餘地ト云フモノハ寸毫モ無クナシ、又今日大選舉區デアルガ爲ニ或ハ良イ人ガ出ラレ得ル餘地ガ無イトモ限ラナイ、又一方カラ申セバ大選舉區デアルガ爲ニ人物ガ出ナイト云フコトニナル、議員タラムト欲シテモ餘リ此區域ガ大キクテ餘リ金錢ヲ多ク要スルガ爲ニ、強ヒテ此議會ニ出ルコトヲ欲シナイ、小選舉區ナラバ是等ノ名望家、是等ノ人物ハ皆其部下ノ者ガ寄ツテ其人ヲ舉ゲル、其本人ノ知ラナイ中ニ議員ニナツテ居ルト云フヤウナコトガ隨分アリマスケレドモ、今日ノ制度デハ如何ニ一部分ノ者ガ熱心ニソレヲ出サムト欲シテモ、到底本人自ラガ隨分多額ノ金ト多額ノ勞働ヲセヌケレバナラヌコトニナツテ居ルガ爲ニ、サウ云フコトハ、ヤラヌ人ガ隨分、現ニ我ミノ知人ノ中ニモ澤山アル、我ミカラ見レバ是非是等ノ如キ人ヲ議員ニ出シタイト思ツテモ、本人ガドウシテモ請ケナイ人ガ現ニ有ル、ソレカラ又小選舉區ハ能ク取締ガ行届クト云フコトガアル、先刻ノ御說

ニハ小選舉區デハ競爭ガ激烈ニナツテ、ソレガ爲ニ骨肉相食ムトカ、或ハ自治體ノ發達ヲ妨ゲルト云フヤウナ御說モアリマスケレドモ、是ハ甚ダ偏シタ說デアリマシテ、決シテサウ云フコトハ無イト思ヒマス、又小選舉區ハ非常得ル制度違ツテ非常ナ激烈ナ、ソレガ爲ニ夫婦別レヲスルコトモアレバ、親類大選舉區ハ費用ノ點カラ申スト宜シクナイト云フコトヲ本員ハ信ズルガ、又此少數代表ニ關シテ申スト云フト、小選舉區ナラバ獨立議員ヲ出スコトガ出來ルマルデ違ツテ非常ナ激烈ナ、ソレガ爲ニ夫婦別レヲスルコトモアレバ、親類同士非常ナ反感ヲ醸スヤウナコトモアルト云フヤウナ御說モアリマスルガ、是ハ其時ノ話デ、全ク時ガ變ツテ居ル、彼ノ時代ニ於キマシテハ隨分激シイ選舉干涉ヲ時ノ政府ガ致シマシタ爲ニ競爭ノ熱ヲ激甚ナラシメ、又ハ全體其當時ノ人氣ガ謂ハ、激烈デアリマシテ、何カ政治ニ關スルコト、言ヘバ必ず激シイ競爭ヲスル、又壯士ナド、云フモノガ橫行シテ種々ナ暴行ヲ加ヘルト云フコトモアツタ時代デス、是ハ決シテ競爭ニ限ツタコトデハナイ、其時代ノ勢ヒデアツテ、現ニ議院ニ於キマシテモ、院内ノ言論ニ對シテ或ル議員ハ撲ラレタトカ、或ル議員ハ斬ラレタトカ、或ル議員ハ侮辱ヲ受ケタトカ云フ様ニナ暴行脅迫ガ議院ノ近傍ニ於テ行ハレ、又議員ノ通路ニ於テモ行ハレタ、種々ナ事ガ行ハレタ時代デアリマス、是ハ決シテ選舉バカリデナイ、隨分政治家ノ暗殺トカ、甚シキニ至テハ外國ノ使臣ヲ擊ツトカ云フ亂暴ナ事ガ行ハレタ時代デアリマスカラ、從ツテ選舉ノ事ニモ暴行脅迫ガ行ハレタノデアリマス、決シテ大選舉區ニナツタガ爲ニ是ガ薄ライダノデモ何デモアリハシナイ、是ハ全ク時勢ノ變遷、善イ事カ惡ルイ事カ知リマセヌガ、小選舉區ニ復シタナラバ舊ノ暴行脅迫ニ復スルデアラウト云フヤウナ考ハ是ハ杞憂ニシテ容易ニ動カスコトノ出來ナイコトハ、即チ憲法ノ神聖ナル所以デアリマス、併ナガラ憲法附帶ノ法律ニ法律ヲ變更スルト云フコト、是モ徒ラニ法律ヲ變更スルト云フコトハ宜シクナイノデアリマス、殊ニ憲法ニ至ツテハ不廢ノ大典デアリマシテ容易ニ動カスコトノ出來ナイコトハ、即チ憲法ノ神聖ナル所以デアリ云フコトハ宜シクナイノデアリマス、殊ニ憲法ニ至ツテハ不廢ノ大典デアリズ琴柱ヲ動カサズシテ琴ヲ彈ゼムト欲スルコトハ、是ハ望シ得ベカラザルコトデアリマスカラ、琴柱ニ膠シテハ決シテ琴ハ鳴ラナイ、必ズ憲法ヲ運用之ニ附帶スル所ノ法律モ或ル場合ニハ變更ヲシナケレバナラヌノデアル、必ズ琴柱ヲ動カサズシテ琴ヲ彈ゼムト欲スルコトハ、是ハ望シ得ベカラザルテ、時ノ必要ニ應ジテ之ヲ變更スルコトハ是ハ已ムヲ得ナイ、而シテ此大選

舉區制ヲ試ミタ結果、甚ダ其利ヲ見ズシテ害ノミヲ見ル、殊ニ將來ノ形勢ヲ見ルト云フト、甚ダ憂慮ニ堪ヘザルモノアル故ニ、之ヲ變更スルト云フコトハ當然ノコトデアリマス、現ニ貴族院ノ選舉法ニ於キマシテモ、或ハ按分比例ニサレ、又ハ定員說ガ起ツテ、其度毎ニ之ヲ變更シテ居ルノデアリマス、是即チ必ズ相當ノ必要ガアツテ變更シタモノデアル、是ハ大選舉區ニ於キマシテ忌ムベキコトハ無益ノ競争ト云フコトデアリマス、說ガ違ヒ黨が違ッテ競争スルト云フコトハ已ムヲ得ナイノデアリマスケレドモ、同士打ト云フコトガ、ドウシテモ起ツテ來ル、選舉區域ヲ限ツテ競争スル以上ハ同黨ノ者ガ競争スル、或ハ同志ノ者ガ相食ムト云フコトハ割合ニ少イ、無イトハ申サヌガ割合ニ少イノデアリマスル、大選舉區ニナルトドウシテモ此同黨派ノ者ガ定員以上ニ出タ以上ハ、說モ違ハズ黨派モ違ハナイノニ、互ニ競争スルト云フ弊ハ是ハ免レナイコトデアリマス、斯ノ如ク論ジ來リマスト云フト、大選舉區ノ今後ニ尙ホ繼續スペカラザルコトハ多言ヲ費ヤサズシテ明カナコト、思フ、必ズ之ヲ小選舉區ニ回復シテ當初憲法制定ノ時ノ制ニ戻ツテ、之ヲ益、發展セシメテ行クト云フコトガ必要カト思フノデ、而シテ私ノ茲ニ一言セザルヲ得ナイノハ、政府ガ此法律ヲ變更スルニ方ツテ甚シク急激ニ出データ云フコトノ一事ハ、私ノ飽クマデモ同意ヲ表スルコトノ出來ナイ點デアリマス、成ルホド法律ノ變更ノ必要ヲ悟ツタ以上ハ之ヲ爲スト云フコトハ何ニモ差支ハナリ、併ナガラ先刻久保田男爵カラ御述ベニナリマシタ通リニ、相當ノ準備、相當ニ又之ヲ官民ノ輿論ニモ聽イテ之ヲ爲スト云フコトハ必要デアラウト思フ、唯之ヲ定メテ次ノ選舉ニ直グニ之ヲ適用シヤウト云フノハ餘リニ急激デアル、謂ハユル寢耳ニ水ノ譬ノ如ク是ハ堪ヘ切レナイト云フコトヲ私ハ確信スルノデアル、併ナガラ小選舉區ニハ是非シナケレバナラヌ、小選舉區法ハ是非行ハナケレバナラヌノデアリマスルカラシテ、如何ニシテ之ヲ行ツタナラバ謂ハユル社會ノ秩序ヲ攪亂セズ若クハ不都合ヲ見ルコトヲ少ク爲シ得ルヤト云フロトガ此疑問デアル、之ニ付イテモ私ハ及バズナガラ種々考ヲ運ラシ、又聊カ委員會ニ於テモ所思ヲ述ベタノデアリマスガ、是モ行ハレマセヌ、尤モ茲ニ於テ此法案ヲ成立セシメ、而シテ混雜ヲ起サナイト云フヤウニスルニハ次ノ總選舉ヲ成ルベク遅クスルト云フコトデアル、内務大臣ノ御説ニ依リマスルト、大抵此五月頃ニ行ハレサウナ、……サウハ明言サレテハ居リマセヌガ、サウ我ニハ聽イタノデアリマス、デ成ルベク少クモ半年クラキノ猶豫

ヲ置ク必要ガアル、尤モ選舉ト云フモノハ農業其他民間ノ業務ノ繁閑ニモ關係スルコトデアリマスカラ、政府ハ是等ノ時期ヲ見計ツテ定メラレルノガ必要デアリマセウガ、茲ニ此法律ハ制定次第公布ニナリ、公布ニナツタラ即日施行ニナルト云フノハ是ハ當然ノ話デアル、即チ此法律ヲ施行セラレ、此法律ガ生キテ來タト云フ段ニ至ツテ、其新法ヲ活用シテ此次ノ總選舉ヲ行フニハ如何ナル時期ガ最モ適當デアルカ、其期間ニ於テ國民ガ能ク此法律ヲ了解シ、選舉ノ當時ニ違法等ノコトニ依ツテ處罰ヲ受ケルコトノ無イヤウニ致サナケレバナリマセヌ、固ヨリ取締ハ嚴重ニシテ、犯則者ガアレバ罰シナケレバナラヌノデアリマスガ、誤ツテ法律ヲ熟知セズシテ罪ニ陷ルモノヲ生ズルノハ誠ニ憫ムベキコトデアリマス、此點ニ政府ガ注意サレテ無論、罰則バカリノ話デハアリマセヌ、全體ノ選舉ノ準備、全體ノ候補者、選舉人、其他國民一般ニ不都合ノ無イヤウニ、此新シイ法律ヲ運用スルコトガ出來ルヤウニシタノ、勿論此小選舉區法ハ十年間行ハレタ、既ニ行ツタ所ノモノデアリマスルカラ、國民ハ之ニ稍、慣熟シテ居ルカラ必ズヤ餘り長イ時ヲ置カズトモ相當ニ運用シ得ルダケノ熟練ヲ有ツテ居ルデアリマセウト本員ハ信シマス、ドウゾソレダケノコトヲ條件トシテ滿場諸君ガ此法案ニ御同意ヲ表サレムコトヲ偏ニ希望スル次第デアリマス、是ダケノコトヲ私ハ申述ベテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 穂積八東君

〔穗積八東君演壇ニ登ル〕

○穗積八東君 本案ハ極メテ重要ナ問題デゴザイマス、私モ慎重ニ審査ヲ致シマシタガ、私ハ委員會ノ御修正ニ賛成ヲ致シマスル者デゴザイマスル、此問題ノ重要ナルコトハ申スマデモナク、殊ニ政府ノ御提出デアリ、又衆議院ニ於テ大多數ヲ以テ可決セラレタル案デゴザイマスルカラ、先刻モドナタデゴザイマシタカ、第一ニ御發言ニナツタ御方ガ御述ベニナリマシタ通り、實ニ貴族院ハ能ク注意ヲ致シ、必ズ政府ガ之ヲ提出サレ及衆議院ノ可決サレタモノデアルカラ、非常ニ重要ナ理由ガアルデアラウト云フコトヲ能ク考ヘマシテ、慎重ノ上ニモ慎重ヲ加ヘテ之ヲ議決スルニアラズンバ禮トシテモ政府ニ對シ下院ニ對シテ相濟マザル儀ト考ヘルノデゴザイマス、故ニ十分ノ理由ヲ審査イタシ、サウシテ決著ヲ致シタイト思ヒマスルガ、併ナガラ先刻其事ヲ御述ベニナツタ御言葉ニ、今之ヲ否決スレバ或ハ衆議院ノ感情ガ如何デアラウカト云フ御心配ガアリマシタ、私ト雖モ固ヨリ衆議院ノ感情ヲ害スルヤ

ウナコトハ成ルベク避ケナケレバナリマセヌ、固ヨリ其心持デ居リマスケレドモ、私ヲ以テ公ケノ事ヲ棄ルト云フ譯ニ參リマセヌ、國家ノ公事ヲ論ズルトキニハ、多少世間カラ怨マレルカト思ヒマシラモ、自己ノ立場ヲ明カニスルタメ、且ツハ又事ヲ議スルニ公然タルコトヲ期スルガ故ニ、毀譽褒貶ヲ顧ミズシテ之ヲ可否スルノハ我々皆議員ノ職責ニ在ルノデゴザイマスルカラ、貴族院ノ我々ガ若シモ衆議院ノ感情ヲ害スルデアラウカト云フコトヲ構ウテ此案ヲドウスウスルト云フコトハ遺憾ナガラ出來ナイノデゴザイマス、況シテ憲法ノ兩院ヲ置イタ精神カラ考ヘテ見マスレバ、貴族院ノ議スル所モ衆議院ノ議スル所モ憲法ノ上ニ於テ輕重ノアルベキ筈ハナイノデゴザイマス、殊ニ衆議院ノ利害ニ關スルカラト云フ話モゴザイマシタケレドモ、是ハ辯ズルマデモナイ、若シモ衆議院ナルモノガ衆議院諸君ノ俱樂部デアッタナラバ、御鄰ノ俱樂部ノ御規則ハ御自由デアッテ、コチラカラ口ヲ出ス必要ハナイノデゴザイマスルガ、國家ノ統治機關ノ組織如何ニナリマシテハ、貴族院ノ議論モ衆議院ノ議論モ實ニ國家問題デアリマスルカラ、斯ノ如キコトニ遠慮ヲシテ議論ヲ左右スルコトハ諸君ハ爲サレヌト忠ヒマス、私ハ決シテ致サヌノデゴザイマス、此問題ニ付キマシテ種々委員會ノ御議論モ審査拜讀イタシテ見マシタ、大體ニ於テ委員會ノ御論、多數ノ御論ニ贊成デゴザイマスカラ成ルベク重複イタスヤウナ述べ方ハ避ケタイト思ヒマスルケレドモ、無暗ニ附和雷同シテ此有要ナル案ニ對シテ默々トシテ唯投票ヲ以テ勝フシタト云フ觀ヲ貽シテハ、政府ニ對シ衆議院ニ對シ世人ニ對シテ貴族院ノ制シタト云フ、此選舉區ノ大小ト云フコトニ付キマシテ過日、内務省爲スベカラザル所デゴザイマスルカラ、少々煩雜ニ至リマシテモ理由ヲ明白ニ述べテ、サウシテ之ヲ決シタイト思ヒマス、此問題ノ係ル所ハ選舉區ノ大臣ノ此席ニ於テノ御演説、其他種々ノ討議ノ有様ヲ見マスト、私ガ選舉區ノ大小ト云フコトヲ云フ意味ト或ハ多少違ツテ居ル所ガアルカモ知レマセヌカラ、自己ノ論理ヲ明白ニスル爲ニ、自己ノ言フ所ノ選舉區ノ大小ノ意味ヲ一言申シテ置キマス、大選舉區、小選舉區ト云フ話ハ是ハ學者問題カモ知レマセヌケレドモ、申シマスル所以ハ必シモ面積ノ廣イトカ狹イトカ云フノ問題デハアリマセヌ、是ハ一區ヨリ一人ヲ出ダスト云フ制度ガ宜シイカ、一區ヨリ五人、六人、十人ト云フガ如ク數人ヲ出ダス制度ガ宜イカト云フコトデ利害ガ分カル、ノデアリマス、何モ面積ノ問題デハアリマセヌ、言ハズト知

レタコトデアリマスケレドモ、東京市カラ十幾人ノ議員ヲ選出シテ居リマス、是ハ無論大選舉區デゴザイマスル、之ニ反シテ事柄ハ、マルデ違ヒマスルケレドモ、東京府ノ内ノ市、郡モ含ンデノ東京府カラ、此席ニ多額納稅者ノ御方ガ一人出テ居ラレマスガ、是ハ假ノ例デ、斯ウ云フ場合ニハ私ハ其當院ニ於ケル多額納稅議員ノ選出ニ付イテハ、東京府ト云フモノハ小選舉區ト見ルノデアリマス、斯ノ如ク必シモ土地ノ大小ト云フコトノミヲ以テ議論ヲ決スルモノデハナクシテ、實際一區一人力、一區數人カト云フコトデアッテ、物ノ順序トシテ一區數人デアレバ隨ツテ土地モ廣イト云フコトモ起ルカラデアリマスガ、唯土地ガ廣イカラ、ドウスウト云フヤウナ話ノミデハ是ハ決セラレナイモノデアルト云フコトヲ申シテ置キタイト思ヒマス、而シテ選舉區ハ畢竟、道具デゴザイマスカラ、道具ヲ用キルノ如何ヲ云フノハ目的ニ依ツテ判斷スルノ外ハ無イ、選舉區ノ大小ノ利害ト云フハ、選舉ハ何ノ爲ニスルカト云フコトニ依ツテ決セラル、ノデアリマス、選舉ハ何ノ爲ニスルカラ云フ問題ハ、即チ何ガ爲ニ議院ヲ開イタカト云フコトニ歸著スルノデアリマス、故ニ「コップ」ガ宜イカ、盃ガ宜イカト云ヘバ、ソレハ酒ヲ飲ムニハ盃ガ宜イケレドモ、水ヲ呑ムニハ「コップ」ガ宜イ譯デアリマシテ、畢竟何ヲ目的トシテ選舉ヲナサルカト云フコトヲ伺ハズンバ、唯器ノ可否ノミハ言ハレマセヌ、ソコガ歐羅巴デモ議論ノアル所デアリマス、或ル國ニ於キマシテハ政黨政治ノ國デアリマスルカラ、何ニセヨ議院ト云フモノハ過半數デ大政黨デナカラネバ實際、政治ト云フモノハ行フコトハ出來ナイコトデアリマス、是ハ歐羅巴ノ話デアリマス、日本ノコトデハアリマセヌ、ソレハ學者ガ何ト言ツタ所ガ、ドウシタッテモ、過半數ガナケレバ仕事が出來ヌト云フモノデアルカラ、ソレデ選舉ノ目的ハ其目的ヲ達スルヤウニシナケレバナラナイ、是ハ賄賂云々ト云フヤウナ話ハ附隨ノ話デ、其目的ニ適フヤウニシテ行カナケレバナラヌト云フコトガアルノデゴザイマス、又或ル國ニ於キマシテハ一向政府ハ議院ノ外ニ獨立シテ居リマスカラ、サウ云フコトニハ頓著ハシマセヌ、ソレ故ニ議院ガ小黨ニ分立シテモ平然トシテ、唯分立シテ居ルトキニハ操縦ガムヅカシイト云フダケデアッテ、議院ハ議院、政府ハ政府デ獨立對峙シテ居リマスカラシテ、必シモ人工ヲ加ヘ細工ヲシテ、サウシテ自由意思ヲ束縛シテ、無理ニ議場ニ過半數ヲ造ラナケレバナラヌト云フ骨折ハ無イ、ダカラ其國ニ依リ、場所ニ依リ、政治ノ方針ニ依ツテ目的カラシテ達フノデアリマ

スカラシテ、隨ツテ大小選舉區ノ議論モ是カラ起ツテ來ル譯デアリマス、成ルベク簡單ニ述べタイト思ヒマスガ、マア折角ノ大問題デゴザイマスカラ、時間ヲ少シ御猶豫ヲ願ハナクテハナリマセヌ、ソレデ日本ノ憲法ノ下ニアツテ日本ノ國情カラ考ヘテ見マシテ議院ヲ御開キニナツタ目的ト云フモノハ、即チ此國民中ニ於テ多種多様ノ議論ガアル、其世ノ中ノ衆論ヲ集メテ、サウシテ討議セシメテ、其討議ノ一致スル所テ以テ大政ニ協賛セシメヤウト云フ考ニ出デ、居ルモノト私ハ考ヘマス、之ヲ能ク通俗ニ言ヒマスレバ、即チ國民代表ヲ以テ目的トシテ居ルノデアリマス、國民トカ代表トカ云フコトハ形容ノ言葉デアツテ、何モ委任狀ヲ渡シテ代表ヲサスト云フヤウナ意味デハアリマセヌケレドモ、國民中ニ種々ナ意見ガアル、其種々ナ意見ヲ議場ニ集メテ、サウシテ大政ヲ討議セシメルト云フコトガ目的デアルノデアリマス、會議デアル、廣ク衆論ヲ集メテ會議セシメルノデアルガ、國民代表ト云フコトノ意味ハ、即チ消極的ノ意味ヲモ含ンデ居リマス、國民代表ヲ目的トスルモノデアルカラ、ソレ故ニ階級ヲ代表スルト云フコトガ趣意デハナイ、階級代表ト云フコトニモ反對ヲシテ居ルノデアル、又ハ地方的團體ヲ代表セシメルト云フ意味ヲ否認スル爲ニ國民代表ト云フノデアリマス、又唯或ル政黨、或ル團體ヲ代表セシメルガ爲ニスルノデモナイカラ、ソレデ國民代表ト云フノデアリマス、詰マリ或ル階級、或ル事ニ偏重スルコトヲ避クルガ爲ニ國民代表ヲスルノデアリマス、詰マリ社會ノ有様ヲ寫真ニ撮ツテ之ニ寫シ出シタヤウニスルコトガ出來タナラバ、實ニ此議院ヲ開イタ目的ガ達セラル、デアラウ、斯ノ如キコトハ言フベクシテ實質ニハ行ハレマセヌケレドモ、理想トスル所ハソニニアルカラ、成ルベク其目的ニ近寄ルヤウナ選舉ノ方法ガ望マシウニスルコトニナルノデアリマス、然ルニ唯世ノ中ニハ多數サヘ舉グレバ宜シト云フコトヲ通リ國體政體ニ依ツテノ議論デアリマス、民衆政治ノ國ナドニ於キマシテハ外ニ賴ル所ハ無イ、國政ヲ決スル最終ノ決、最後ノ權力ト云フモノハ多數ト云フヨリ外ニハ無イノデアリマスルカラ、ソレデ民衆政治ノ國ニ於テハ何事ヲ犠牲ニシテモ多數ト云フコトヲ纏メテ之ニ據ラズンバドウモ政治ハ仕様ガナインデアリマス、故ニ彼等ガ多數多數ト云ツテ多數ニ依ラムトシ、多數ヲ固執スルト云フコトハ能ク了解ノ出來ル話デ

アル、然ルニ我國ニ於キマシテハ斯ノ如キ政體ヲ取ツテ居ラヌノデ、固ヨリ上下兩院ヲ開キ國務ハ衆論ニ問フト云フコトニナツテ居リマスルケレドモ、國家政務ノ最終ノ決ハ上御一人ニアルコトニナツテ居ルコトハ言フマデモナイコト、政府ハ大權ニ依ツテ存立シテ居ルモノデアツテ、何モ多數政黨ニ依テ存立シテ居ルモノデナイカラ、ソレデ多數ノ意ヲ酌シテ、サウシテソレニ背馳セザルヤウナ政治ラスルト云フコトガアルノデアツテ、決シラ是ガ政府ノ存立スル地盤デハナイノデアリマス、若シ唯多數多數ト云ツテソレデ宣イモノデアルナラバ、言葉咎メヲスルヤウデアリマスケレドモ、世ノ中ニハ例ヘバ全國ヲ計ツテ見ルト、農民ガ一番多數デアル、ソシナラ農民ノ都合ノ宜イコトバカリ實行シテ商工業者ノ不利益ヲ顧ミナクテモ、ソレハ多數ノ利トスル所デアルカラ宜イカ、サウ云フ譯ハアリマスマイ、不幸ニシテ世ノ中ニハ貧民ガ最モ多數デアリマス、唯多數多數ト云フナラバ貧民ニ御機嫌ノ宜イヤウナコトノミヲスルガ政府ノ本旨デアルカト云フト、サウデモナイヤウデアル、是ハ餘ホド考フベキ所デアリマス、少數ガ多數ヲ壓スルト云フコトハ最モ防ガナケレバナラヌ、併シ多數ノ壓制ト云フコトモ防ガナケレバナラヌ、故ニ國務最終ノ決ハ一人ニアルガ、決ニ至ルマデノ此立法ノ大事業ヲ議スルニハ多數ニ問フト云フコトデ、其所ニ調和ガ出來テ居ル、誠ニ結構ナル政體デアルノニ、此政體ヲ顧ミズシテ、唯多數多數ナド、言フノハ、抑、憲法本旨ニ反スルノ大ナルモノト言ハヌケレバナラヌ、併シ斯ノ如ク大キナ闕點ヲ言フマデモナク、此問題トシマシテハ、小選舉區及大選舉區ノ利害ハ誠ニ明々白々デアリマス、唯今鎌田君カラ誠ニ事理明白ナル御辯説ガゴザイマシタガ、其御辯説ニ付イテハ多分アトヨリ演壇ニ登ラル、御方ガ種々應接セラル、サウデアリマスカラ、私ハ鎌田君ノ言葉ニ付イテハ敢テ反對ヲ試ミルコトハシマセヌ、モウ委員會デモ述ベラレ、此所ノ席デモ述ベラレタコトデ決マリ切ツタコトデアリマスケレドモ、一應念ノ爲ニ……能ク諸君ガ之ニ御同意クダサルコトヲ望ムガ爲ニ申上ゲマスレバ、抑、小選舉區ト云フモノハ理論ノ上カラ見マシテモ、又ハ實例カラ見マシテモ、多數政黨ヲシテ實力ヨリモ誇張シテ寫シ出ス方法デアリマス、多數政黨ガ多數ノ議員ヲ出スノハ是ハ當前デアル、併シ凡ソ投票力ト當選力ト云フモノ、割合ガアルモノデアル、然ルニ投票ノ力ヨリモ當選ノ力ヲ多クシテ、即チ實力ヨリモ多ク出スト云フコトガ小選舉區ノ一つノ特色デアリマスル、此事ハ敵モ味方モ認メテ居ル議

論デアリマス、其裏ヲ言ヒマスレバ、小選舉區ニ於テハ少數者若クハ獨立者ハ甚ダ困難ヲ感ズルト云フコトニナルノデアリマス、理論ニ於テハ分ッテ居ル話デアリマス、併シ之ヲ英國二十四五年ニナリマスカノ實歷ニ照シテ見マシテモ、統計表上斯ノ如ク現ハレテ居リマス、千八百八十五年ノ英國ニ於キマシテモ、小選舉區法ヲ施イテ以來、今日ニ至ルマデ總選舉ノ數ガ八回カ九回カアリマシタ、其毎回ノ統計表ニハ精密ニ舉げラレテ居リマシテ、私モ其統計表ヲ持ッテ居リマス、此所ニハ持ッテ居リマセヌガ、所持シテ讀ンデ居リマス、ソレニ能ク當選ノ數ト投票ノ數ノ比較ガ取ツテアリマスガ、小選舉區デアルト、ドウモ少數ト云フ者ガ割合ニ當選者ヲ出スコトガナクシテ、大選舉區ノ方ガ多ク之ヲ出スト云フ結果ニナッテ居リマス、此事ハ全體ニ於テモ動カヌ議論デアリマス、先刻モ鎌田君ノ御演説ガゴザイマシタケレドモ、大體ニ於テモ動カヌ話デアリマス、變例モ澤山アリマス、小選舉區ト云フモノハ運動、干渉、其他ノ事ガ能ク利ク方法デアリマスカラ、運動、干涉ノ如何ニ依ツテハ却ツテ少數者ガ多數者ヲ壓シテ出ルト云フ變例モ有リ得ルノデアリマス、是ガ即チ小選舉區ノ惡ルイ例デアリマス、小選舉區ガ惡ルイト云ウテ十ガ十マデ君ノ言フ通りハナイ、ト言ハレマス、ソレハサウカモ知レマヌケレドモ、凡ソ物ハ大數ニ付イテ、原則ニ付イテ言フノデアリマス、却ツテ是ハ英國ノ統計表ハサウナツテ居ルカラ、サウ申スノデアリマス、日本從來ノ小選舉區ハ内務大臣ノ屢々御詰ニナリマシタ通リ純粹ナル小選舉區デハナカツタノデアリマス、ソレハ二人以上ノ議員ヲ出ス場合ニハ連記デゴザイマスガ、ソレヲ一人一區ノ英吉利風ノ制度、即チ今日政府ノ提出サレタ制度トハ違ヒマスカラ、必シモ前ノ選舉法ノ我ガ統計表ニ依ツテ、ソレヲ論ズルコトハ出來ナイ、寧ロ統計表ニ依ツテ論ズルナラバ、英國過去二十幾年ノ統計表ニ依ラナケレバ本當ノコトハ見得ラレナイ、然ルニ其統計表ハ斯ノ如クデアルト云フコトヲ私ハ茲ニ斷言イタシマスノデ、而シテ小選舉區ノ方ハ大ニ運動ノ弊ガアル、賄賂ノ弊ガアル、直接間接ニ威壓ノ弊ガアル、其他運動ガ激シクナリ激烈ニナル等ノコトガ屢々繰返サレテ居ルコトデ、私ガ茲デクダツシク申スマデモナイコトデアル、是ハ否ムコトハ出來ナイ明白ナコトデアル、且ツ費用ノ點ニ於キマシテモ、是ハ大選舉區ノ費用ガ多イカ小選舉區ノ費用ガ多イカト云フコトハ、是ハ一步ヲ譲ツテ考ヘテ見マスレバ、何レガドウデアルカ實ハ分ラヌ、唯郵便代トカ草鞋代トカ云フモノハ、ソレハ

廣イ所ハ狭イ所ヨリ多イニハ相違アリマセヌケレドモ、郵便チヤノ端書草鞋代ト云フモノハ知レタモノデアリマシテ、其外ニ言フニ言ハレナイ所ノ種々ナ費用ガ多イモノデアル、ソレハ廣ケレバ廣イデ、一向構ハナイデ宜イコトモアリ、狹イ區域デアレバ構ハナケレバナラスト云フコトモアルカラ、ドウモ大選舉區ダカラ餘計ニ費用ガ掛カルト云フコトハ、ソレハ郵便屋ノ言フコトデアッテ、本當ニサウデアルカドウカト云フコトハ、ドウモ疑ヒマス、況シテヤ選舉區ト云フモノハ幸ニ我國ニ於テハ斯ノ如キ弊害ハ少イデゴザイマセウ、外國アタリデ見マスト當選ノトキバカリデナク、選舉區ト議員ト密接ニスレバスルホド、平常カラ當選後ニ於テ選舉區ヲ……適當ノ翻譯文ガアリマセヌガ、選舉區ヲ常ニ培養シテ置カナケレバ、選舉區ト云フモノ、地盤ヲ生ヤスニハ、多少ノ肥料ガ要リマス、肥料ト云フト、ヲカシウゴザイマスガ、常ニソレヲ矢張リ養ツテ置カナケレバナラヌ、ソレハ決シテ賄賂ダノ何ダント、ソンナ卑劣ナコトヲ言フノデハアリマセヌ、公共事業ニ對シテ學校ヲ立て、吳レト言ヘバ率先シテ寄附シナケレバナラヌ、總テ公共的事業ノ立派ナリマス、コトニ對シテ金ヲ費ヤスト云フコトヲシナケレバナラヌ、又義務デアル、是ハナカツ費用ノ掛カルモノダト云フコトヲ聞イテ居リマス、私ハ日本ノ實際ノコトハ能ク知リマセヌガ、書物ノ上デサウ聞イテ居リマスカラ、或ハサウデアラウカト思ヒマス、ナカツ其小選舉區ダカラ、相當ノ人望ガアルカラ金ナシデ始終議員ニナッテ居ルト云フヤウナ氣樂ナコトハ、ナカツ出来ナカラウト思ヒマス、ソレハ扱置キマシテ小選舉區ニ於テハ運動ノ弊等ガ盛ンニナリマスニ從ツテ黨派ノ關係ト云フモノガ大選舉區ニ於テ廣クアルヨリ狹イ所デハ激烈ニ行ハレマスカラ、選舉ガ濟ンダ後、平常ニ於テ軋轢ヲ殘スコトガアリマス、ソレガ爲ニ自治制度ニ影響ヲ及ボシ、宣シカラザル軋轢ヲ残スト云フコトハ屢々他ノ論者モ御詰ガアツタコトデアリマス、私モ色ニ此席ニ居ラレル古クヨリ地方長官ヲサレタル御方々數人トナク、如何デゴザイマスト言ツテ御尋ネスルト、皆サン古ク地方長官ヲサレタ御方ハ、ドウモ選舉ノ爲ニ小選舉區デアルト其軋轢ノ餘波ガ残ツテ他ノ平常、自治ノ事務、縣事務モイカナイモノデアルト言ハレマスカラ、私ハソレヲ信用シテ、サウデアルト思ヒマス、且ツ小選舉區ノ利ノアル所ト致シテ、小選舉區トナレ地盤ト仰シャルガ、其地盤ト云フコトハ多分、密接ノ關係ヲ意味シテ居ルノ

デアラウト思ヒマス、其地盤ナルモノガ堅クアルト云フコトハ大層是ハ優良善美ナル點デアルヤウナ御話デゴザイマスガ、是モ一利一害デアリマス、成ルホド私一個ノ立場トシテ議員トナツテ出ヤウト云フニハ地盤ガ堅クアルコトハ誠ニ一個ノ爲ニ都合ハ宜ウゴザイマスケレドモ、翻ツテ國家ト云フ大キナ目カラ見マスト、餘リ選舉區ニ根ガ生エ過ギテ居リマスト、中央ノ國會ニ出テ議論ヲスルトキニモ先づ第一ニ地方ノ利害ヲ主トシテ議論スルヤウニナル、議論ガ地方的ニナル、意見ガ片寄リ、ドウシテモ地方代表ト云フヤウナ意味ヲ強ク現ハスコトニナリマスカラ、或ル程度マデハ餘リ地方ニ根ガ生エテ居ラス方ガ却ツテ公平ナ政治論ガ吐ケルカモ知レナイカラ、ソレモ必シモ丸呑ミニスルコトノ出來ル理由デハナイト思ヒマス、其他附隨ノ理由ト致シマシテハ、是モ我國ニ於テハマダ格別其弊害ヲ見マセヌケレドモ、是カラ先キ或ハ起リ得ルト思フノハ、小選舉區ニ致シマスト、其選舉區ノ僅カノ境界ノ變更ト云フモノガ投票ノ力ニ大變ノ影響ヲ及ボシマス、或ル村ヲコチラノ選舉區ニ附ケヤウカ、アチラノ選舉區ニ附ケヤウカト云フコト、或ル町ヲドチラヘ附ケヤウカト云フ、其選舉區ノ割振リ方ガ非常ナル關係ヲ有ツテ來ル、而シテ其選舉區ノ割振リ方ト云フモノハ表向ニ選舉法改正トセズトモ、行政ノ方法デ隨分出來得ルコトモアリマス、又立法ノ方法デモスルノデアリマス、ソレ故ニ外國ニ見ルガ如ク、小選舉區ニナルト、選舉區ノ境界ヲ頻ニ其意味ヲ以テ變更スルト云フヤウナ弊ガ行ハレハシナイカト云フコトモ懸念ノ一ツデアリマス、大概小選舉區ノ弊害ハ斯ノ如キモノデアル、而シテ大選舉區ノ利益トシテ言ハレル所ヲ聞キマスト云フト、其大選舉區ノ利益デアルト云フコトハ多クハ個人ノ立場カラ見テノ利益デアリマス、選舉人ノ立場カラ見テ或ハ被選舉人ノ立場カラ見テノ利益モ固ヨリ考ヘナケレバナリマセヌケレドモ、棄テ難イ國民代表ノ本位ト云フコト、即チ多數ノ跋扈ヲ防イデ少數者デアリモ獨立者デアツテモ成ルベク此議員ニ選舉セシメテ、サウシテ國論ノ種々様ミナル所ヲ寫シ出シテ公平ノ批判ニ俟タウト云フコトノ國家的ノ大利益ニ比ベテ見マスレバ、多少個人的ニ費用ガ多クナルトカ何トカ云フ、個人的ノ利益ヲ以テ大選舉區ノ利益トシテ之ヲ主張スルコトハ出來ナイト思ヒマス、蓋シ大選舉區、小選舉區ノ利害ノ問題ハ、斯ノ如キ枝葉ノコトニ存スルノデ

ハナイノデアリマス、大キクシテ見レバ、先刻モ申ス通り何ガ爲ニ議院制度ガ有ルカト云フ根本問題カラ味ハナケレバ本當ノ事ハ分リマセヌ、附隨ノ問題ヲ以テ見レバ、大選舉區モ小選舉區モ利害相半バスルト云フコトニ歸著スルノハ御尤モノ話デアリマス、併ナガラ之ニ付イテハ根本ノ理由ガアル、此理由ガアルナラ其理由ヲ説明ニナリサウナモノデアリマスガ、今マデ賛成者ハ餘リ御演説ニナリマセヌ、唯衆議院ニ於ケル討議ノ中ニ其説ハ現ハレテ居リマス、即チ英國ニ於テ一昨年選舉法調査會ヲ政府デ設ケマシテ、小選舉區、大選舉區ノ利害ヲ討究サセマシタ、其論結ハ詰マリ小選舉區ト云フ方ニ手ヲ舉ゲタノデアリマス、其事ヲ引イテ衆議院ノ議論ニハ論ゼラレテアツタヤウニ速記録デ讀ミマシタ、是ハ誠ニサウデアリマスルガ、英國ニ於ケル一昨年ノ選舉法調査會ノ議論ヲ御讀ミニナラナケレバ、唯其論結ノミデハ之ヲ決スルコトガ出來マセヌ、英國ニ於キマシテハ議員ノ選舉ノ目的ガ私ガ唯今甲斯所ト少シク異ツテ居ルト云フコトデアリマス、ソレハ現ニ「ローヤルコンミション」ト云フ選舉法調査委員會ノ報告书中ノ議論ガ斯クナツテ居リマス、抑、ウカト云フ、其選舉區ノ割振リ方ガ非常ナル關係ヲ有ツテ來ル、而シテ其選舉區ノ割振リ方ト云フモノハ表向ニ選舉法改正トセズトモ、行政ノ方法デ隨分比例代表トカ、少數代表トカ云フコトハ、至極公平ナコトデアル、理論トシテ誠ニ望マシイコトデアル、然レドモ我ガ英國ノ今日ノ事情トシテ之ヲ採用スルコトハ出來ヌ、先キトニハ必ズ斯ウナルノデアラウガ、今日唯今……「ヒヤエンドノー」ト書イテアリマス、即チ今日唯今之ヲ採用スルト云フコトハ、我ミ英國ノ政治家トシテ難ンズル所デアルト書イテアリマス、其理由ハ何デアルカト云フト、英國デ總選舉ヲ行フニハ必シモ人物ヲ舉ゲタイノ、少數者ヲ舉ゲタイノト云フ意味デハナイ、政府ノ信任ヲ問フノデアル、政府ニ反對カ贊成カト云フコトヲ國民ニ問フノデアル、ソレ故ニ國民ノハツキリシタ答ヘヲ得ナケレバ、政府ノ地盤ガ薄弱デ困ルノデアル、ソレデ國民ガ政府ヲ信用シナイト、云ソ位ニ投票ガ現ハルレバ潔ク退クノデアル、之ヲ信用スルト云フコトデアルナラバ、任セテ貰ツテ腕ヲ揮フノデアル、ソレ故ニ總選舉ノ目的ハ政府ノ信任ヲ問フノデアル、補闕選舉デモサウデス、英吉利アタリデ補闕選舉ヲスルトキニハ、補闕選舉ノ結果、政府ノ信用ガマダ地方ニ有ルナトカ、失セタナトカ云フコトヲスルノデアル、斯ノ如キ理由デアリマスカラ、ドウシテモ英國ニ於テハ少數代表ナド、云フヤウナ贅澤ナ事ハ言ツテ居ラレナイ、且ツハ先刻モ申ス通り英國ハ我國トハ政體ガ異リマシテ……、必ズ可否ヲ言フノデハアリマセヌガ、政體ガ違ツテ居ルト云フノデアリマ

ス、實ハ政府ノ根據ハモウ下院ヨリ外ニ無イノデアリマス、議院ヲ便リトシテ立ツヨリ外ニ地盤ガ無イノデアリマス、我ガ日本ノ超然タル大權ヲ根據トシテ議院ト對峙スルト云フヤウナ政治ハ既ニ百年カ或ハ六七十年以來行フコトハ出來ナイ、唯英國ノ政權ノ中心、下院ニ在ルノデアリマス、而シテ下院ニ於テ過半數ノ政黨ト云フモノガ無イトキニ於テハ御主人様ガグラ／＼スルヤウナモノデ、確カナ御主人様ガ無イヤウナモノデ、ドウシテモ政治ヲスルコトガ出來マセヌカラ、如何ナル方法ヲ以テモ過半數ノ政黨ト云フモノヲ作リ上ゲナケレバナラヌノデアリマス、逆モ其政黨ガ保守黨デアルトカ、自由黨デアルトカ、サウ云フ贅澤ハ言ハレス、ドチラデモ宜イ。一ツ過半數ノモノガ出來テ、オ前ニ任スト言ハレテ、サウシテ政治家ガ内閣ニ立ツテ仕事ヲスルヨリ外ニ仕様ガナイ、成ルホド學者ノ言フ所モ尤モデアル、國民ノ要求スル所モ尤モデアルケレドモ、英國ノ政治デハ是ガ出來メト云フノモ、私英國ノ人ニ代ツテ考ヘマスレバ、尤モノコトデアッテ、要ラザルコトデアリマスケレドモ、私モ英國ノ人民デアツタナラバ、成ルホド、其方ニ手ヲ舉ゲタカモ知レヌト忠ヒマス、ケレドモ矢張リ國ミノ事デアル、例ヘバ獨逸諸國ノ如キハ下院ノ多數黨ニ依ツテ政府ヲ立テ、居ルノデアリマセヌカラ、帝國議會デモ、或ハ各國ノ議會デモ政黨ハ幾ラカ分裂シテ居リマス、分裂ハ好ミハシマセヌガ、平然タルモノデアル、政府ハ政府デアル、議院ハ議院デアル、議院ハ幾ツニ分レテモ又合シテモ、政府ト相對峙シテ居ルノデアルカラ、ソレデ根據ヲ議院ニ置カナイカラ、比例選舉ナリ比例代表ナリ少數代表ナリト云フコトヲ爲シ得ルコトガ出來ルノデアリマスガ、不幸ニシテ下院ノミヲ以テ政權ノ根據トスル國ニ於テハ、不辛ニシテ此少數代表ナド云フコトヲ容易ニ許スコトガ出來ヌ、今第三ノ政黨ガ出來テスラ、グラ／＼シテ居ルノニ五ツモ六ツモ出ラレタ日ニハ中心ヲ失テ仕舞フ、彼レト我レトノ國情ノ差ヲ考ヘテ我ハ之ヲ決シタイコトデアル、然ルニ委員會ノ速記ヲ見マシテモ、歐羅巴先進國云々ト云フ、先進國ヲ以テ待遇シテノ御議論ガ見エマスケレドモ、ソレハ先進國ハ先進國デアリマスケレドモ政體ガ違ヒ國情ガ違フトキニハ、唯其末ヲ持ツテ來テ我ニ擬スルト云フコトハ出來スカラ、其所ヲ能ク考ヘテ貰ハナケレバ行カヌ、ソレデ我ガ國情ニ照シ我ガ政體ニ於キマシテハ議院ハ會議ノ府デアル、會議ニハ澤山種々ナ意見ガ起ルコトヲ希望スルノデアル、種々ナ意見ガ自然ニ一致スルコトヲ以テ多數決ヲ以テ國政ニ參與ラスルノデアリマス、人工ヲ加ヘテ虛偽ニ

多數ヲ作ツテ、是ガ多數デアルトシテ立法ニ協賛セシムルヤウナコトハ、是ハ本來ノ趣旨ニ反シテ居リマス、或ハ黨ヲ作ツテ自由行動ヲ束縛シテ、其意ニ反シテ投票セシムルヤウナコトヲシテ、サウシテ舞臺ノ上デ是ガ多數デアルト言フタ所ガ、是ハ國民ガ承知ヲ致シマセヌ、抑、憲法ガ議會ニ望ム所ハ各人獨立自由ノ意見ヲ以テ獨立自由ノ投票ヲシテ、其意見ガ期セズシテ、相投合スルニ於テ、始メテ憲法ノ望ム所ノ多數ガ分カルノデアリマス、人工ヲ加ヘテ人ノ行動ヲ束縛シテ、サウシテ形ノ上ニ多數ヲ現ハシタ所ガ、ソレデ多數ト云フモノデハナイト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、ソレ故ニ議院ニ於キマシテ成ルベク國論ヲ公平ニ現ハスコトガ必要デアル、國論ガ一致シテ居ラズ多種ニ分レテ居リマスナラ其多種ガ議院ニ現ハレルコトニ近ル、ソレヲ以テ之ヲ見マシタトキニ於キマシテハ、大選舉區ニ於テ選舉セシムル方ガ小選舉區ニ於テ選舉セシムルヨリモ、幾分カ此目的ヲ達スルコトニ近イト云フコトヲ私ハ信ジテ疑ハヌノデアリマス、尤モ私ノ一個ノ議論トシマシテ、今日現行法ノ大選舉區、單記無記名ト云フ制度ヲ以テ終局ノ美デアルトハ思ハヌノデアリマス、私ハ自分自身デ自由ニ出來ルモノナラバ、モット錯雜シテ居リマスルガ、マア少シ之ニ投票ノ方法ヲ變ヘテ、而シテ少數者及獨立者ヲモ尙ホ選舉セシムルヤウナ方法ニ變ヘタイトハ思フノデアリマス、故ニ今日ノ現行法ヲ以テ之ヲ以テ終局ノ完美ナ制度トハ思ハヌノデアリマスガ、何シロ將來ニ向ツテ施スベキ改良ガアルナラバ、大選舉區ノ上ニ改良ヲ施スベキノデアリマス、小選舉區トシテ仕舞ツタナラバ少數黨ナリ獨立黨ニ便宜ヲ與ヘル改正ハ出來ナイ、若シ將來ニ改正ガ必要デアルナラバ大選舉區ヲ採ツタ後ノ上ノ問題デアリマス、ソレ故ニ私ドモハ小選舉區ニ變ヘルト云フコトニハ何所マデモ反対ヲ致シテ居リマス、斯ク申シマスレバ政府案ニマルデ反対ヲスルヤウデゴザイマスルガ、決シテサウデハゴザイマセヌ、政府ガ意ヲ用キテ人口ノ増加ニ伴フ所ノ此議員ノ増加ト云フコトハ必要ト見テ御發案ニナツタ點、其半分ニハ私ドモ賛成ヲ致シマス、誠ニ時機ヲ得タ當然ノ御處置ト思ヒマス、ソレ故ニ大選舉區、小選舉區ト云フコトハ此所デ反対ヲ致シマスケレドモ、議員ノ増加ト云フコトニハ賛成ヲ致シマス、諸君モ定メシサウデアラウト忠ヒマス、新聞ナドニ依リマスト云フト、大選舉區、小選舉區ガ通ラナケレバ、議場ニ於テ敗レルナラバ、議員ノ増加モ共ニ、或ハ否決サレルカノヤウナコトガ書イテアリマスガ、是ハ嘘デアリマセウ、成ルベ

ク誤報デアラムコトヲ希望スルノデアリマス、幸ニシテ先刻西村君カラ内務大臣ニ御尋ねニナッタトキニ、内務大臣ノ此席デノ御答ヘニ、ドウシテモ今日十年ヲ經タカラ人員增加ト云フコトハ是非必要デアルト云フコトノ御答辯ガアッテ、私ハ意ヲ強ウシタノデアリマス、此御答辯ニ依レバ、衆議院ニ行キマシテ小選舉區ハ通ラズトモ人員ノ增加ト云フコトハ、必ズ内務大臣ガ極力是ハ御周旋ニナッテ成立タシメラレルコトデアラウト思ッテ、ソレニハ一縷ノ望ヲ繋イデ居ル所デアリマス、甚ダ長談義ニ亘リマシテ恐入リマシタガ、

重大ノ問題デアリマシタカラ腹藏ナク述べマシタ次第デゴザイマス

○鎌田榮吉君 少々穂積君ニ質問ヲ致シタイ、穂積博士ノ政體論ハ既ニ伺ツテ居リマシテ、其根柢ニ於テ相違ノアルコトハ致シ方ガナイ、從ツテソレヨリ出ル所ノ結論モ必ズ多少ノ相違ガアリマセウト思ヒマスガ、今此英國ノコトヲ例ニ御引キニナリマシテ、千八百八十八年ニ「グラットストーン」ガ小選舉區制ヲ行ッタ其結果、少數黨ヲ出ダスノミナラズ各種ノ獨立議員ヲ出ダスノ目的ヲ以テ小選舉區制ヲ行ッタ、斯ウ云フコトデアリマシタガ、又先年ノ「ローヤル・コンミッショーン」ノ決議デハ、英國デハ國民ノ贊否ヲ問フガ爲ニ議會ヲ開イテ居ルノデアルカラ、決シテ種々ノ人ハ要ラナイ、唯ドックガ多イカト云フコトヲ見サヘスレバ宜イ、サウシマスト云フト「グラットストーン」ノ小選舉區、即チ一區一人ノ制ヲ施カレタノモ英國ノ「ローヤル・コンミッショーン」ガ小選舉區ニ矢張リ論結ガナッタト云フコト、ハ全ク反對ノヤウニ私ハ思ハレマス、併シ是ハ英國ノコトダカラ穂積博士ハ御承知ニナラヌト言ヘバソレマデ、モウ一つハ此千八百八十八年ノ小選舉區法ガ實行サレ、數回ノ選舉ヲ行ッタ所ガ、常ニ少數黨ハ比例以外ニ少イ、多數黨ハ比例以外ニ多クノ議員ヲ出シタ、ドウシテモ此小選舉區デハ少數代表ト云フコトガ出來ナイト云フコトヲ看破サレタ、是モ統計ニ依ツテ示サレル以上ハ承知セナケレバナラヌ、併ナガラ凡ソ此立憲政體ヲ施カレタ所ノ文明各國ノ中デ、英國ホド兩政黨ノ對立シテ居ル所ハ凡ソ無イダラウト思ヒマス、千八百八十八年以後ノ政黨ノ有様ヲ見マスルト、稍々兩黨相對立シテ常ニ勢ヒノ多イ者ガ政權ヲ握ルト云フコトニナッテ居リマスガ、私ハ理想ニハ行カヌカハ知リマセヌガ、アレ位ニ行ケバ餘ホド此二黨ノ中ノ少數者ノ方モ先づ満足シナケレバナラヌ、其結果ヲ見ルコトガ出來ナケレバ小選舉區ハ英國ニ不適當ノモノデアルカ、英國ノ政體ノ上ニハ即チ此二大政黨ノ對立ト云フコトガ此セ

イデ出來テ居ル、即チ「グラットストーン」ノ歎ゼラレタノハ現在ノ有様トハ全ク反對デアルノデス、是ガ私ニ分ラナイ、其上ニ英國ノ國情ト日本ノ社會狀態トハ非常ニ違ツテ居ルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマスカラシテ、其點ヲ一ツ伺ツテ置キタイ

○穂積八束君 唯今ノ御問ヒハ事ガ英國ニ亘ツテ居リマシテ、私モ甚ダ正確御答ノ出來ヌノハ自ラ恥デマスガ、全ク能ク存ジマセヌカラ其御積リデ御聽キヲ願ヒマスノデアリマス

〔鎌田榮吉君「宣シウゴザイマス」ト述フ〕

唯私ノ記憶シテ居リマスル所、僅カナ書物ヲ讀ンダ所デハ「グラットストーン」ガ千八百八十八年デアッタカ五年デアッタカニ小選舉區ヲ採用シタ時ノ理由ト云フモノハ、ハツキラ私モ存ジマセヌガ、唯其中ニハ當時少數ノ代表ト云フコトガ是ニ得ラル、デアラウト云フヤウナ言葉ハ、タシカ「グラットストーン」ノ演說中ニモアッタト云フコトハ書物ニ書イテアリマスケレドモ、其重モナ理由ハ何デアッタカ存ジマセヌ、ソレカラ又英國ノ其小選舉區法ヲ二十幾年施キマシタ後ノ統計表ト云フモノハ、ソレハ統計表ガ私ヲ歎クニアラズンバ明白ニ私ノ申シタ通リノ結果ニナッテ居リマシテ、投票力ト云フモノト當選者ノ比例ト云フモノガ多數黨ニハ割合ニ多クシテ少數黨ニハ割合ニ少クナフテ正當ニ行ツテ居ラナイト云フコトハ是ハ事實デアリマス、ソレカラ尙ホ御尋ネノ點ガアリマシタガ、ドウモ英國デハドウデアッタカト云フヤウナコトニ付イテ甚ダ御恥カシイコトデアリマスケレドモ、正確ナ調べヲシテ居リマセヌカラ、茲デ斷然タル御答ヘガ出來マセヌト申スノ外ハナイノデアリマス

○鎌田榮吉君 尚ホチヨフト御尋ね致シマスガ、無論正確ナコトヲ伺フノデハナイ、大體小選舉區ニ反對セラル、理由トシテ引カレタ點ダケガ分カレバ宣シイ、ソレニハ唯今御演說中ニアリマシタカ、アリマセナカツタカ記憶イタシマセヌガ、先日研究會デ御講演ニナリマシタ筆記ガ國民新聞ニ出テ居ル、殊ニ新聞デアッテ德富君ニハ甚ダ失禮ナガラ間違ヒガアルカモ知レマセヌガ、其「グラットストーン」ノ一人一區ノ制……

千八百八十五年グラットストーン氏は一人一區の制乃ち小選舉區制を實施し種々なる代表者を得んことを期待せしに選舉を行ふこと八回にして毎回悉く其の豫期に反し小數黨は選舉されても勢力に比較して少數の議員を出

し……

是ハ今ノ御説ノ通リデアリマス、種々ナル代表者ヲ得ルト云フコトハ必ズヤ
獨立議員又ハ小團體ノ代表者ヲ得テ最初ニ御述ベニナリマシタ通リノ恰モ議
會ヲシテ社會ノ寫眞タラシメムトスルノ希望ヲ「グラットストーン」ガ有タ
レタコト、思ヒマス、然ルニ其目的ヲ達シナカッタトスウ云フ點デアリマス、
是ハ「グラットストーン」ハ此言葉ニ據リマスト「グラットストーン」ハ政
黨ダケノ舞臺デナクシテ各種ノ人ヲ得ヤウ、其場合ハ議會ハ政黨ノ事務所デ
ハナイト云フコトヲ仰シヤツテ其アトニ比例ガ來テ而シテ最後ニ今ノ御話デ

ハ小選舉區ヲ英國ガ採用シタト云フハ國民ノ贊否、即チ政府ニ對スル信任ノ
有無ヲ知ラムトスルニ止マッテ、決シテ議會ニ於テ種々ノ點デ說ヲ鬪ハシタ
リ立法ヲシャウガ爲ニ此法ヲ施カウト云フコトデハナイト、斯ウ云フコトデ
アッタモノデスカラ、此實例ハ私ハ大選舉區ヲ施行セラル、所ノ論旨ヲ達ス
ル上ニ於テ如何ナル關係ヲ有ッテ居ルカト云フ疑ヒヲ生ジタカラ、ソレヲ伺
ヒタイ

○穗積八束君　ドウモ時間ヲ取リマシテ御氣ノ毒デゴザイマスガ、御質問デ
アリマスカラ御答辯ヲセズバナリマスマイ、甚ダ斯ウ冗談ヲ言フノデモ何デ
モアリマセヌガ、先刻アノ鎌田君モ仰シヤツタ通リニ新聞ノ報道ト云フモノ
ハ差障リガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ悉クドウモ本當ニハ行カヌ、況シ
テヤ私ノ所ニ來テ意見ヲ聽イテ書ク者デモ間違ヒモアリマス、又速記ニデモ
依ツテ書クモノナラバ格別デアリマスケレドモ、私ナドハ証辨デ……或ハ外
部デ一向、人ノ知ラナイコトカト思ッテ御互ニ研究シテ話合ツタコトナドガ、
プラット新聞ニ出テ居ルコトガアリマスカラ、自分モ見テ大分間違ヒノアル
所ヲ發見ヲシタケレドモ、新聞ニ就イテ取消ヲシテ居ルト云フコトハ秋ノ木
ノ葉ヲ追フヤウナモノデアッテ、逆モ追付キマセヌカラ、其儘ニ措クノデアリマ
ス、其點ニ付イテハ實ハ私ノ學友デアル所ノ水野鍊太郎君ガ御互ニ皆斯ウ云
フコトヲ研究シテ居リマスガ、注意ヲサレテ、アレハ君ノ言ツタ通リノコト
カト言フカラ、ソレデサウデハナイト言ツテ、私ガアノ記事ニ書イテアルコ
トデモ大體間違ヒハアリマセヌガ、一つ「グラットストーン」ガ自分デ其小
選舉區ノ法ヲ施キナガラ、自分で大ニ後悔ヲシタト云フヤウナコトガ成ルホ
トストーン」ガサウ云フコトヲ見極メテ亡クナラレタカドウカ知レマセ
リ

ス、自分ハ自分デ良イ方法ヲ用キタト思ツテ亡クナラレタノデアリマセウ、
サウシテ今日ハ英國デモ「グラットストーン」ノシタコトヲ善イコト、思ツ
テ居ルデアリマセウ、私モ英國ニ付イテハ、ソレヲ良シトシテ居ルノデアリ
マス、大部分ハアノ記事ハ正確デアリマスガ、唯「グラットストーン」ノ言
論如何ニ關シテハ間違ヒモアリマスカラ、其事ハドウゾ御承知置キヲ願ヒマ
ス、……分リマシタカ

○議長(公爵徳川家達君)　村田保君

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君　本員ハ先刻和歌山縣ノ多額納稅議員ノ森田君ガ此席ニ於テ驚ク
ベキコトヲ言ハレマシタ、ソレデ本員ハ其質問ヲ致シタイト存ジマシタラ、
議長ニ於カレマシテ本員ニ許サレナイ、トコロガ江木君ニハ許サレテ本員ニ
ハ許サレナイ、議長ハ甚ダ不公平ト認メル、ドウモ斯様ノコトヲ今後サレマ
シタナラバ議場ノ整理ハ餘ホド喧マシクナルニ違ヒナイト思フ、本員ナドハ
飽クマデモ、ドノヤウニ議長ガ言ハレテモ議長ガ規則ヲ遵奉セラレス限り
ハ、本員ハドンナコトヲシテモ、ソレニ應ジマセヌ積リデアリマス、併シ本
員ハ通告ヲシテ置キマシテ、茲デ唯今言フコトガ出來マスカラ沈黙シマス、
先キホド其森田君ノ言ハレタ語ハ實ニ貴族院始マッテ以來無イコトヲ言ツテ
居ル、實ニ驚クベキコトデアリマス、貴族院トシテ極忌ム、尤モ初メニ同氏
ノ言ハレルノニ私ハ無學文盲デ何モ知ラヌカラト云フコトヲ前置ニ置イテ、
ソレヲ證明セラレタ、故ニ本員ハヒドクハ咎メナシ、咎メナイケレドモ假初
ニモ勅語ヲ濫用スル議員ヲ有ツテ居ルト云フコトハ貴族院ニ於テ……帝國議
會始ツテ今日初メテ承ツタ所デゴザイマス、是ハ甚ダ不敬ナコトデゴザイマ
ス、甚ダ不敬ト思ヒマス、併ナガラ同氏ハ昨今出ラレタ人ニ違ヒナイカラシ
テ此議場ノコトハ御存ジナイ、又此小選舉區ガ大選舉區ニ代ハリマシタ時ノ
コトモ御存ジナイ、即チ十三會期ノコト、十四會期ノ時ノコトヲ御存ジナイ
カラ、ア、云フ無茶ナ論ガ出ル、併シ本員ハ誠ニ昨今ノ方ダト思ヒマスカ
ラ、ヒドクハ咎メマセヌ、咎メマセヌケレドモ、尙ホ本員ハ實ハ穗積博士ガ
段々此小選舉區、大選舉區ノ利害ヲ喋々御述ベニナリマシタカラシテ、本員
ハモウ出テ其利害ヲ述べル必要ハナイケレドモ、鎌田君ニ對シテハドウシタ
テ、辯明ヲシナケレバナラヌコトガアル、鎌田君モ委員ナラ本員モ同ジク
委員デアル、トコロガ鎌田君ノ論ハ本員ニハ一向分ラナイ、マア色ムノコト

ハ本員ハ構ヒマセヌガ、第一此暴行脅迫ナド、云フモノハ時勢デ是ハ無クナツタノデアル、何モ小選舉區ダカラ暴行脅迫ガ無イ、或ハ大選舉區ダカラ有ルト云フ譯ノモノデハナイ、是ハ時勢デ止ンダ、假令小選舉區ニシタ所ガ、暴行脅迫ハ無イ、是ハ時勢デ止ンダ、ソンナラ時勢ニ依ツテ刑法ノ暴行ヤ脅迫ハ止メテ仕舞フガ宜イ、ドウデゴザイマス、今日ハ暴行脅迫ハ議員バカリデハナイ、澤山アル、時勢デ暴行脅迫ガ止ンダト云フナラバ刑法カラ除クガ宜イ、コ、ラハ實ニ驚イタ話ダ、ソレバカリデハナイ委員會デモ言ハレマシタガ、小選舉區ハ極良イ、ドウモ大選舉區ハ良クナイ、ケレドモ之ヲ直グ使フノハ良クナイ、委員會デ言ハレマシタノハ、一年ヤ一年半ハ人民ニ熟知時間ヲ與ヘナケレバイカヌ、ソレハドウモ此直グ使フト云フノハ甚ダ良クナイト言ハレタコトハ、本員ナドハチットモ分ラナイ、法律ト云フモノハ急ノ場合ハ即日カラ施行シナケレバ法律ノ效ヲ一向爲サナイ、ソレデ丁度一口ニ申スト云フト、何ノコトハナイ兩手ニ花ヲ持タセタト云フヤウナ形ガ見エル、一方ニ向ツテハ反対ダ、一方ニ向ツテハ賛成、斯ウ云フヤウニ見エル、何故ト同ジダ、何ノ效ハナイ、大方鎌田君ハ小選舉區ニ賛成デモシタナラ、政友會ノ皆サン方ガ定メシ御悅ビニナルダラウト云ツテ、實ニ賛成ヲナサレタニ違ヒナイト思フ、ケレドモ内心ハ決シテサウデナイト思フ、何故ト云フナラバ、直グ使ツテハナラヌ、ソレナラバ今日之ヲ設クル必要ハナイ、寧ロ其事實ハ反対ト云フ外仕方ガナニ、ソレト本員ハ第一ニ原内務大臣ニ一言ヲ申上げテ置キタイ、此第一讀會ニ於キマシテ一時間以上ノ長演説ヲナサレマシタ、サウシテ提出ノ理由ヲ述べラレ、又委員會ニ於キマシテモ反覆丁寧ニ御説明ニナリマシタ點ハ本員ハ誠ニ敬承スル、併ナガラ本員ノ甚ダ了解ニ苦シム點ガツアル、ソレハ原大臣ガ他黨カラ出ラレタ御方ナライザ知ラズ政友會ニ籍ヲ置カレテ、サウシテ斯クマデ小選舉區ヲバ熱心ニ主張ナサル、ト云フコトガ本員ハ甚ダ了解ニ苦シム、疑ツテ居ルコトガアル、ソレデ故伊藤公爵ハ政友會ヲバ組織セラレマシテ、サウシテ總裁ニナラレ、其盡力ノ結果、今日天下ニ大勢力ヲ有ツテ居ル所ノ政友會ト云フモノガ出來タ、實ニ政友會ノ御方ハ私ハ一大恩人ダラウト思フ、其恩人ナル所ノ伊藤公ノ意思ニ反シテ主張セラル、ト云フコトハ、實ニ本員ハ奇怪千萬ニ思フデス、本員ハ初期議會以來、

今日マデズツト繼續シテ居リマス、伊藤公爵ガ議員ノ資格ヲ以テ此議場ニワザく出ラレ、此演壇ニ登ツテ熱心ニ演説セラレタコトガアル、ソレハ伊藤公ノ終身唯一回ノミノ演説ト本員ハ思フ、一生涯ニ唯一遍ノ演説ヲセラレタコトガアル、其演説ハ何ノトキダト云フト、即チ衆議院議員選舉法ノ改正法デゴザイマス、其時ノ趣旨ニ、自分が初メ小選舉區ヲ設ケタト云フモノハ、本邦ニ於テマダ議員ノ選舉ナドノ經驗ハ極ク淺イ、又交通機關ト云フモノモ全クナイ、然ル所、十年ノ間解散ノ爲ニ六回ノ選舉ヲ行ツタ、其選舉ノ都度ニ暴行、脅迫、アラユル手段ヲ以テ激烈ナル競争ヲ爲ス、サウシテ大騒動ヲ爲スト云フモノハ畢竟此區域ガ狭イ、故ニ斯様ナル競争ヲスルニ依ツテハ、此選舉區ヲ改メテ大選舉區ニシ、且シ一府縣下ノ人物ヲ出サナクチヤナラヌ、名望アル者ヲ出サナクテハナラヌト云フコトヲバ喋々此席デ以テ述ベラレタノデス、即チ今日ノ大選舉區ト云フモノハ全ク伊藤公爵ガ自分モ熱心ニ賛成ヲセラレ、サウシテソレモ自身デ是ハ調ベラレタト云フコトヲ自分ニ述ベラレテ居選舉區ヲ設ケラレタノヲバ、此所ニ總裁ハ居ラレマセヌケレドモ、政友會ノ總裁初メ政友會ノ御方ガ、ソレマデ熱心セラレタル御方ニ反対シテ、是非小選舉區ニ戻サナクチヤナラヌト云フコトハ本員ハ甚ダ了解ニ苦シム、ドウモ存シテ居ル、ソレデ斯ノ如キ政友會ノ恩人ナル伊藤公ガ斯クマデ熱心ニ此大選舉區ヲ設ケラレタノヲバ、此所ニ總裁ハ居ラレマセヌケレドモ、政友會ノ伊藤公ノ地下ノ靈ニ對シテモ、ドウモ強ヒテ之ヲ打壊ハスナドト云フコトハ出来ナイノガ本當デハナイカト本員ナドハ思ヒマス、若シ伊藤公ガ存在ヲセラレテ居リマシタラバ、伊藤公ノ面目上、又前ノ斯様ナル履歷ノ關係上、決シテ賛成セラレスコトハ明カニ分ツテ居ル、若シ原内務大臣ガサウ云フコトヲ申出テ、サレタナラバ、大ナル眼玉ヲ頂戴スルデアラウト思フ、同大臣ガ内務大臣ニナドハ是ハ伊藤公ノ豫想セラレタ通リニ行ツテハシナイカト思フノデアリマス、ナゼト云フニ小選舉區ノトキニハ其度毎ニ暴行、脅迫アラユル手段ヲ以テ激烈ナル競争ヲシタト云フノガ、サツバリ其後四回モ總選舉ガアリマシタケレドモ全ク無クナツタト云フモノハ是ハ伊藤公ガ豫想セラレタ通リダラウト思フ、又一府縣下ノ人物、即チ大人物ヲ出ダサセヤウト云フコトモ、是モ伊

藤公ノ豫想通り皆出テ居ル、先キホド久保田君ノ言ハレル通り、其一例ヲ舉ゲテ見マスルト云フト、原内務大臣ノヤウナ天下ノ大人物ガ出テ居ルヂヤアリマセヌカ、是レガ何ヨリノ證據ダ、ソレデ原大臣ノ此改正ノ重モナル點ヲバ能ク煎ジ詰メテ見マスト、運動費ガ餘計カ、ルト云フノガ、是ガ主眼ノヤウデゴザイマス、成ルホド運動費ハ小選舉區ト大選舉區デハ或ハ多ク要ルカモ知レマセス、併シ本員ハ必シモ屹度小選舉區ニナレバ費用ガ減ズルトハ思ハヌ、ナゼト云フニソレハ本員ニ經驗ノ有ルコトヲ御話シ致シマス、池ノ中ノ魚ヲ釣ルヤウナモノデ、一ツノ池ノ中ノ限リアル魚ヲバ數人デ釣ルコトニナレバ、ドウモ其中デ巧者デ良イ餌ヲ使フ者ガ餘計釣ルニ違ヒナイ、サウシタラ他ノ者ハドウシテモ其人ヨリモット良イ餌料ヲ用キナケレバナラヌ、又其人ノ邪魔ヲシナクテハナラヌ、喧嘩モシナクテハナラヌ、併ナガラ他ニマダ幾ツモ澤山ニ池ガアルト言ヘバ、ソンナ所デ良イ高イ餌ヲ使ハヌデモ、ソンナ人ト争ハヌデモ釣ルコトガ出來マスカラシテ、丁度小選舉區ガソックリ本員ハ之ニ當ルダラウト思フ、若シ小サナ區域デ争フト言ヘバ、某ガ是レダケ使ヘバ他ノ者ハモット多ク使ハネバナラヌ、又他ノ一方ノ者ハ又其上使ハナケレバナラヌト云フコトニナッタナラバ、却ツテ小選舉區ノ方ガ金ガ要ル場合ガアルカモ知レヌノデアリマスカラ、必シモ小選舉區ナラバ金ガ減ルト云フコトハ恐ラクハ言ヘヌコトデハナイカト思ヒマス、ソレカラ又一方ニハ此選舉人ノコトモ能ク考ヘナクチャナラヌ、此法律ガ改正ニナッタラ選舉人ノ意向ハドウデアルカ、トコロガ選舉人ト云フモノハ、ナカヽ前カラ準備ヲシテ居ルモノデ、丁度此最負ノ相撲ニ肩ヲ入レルヤウナモノデ、議員選舉トナッタラ氣違ヒノヤウニナッテ飛ビ歩イテ、之ガ爲ニ實ニ一家ノ財産ヲ傾ケル者が隨分アル、モウ今日ヨリアノ人ニ投票シャウト云フヤウナコトハ銘々目算ヲ附ケテ居ル、原内務大臣ノ地盤ハ本員ハ迂闊デチットモ知リマセヌガ、假ニ巖手縣カラ出ラレルトナレバ、今日ハ此郡カラモ原先生ニ入レル、アノ郡カラモ原先生ニ入レル、オレモ原先生、オレモ原先生ヲ入レルト言ウテ、首ヲ長クシテ待ツテルニ違ヒナイ、ソレガ今度小選舉區ニナリマシテ、他ノ者ハソコヘ行ツテ入レルコトガ出來ヌトナッタラバ非常ニ落膽ヲスルダラウ、失望モスルダラウシ落膽ヲスルニ違ヒナイ、又今日出ラレテ居リマス現在ノ議員モ其通り、モウ四回モアリマシタカラ皆地盤ガ固マツテ居ル、ドコカラ幾票、ドコカラ幾票ト云フヤウニ皆目算ハ今日カラ定マツテ居ル、本員ナド

ガ承ハル所デハ氣ノ早イ人ハモウ運動ニ出掛ケタ人ガアルト云フ位ナ話、ソレデ選舉人ト云フ者ハ丁度御得意先ノヤウナモノデ、得意先ノ機嫌ヲ損ジチヤナラヌノダカラ是ハ如何ナ原内務大臣ノヤウナ豪傑ノヤウナ御方デモ、得意先ハ大事ニシナクチヤナラヌ、此次ノ選舉ニ出ルノニハ、穂積君ハ肥料ト云フノモ是モ……衆議院ノ本年出マス提出案ト云フモノハ雨ガ降ルヤウダ、持ツテ行カナクチヤナラヌカラ、ドウシテモ此選舉ノ爲ニハ御土產ヲ作ルト云フコトニ定メラレマシタラバ、今マデノ得意ヲ失フニ違ヒナイ、必ズ失フニ違ヒナイ、サウシテ見レバ狭イ所ノ區域ヲ以テ新規ニ是カラ又得意ヲ作ラナケレバナラヌトナッタラ、隨分是ハ本員ナドハ困難ナコトグト思フノデス、ソレユエ隨分、衆議院議員ノ御方ニモ政友會ノ御方ニモ確カニ反對ハアルト思フノデス、一體法律ノ改正ト云フモノハ固ヨリ非常ナ差支トカ、非常ナ弊害ガ無ケレバ是ハ固ヨリ改正スペカラザルコトハ是ハ誰ニデモ分ツタコトデアリマスルガ、單ニ運動費ガ多ク掛カルカラナド、云フヤウナコトハ、一向本員ナドハ法律ノ改正ノ必要トナルモンデヤナイ、ソレノミナラズ、此選舉人ノコトモ能ク考ヘナクチャナラヌ、此法律ガ改正ニナッタラ選舉人ノシテモ隨分、他ノ黨モ皆賛成スルダラウガ、ソレガサウデナイ、是ハ全ク大政黨ガ小政黨ヲ衆議院デ壓倒シテ仕舞ツタ、大政黨ガ小政黨ヲ壓倒シテ成立タセタ法案デゴザイマス、ソレデ斯ノ如キ法案ト云フモノハ貴族院トシテハ、ドウシテモ今日輿論ニ從ツテ否決シナクチヤナラヌ、決シテ輿論デナイノデス、輿論ニ從ツテ貴族院ガ之ヲ否決スルト云フノハ當然デ、貴族院ガ憲法デ設ケラレタト云フモノハ、即チ斯ウ云フ場合ノ爲デアル、衆議院ト云フモノハ即チ憲法ノ伊藤公ノ註釋ニモアリマス通り、衆議院デ一方ノ黨派デ固マタヤウナトキニ、此時ニ一方デ貴族院デ公平ニヤラナクチヤナラヌ、斯ウ云フトキニハ最モ貴族院ノ必要ナルトキデ、若シ貴族院ガ無カラウモノナラ、大政黨ガ皆小政黨ヲ壓倒シテ勝手放題ナ事ヲヤル、ソレデ本員ハ終リニ懸念シテ居ル人ガ澤山アル、ト云フノハ内務大臣ハ政黨カラ出テ居ル御方デ

アルカラ、或ハ干涉デモサレハシナイカト云フコトヲ恐レル人ガアリマスガ、ソレハ決シテ無イ、決シテ内務大臣ガ干涉ナドハ爲サリマスマイガ、併ナガラ地方官ト云フ者ハ御機嫌取リノ爲ニ或ハ干涉ラスルカモ知レナイ、若シサウ云フコトニナリマシタラ實ニ容易ナラヌコトデゴザイマスカラ、萬一ソンナ地方官ガ有ツタラ、ビシ／＼處分ヲシテ戴キタイト希望イタシマス、若シ本員ノ述べマスコトニ或ハ誤解ガアルカモ知レマセヌ、ドウゾゴザイマシタラ原内務大臣カラ十分御攻撃ヲ願ヒマス

〔江木千之君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 江木君、何デスカ

○江木千之君 本員ハ茲ニ討論終結ノ動議ヲ提出イタシマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今、原大臣ヨリ演説ヲシタイト云フ通告ガゴザイマシタ、内務大臣原敬君

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 諸君、最早贊否ノ御論モ盡キマシテ、謂ハユル討論終結ノ動議ヲモ提出セラル、場合デアリマスルカラ、私ハ茲ニ長時間ヲ煩ハシテ再び趣意ヲ繰返ス考ヘハゴザイマセヌガ、一應唯今反対ノ御演説モ承リマシタカラ、之ニ對シテ其誤解ヲ解キマンテ公平ナル御判断ヲ得タイト考ヘマスルデ、敢テ茲ニ數言ヲ費ヤス譯デアリマス、既ニ先般本議場ニ於テ竝ニ委員會ニ於テ反覆政府ノ意思ハ陳述イタシマシタカラ、之ヲ繰返スニハ及ビマセヌガ、サリナガラ左様ニ辯明イタシタニ拘ラズ、或ハ誤解デアラウカト思ハル、點モアリマス、又議論ノ相違トシテ一言申サナケレバナラヌコトモアルヤウニ考ヘマスルノデアリマス、此事柄タルヤ固ヨリ既ニ申シタガ如ク一部團體ノ利害ニ基クモノニハアラズ、全ク國家ノ利害ヲ篤ト考ヘマシテ、斯クスルコトガ必要ナリト斷定イタス所ノ案ヲ提出イタシタノデアリマス、唯今マデ反対ノ御演説ヲ承リマシタガ、久保田君ノ御演説ニ依リマスレバ、大小選舉區ノ利害ハ不明デアルト云フヤウニ仰セラレテアリマス、是ハ固ヨリスル論者モアル、又大小選舉區其利害ガ何レニアルヤ了解ノ出來ヌト云フ方モ無論アルノデアリマスルカラ、大小選舉區ノ利害不明デアルト云フコトモ、久保田君ノ御見解デ已ムヲ得ヌノデアリマスルガ、併ナガラ此十年間實

施イタシマシタ經驗ニ依レバ、大選舉區ノ弊害ガ明カルモノデアル、之ヲ改正イタサナケレバナラヌト云フ必要ヲ見ルノデアリマス、恰モ現行法ニ改正セラル、時ニ、十年間實施イタシタ經驗ニ依ツテ現行法ニ改メラレタ、而シテ今回復タ現行法ヲ十年間實施シタ實蹟ニ依ツテ改正ヲ致サウト云フノデアリマスルカラ、政府ノ見ル所デハ此利害ハ極メテ明瞭ナルモノト思フノデトガアリマスケレドモ、是ハ謂ハユル理論デアリマス、實際ノ情況ハ今日ノ大選舉區ハ折角設ケマシタ大選舉區ノ目的ニ反シテ、意外ナル弊害ヲ生ジテ居ルト認メルノデアリマス、故ニ政府ニ於テハ此弊害ヲ矯正スル爲ニハ他ノ種々ナ方法モ伴ヒマスルガ、此小選舉區ニ改ムルコトヲ以テ最モ適當ナル方法ト考ヘテ居ルノデアリマス、故ニ決シテ大小選舉區ノ利害ハ今日ノ實蹟ニ徵スレバ不明ナルモノデハナイト考ヘルノデアリマス、又此提案ガ如何ニモ突然デアッタト云フヤウナ御説モ承リマシタ、是ハ御尤モノコトデアリマス、此改正案ヲ企テマシタノハ昨年末ノコトデアリマス、固ヨリ多少ノ改正ヲ致サナケレバナラヌコトハ前内閣以來、調査ニ著手シテアッタノデアリマスルケレドモ、斯ノ如キ成案ヲ得テ之ヲ議會ニ提出イタスト云フコトニナリマシタノハ、昨年ノ末ノコトデアリマスルカラ、突然ト言ヘバ突然ニ相違アリマセヌ、併ナガラ斯ノ如キ法案ヲ提出スルトキニハ必ス數年間、其法案ヲ提出スルト云フコトガ現ハレテ後ニ提出ヲスル次第ノモノデハナイコトハ無論皆サン御承知ノ通リデアル、又現行法ハ唯今ドナタカノ御演説ニアリマスル通り、最初ノ提案ノ折ニハ矢張リ今日同様デアリマシタ、決シテ其以前數年間ニ瓦ツテ改正ノ要旨ガ世間ニ明カニナツテ居ツタノデハナイノデアリマス、而シテ此議會ニ提出セラレタ後モ數多ノ變化ヲ經テ現行法ニ相成ツテ居ルノデ、故ニ突然ト言ヘバ突然デアリマスケレドモ、必シモ是ハ此法案ヲ是非スル理由トハナルマイト思ヒマス、又地方官云々ノコトモアリマス、是モ前例ノ有ルコトデ、唯今申シタ如ク第十二議會以來ノ提出ノ場合ニ於キマシテモ地方官ニ詰問イタシテ居リマセヌ、地方官會議ナルモノハ御承知ノ通リ法律ニ依ツテ組織セラレテ居ル會議デハゴザイマセヌ、從ツテ何等之ニ存在シテ居ル所ノ權限モ無イノデアリマス、時ノ内務大臣他ノ各省大臣ガ其所管事務ニ付イ

テ打合ハセヲスル會議デアリマスルコトハ茲ニ説明ヲ要シマセヌガ故ニ、是等ノ人々ニ諮詢イタシマシテモ無論差支ナイコトデアリマス、併ナガラ是ハ必ズ諮詢イタサナケレバナラヌ問題デモナク、又前例ニ於テモ諮詢ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、今回ハ殊ニ諮詢ヲ致サウト欲シタ所デ、其時日モナカツタノデアリマス故ニ、是ハ本案ヲ編成イタシマスル必要ナル條件デハ無論ナイノデアリマス、故ニ斯ノ如ク改正ニ相成ルト云フコトハ數年前カラ知レ渡ツテ人々ガ其準備ヲ致スコトガ出來マシタナラバ、ソレハ固ヨリ宜シイコトデアリマセウ、アリマセウガ、必シモスクナサナケレバナラヌト云フ次第ノモノデハナイト考ヘルノデゴザイマス、況ヤ今日ニ於テ昨年ノ末以來、苟モ選舉ニ關係ヲ有チマシタモノハ皆何レニ歸著スルカニ依ツテ準備ハ致スノデアリマスガ、今日ハ既ニ是ガ小選舉區ニナレバ、斯ク致サウ、若シ不幸ニシテ成立セヌケレバ、斯ノ如ク致サウト云フ準備ヲ致シテ居ルカニ思ハレルノデゴザイマス、故ニ此點ニ於テハ成ルベク早ク世間ニ知レ渡リ、輿論ノ歸著ヲ見ルコトガ出來マスレバ宜シイノデアリマスガ、必ズスクセザルヲ得ズ、斯クセザレバ之ヲ提出スルコトハナラヌモノトハ政府ニ於テ考ヘモセズ、又斯ク論ズル御方モ左様ニハ認メラレナナイデアラウト思ヒマス、故ニ是レハ此案ヲ是非イタス事由トハ相成ルマイト考ヘルノデアリマス、又穗積君ハ多數ヲ得ル云々ニ付イテ英國ノ制度ト異ナルコトヨリ色々御演説ガアリマシタガ、是ハ如何ナル必要ニ基イテノ御演説デアリマシタカ、直接ニ此法案ニ對シテハ少シク了解ニ苦シム次第デアリマス、此法案ハ必シモ多數ヲ得ルノ便宣ヲ圖ルガ爲ニ改正イタスノデハナイノデアリマス、若シ私ノ承リマシタ所ニ誤解ナキモノト致シマスレバ、ドウ云フ必要ニ依ツテ斯ノ如キコトヲ述べラレタデアラウカ、世間ニハ何カ政黨ノ便宜ノ爲ト云フヤウナコトヲ申シテ居リマスルケレドモ、左様ナル次第デナイトハ既ニ屢々マデノ委員會等ニ於テ申シタコトデアル、現ニ多數黨ノ中ニモ多少ノ異論者ハアルノデゴザイマス、故ニ多數ヲ得ルノ方便トシテ斯ノ如キ改正ヲ致スノデナイト云フノハ大抵了解ヲ得テ居ルコト、思ヒマスルケレドモ、ソレハ世間ノコトデ、茲ニ斯様ナ御演説ノアリマシタノハ少シク了解ニ苦シムノデゴザイマス、又小選舉區、大選舉區ノ利害ヲ各國ノ例、殊ニ英吉利ノ例ニ照シテ色々御演説現在日本ニ於テモ小選舉區ハ存在イタシテ居ルノデアリマス、既ニ當議

場ニ於テモ先般申シマシタ如ク今日ハ普連ニ大選舉區制ナリト申シテ居リマスルケレドモ、實際ニ於テハ約六十ノ小選舉區ガ今日存在シテ居ルト云フコトヲ申シタノデアリマス、此約六十ノ小選舉區ハ此度設ケヤウト云フ小選舉區ト同様ナルモノデナイト云フコトハ、先般柳澤伯爵ニ對シテ申シマシタコトデアリマスガ、是ハ大ニ今回、小選舉區ヲ設ケル参考ニナルベキ選舉區デアルノデアリマス、此選舉區ノ情況ヲ見マスルノニ、大選舉區ニ付イテ色々ノ利益ヲ説カレテ、サウシテ小選舉區ニナツタナラバ、斯クノ斯クノ困難ガアルダラウト言ハレル事實ハ發見シナイノデアル、現在ノ小選舉區ニ於テハ、去ル四十一年ノ總選舉ノ實例ヲ申シマスレバ、無競争ノ部分モ澤山ニ有ルノデアリマス、タシカ二十幾ツアツカト記憶シテ居リマス、又競争アリト致シマシテモ、其競爭ガ激烈ナラザル所ガアツタノデアリマス、ソレコレヲ合ハセマスレバ約半數ハ極メテ靜穩ナル選舉ヲ致シテ居ル、斯ノ如キ所ニ於テハ大選舉區制ハ費用ガ要ルノ要ラヌノト云フ議論ガゴザイマスケレドモ、無論シマシテモ、其競爭ガ激烈ナラザル所ガアツタノデアリマス、ソレコレヲ合ハセマスレバ約半數ハ極メテ靜穩ナル選舉ヲ致シテ居ル、斯ノ如キ所ニ於テハ大選舉區制ハ費用ガ要ルノ要ラヌノト云フ議論ガゴザイマスケレドモ、無論其費用ハ極メテ僅少ナルモノデアル、又是ガ小選舉區ニナレバ再ビ暴行脅迫ガ行ハレハシマイカト云フ御説ガゴザイマシタ、是ハ昔ノ記名投票時代ノ小選舉區ヲ推想イタシマスレバ左様ニモ思ハル、ノデアリマスケレドモ、既ニ申シタガ如ク、今日改メムトスル所ノ小選舉區ハ決シテ舊時ノ記名投票時代ノ小選舉區制ニ戻ルノデナイト云フコトハ明言イタシタ通リノ次第デアリマスガ、然ラバ今日現ニ存在シテ居ル所ノ小選舉區ニ類似ノモノデアル、今日存在シテ居ル小選舉區ハ多クハ市デアル、市ト郡部トハ狀態ヲ異ニ致シマスカラ市ノ小選舉區ノ通リニ郡部ニ設ケタ所ノ小選舉區ガアラウト論斷スルノハ其當ヲ失シテ居リマセウケレドモ、稍、其趣ヲ窺フコトガ出來ルノデアリマス、而シテ今日ノ小選舉區ニ於テ暴行脅迫ト云フモノハ殆ド無イ、現ニ補闕選舉其他ノ選舉ガ行ハレテモ、サウ云フコトハ無イノデアル、ケレドモ是ハ單ニ小選舉區ニ無イバカリデナク、大選舉區ニモ無クナツテ來タト云フ有様デアリマス、ソレハ如何ナル理由ニ因ルカト云ヘバ、固ヨリ時勢ノ變化ト云フコトガ大ナル原因ニナツテ居ルニハ相違アリマスマイ、又一面ニ於テハ記名投票デナイト云フコトガ最モ重大ナル理由ト思ハレルノデアリマス、昔ノ小選舉區ハ記名投票デアリマス、隨分當時ノ人情ニ於テハ暴行脅迫モ行ハレタノデアリマス、併シ今日ハ左様ナルコトハ減少シマシタ、是ハ本議場ニ

セヌケレドモ、謂ハユル暴行脅迫ノ止シダノハ、之ヲ要スルニ選舉區ノ大小ノ關係ニ非ズシテ記名無記名ノ關係デアラウト申シタノデアリマス、故ニ今後、小選舉區制ニ改メマシテモ、此單記無記名ノ方法ヲ此改正案ノ如クニ致シテ置クニ於テハ再ビ暴行脅迫等ハアルマイト斷言シテ宜カラウト思ヒマス、又是ハ枝葉ノ論デアリマスガ、費用ノ論モ既ニ理由トナツテ居ル、是ハ枝葉ト申セバ枝葉ノ論デアリマスガ、併シ是ハ稍、大ナル關係ヲ有ツテ居ルコト、思ヒマス、即チ小選舉區ノ費用ノ掛カラナイ所ト大選舉區ノ費用ノ掛カラナカッタ所トヲ比較シマシテ隨分差ガアル、小選舉區ノ費用ノ大ニ掛ッテ居ル所ト大選舉區ニ於テ大ニ費用ノ掛ツテ居ル所ト等シク費用ヲ要シタト云フ所ニ於テ其差ハ非常ナモノデアリマス、又小選舉區ニ於テ競争ノ激烈ナル所ガアリ、又一方ニハ平穩ナル所ガアル、是モ事實デアリマス、併ナガラ其激烈ノ程度ヲ大選舉區ニ於テ選舉ノ激烈ナル所ニ於テ比較スレバドウデアルカ、是ハ無論大選舉區ノ方ガ激烈デアル、唯多ク選舉ノ勝敗ニ注意ヲ致サヌ者ニハ、大選舉區ノ方ハ極メテ激烈ナル競争デアリマシテモ、激烈デナイカノ如クニ見エル場合ガ多イノデアル、小選舉區デアリマスレバ、一舉一動、人ノ耳目ニ觸レマスルガ故ニ如何ニモ激シク、大選舉區ノ部分ニ於テハ左様ニハ見エマセヌガ故ニ、均シク激烈デアルト致セバ、人ノ耳目ニ觸ル、コトハ小選舉區ニ多クシテ大選舉區ニハ耳目ニ觸レニクノデアリマスルケレドモ、一度其内面ヲ窺ヘバ寧ロ小選舉區ヨリモ大選舉區ノ方が激烈ナリト申シテ宜シイ、斯様ニ現在存立シテ居ル所ノ小選舉區ト現在ノ大選舉區ト比較イタシマシテ、其優劣ハ實際ノ事實ニ於テ明カナルモノ、費用ガドチラガ掛カルマイトカ多カラウトカ云フ想像ハ別ト致シマシテ、事實ニ於テハ大選舉區ト小選舉區ハ費用ニ於テハ非常ナル差ノアルコトハ今日ノ實蹟ニ於テ明カデアル、又小選舉區ハ自治ヲ害スト云フヤウナコトモアリマスルガ、是ハ昔ノ舊制時代ノ小選舉區ニ於テハ左様ナルコトモ無論アツタノデアリマス、今日ハ左様ナルコトハ無イ、サリナガラ謂ハユル競争ト云フコトハ假令選舉區ノ大小ニ拘ラズ競争ヲ激シク致セバ多少、後ニ痕跡ヲ留ムルコトハ大選舉區デアツテモ小選舉區デアツテモ同様ナルモノデアリマスルガ、特ニ小選舉區ニ限ツテ自治ヲ害スルヤウナル弊害ガ、此競爭ニ因ツテ生ズルト云フコトハ今日存在シテ居ル小選舉區ニ於テハ無イノデアル、故ニ將來、郡部ヲ改メテ……郡部ノ大選舉區ヲ改メテ小選舉區ニ致シタナラバ自治ヲ害スルガ如キ弊害ヲ生ズルデアラウ

ト云フコトハ今日ノ實蹟ヨリ見レバ之ヲ杞憂ナリト申スノ外ハ無イ、又其選舉ノ競爭ノ弊トシテ或ハ選舉區ノ境界ヲ變更スルヤウナ企ラシハシマイカト云フコトモアリマスルガ、將來少クトモ近キ將來ニ斯様ナルコトガアラウトハ想像サレマセヌ、想像ハ致サレマセヌケレドモ、ソレハ若シモ斯様ナルコトヲ以テ當選ノ便宜ニ供スルヤウナ弊害ガ今ハ見エマセヌケレドモ、他日起リマシタナラバ、左様ナルコトガ無イト云フ保證ハ出來マセヌガ、近キ將來ニ云フコトモアリマスルガ、將來少クトモ近キ將來ニ斯様ナルコトガアラウトハ想像サレマセヌ、想像ハ致サレマセヌケレドモ、ソレハ若シモ斯様ナルコトヲ以テ當選ノ便宜ニ供スルヤウナ弊害ガ今ハ見エマセヌケレドモ、他日起リマシタナラバ、左様ナルコトガ無イト云フ保證ハ出來マセヌガ、近キ將來ニ云フコトモアリマスルガ、將來少クトモ近キ將來ニ斯様ナルコトガアラウトハ想像サレマセヌ、想像ハ致サレマセヌケレバナラヌ、町村ノ合併ノ如キハ議會ノ決議ヲ要シマセヌカラ、或ハ時ノ當局者ノ協議ニ依ツテ致シマスレバ弊害ノ無イト云フコトハノ決議ヲ致シマスレバ想像モ出來マセウガ、然ルトキニハ之ニ對スル相當ノ途モアルノデアリマス、故ニ小選舉區ニ改メマシタガ故ニ斯ノ如キ弊害マデ生ズルト云フコトニハ私ハ思ヒ到リマセヌ、又英國ニ於テ云々ト云フコトモアリマシタガ、私モ一通リハ各國ノ例モ調査イタシマシタケレドモ、悉ク各國ノ選舉ニ關スル調査ヲ致シタ次第デアリマセヌカラ大體ノ事以外ハ存ジマセヌ、併ナガラ英國ニ致シマシテモ黨派ナドノ關係ヲ見マスレバ、同ジ選舉法ノ下デ、同ジ小選舉區制ノ下ニ於テモ、或ル黨派ガ多數ニナリ、ソレガ變ジテ或ル黨派ガ多數ニナツテ、又ソレガ少數ニナルト云フコトモ屢々見テ居ルノデアリマス、然ルトキニハ黨派ノ消長ナルモノハ選舉區ノ大小ニ依ラズシテ生ズル場合モ英國ニ於テハアルト私ドモハ見テ居ルノデ、故ニ必ズ英國ガ小選舉區デナケレバナラヌ、何故ト云ヘバ多數ヲ得ルガ爲ニト云フコトデアルカモ知レマセヌガ、是ハ私ドモハ思ヒ到ラヌ論旨デアルト思フノデ、斯様ナル次第デアリマスルカラ、枝葉ノ論ハ別ト致シマシテ、大體ニ於テ今日現存イタシテ居ル所ノ種々ノ弊害ヲ除イテ時弊ヲ矯正イタスノニハ小選舉區ニ致シテ差支ナイト考ヘルノデアリマス、小選舉區固ヨリ絶對ニ闕點ノ無イ制度デアリマスマイケレドモ、今日ノ時弊ヲ改ムルニハ之ニ因ルガ最モ適切ナル方法ト考ヘテ居ルノデアリマス、又村田君ノ御議論ニ至ツテハ實ハ私ハ十 分ニ了解ヲ致サヌノデアリマス、ドウ云フ關係デ此法案ヲ論ゼラル、カ、御演説ノ意味ハドコニ在ツタノデアラウカ、此點ニ付イテ御趣意ノアル所ヲ改メテ小選舉區ニ致シタナラバ自治ヲ害スルガ御演説中ニアツタ、政友十分ニ了解ガ出來マセヌガ、兎ニ角斯様ナルコトガ御演説中ニアツタ、政友

會ノ創立者タル伊藤公ガ大選舉區法ヲ唱ヘタノデアルカラ、少クトモ政友會出身ノ者ハ大選舉區ヲ改ムルト云フ議論ヲ唱ヘサウニハ思ハレヌコトデアル、又之ヲ唱フルコトハ伊藤公ニ對シテモ相濟マヌデハナイカト云フ御議論デアリマスガ、是ハ法案ヲ論ズルニ當ツテハ左マテノ價値ハナイカト考ヘマスガ、兎ニ角、如何ナル人ノ作リマシタ法律ニ致シマシテモ、持出シタ法律デアリマシテモ、亦自ラ作リマシタ法律デアッテモ、國家ノ爲ニ斯クセザルヲ得ヌト云フ改正ヲ思ヒ付キマシタナラバ之ヲ改正スルコトハ差支ナイ、伊藤公ト雖モ自ラ作ラレタ法律ヲ自ラ改正セラレタコトハ幾ラモアルノデアリマス、何等差支ナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯様ナル點ニ付イテハ強ヒテ茲デ議論ヲ闘ハスノ必要モナカラウト思ヒマス、又御演説中ニ暴行脅迫云々付イテ暴行脅迫ノ止ンダノハ大選舉區ノ賜モノナリト云フ如キコトモアリマシタガ、暴行脅迫ノ止ミマシタノハ既ニ繰返シ申シマシタ如ク時勢ノ變遷ハ無論大ナル理由ニ相違アリマスマイガ、一面ニ於テハ是ハ無記名投票ノ賜モノナリト私ドモハ確信イタシテ居ル、若シモ再び記名投票ガ行ハレマシタナラバ、他ノコトハ暫ク措イテ、選舉ニ關シテ必ズ暴行脅迫ガ行ハレヌトハ申サレヌ、故ニ改正案ニ於テモ今日行ハレテ居ル所ノ單記無記名原則ハ其儘採用イタシテアル、記名ニ變ヘルト云フコトハ暴行脅迫ヲ再び喚起スコトノ危險ガ存在イタスノデアリマスガ、此暴行脅迫ノ止ンダノハ大選舉區ノ賜モノナリトハ私ドモ信ジナインデアリマス、又小選舉區ノ例ニ付イテ種々御話ガアッテ、池ノ魚ヲ釣ルヤウナ御話モアリマシタガ、一人デ一箇所ノ魚ヲ釣レバ競争ハ無イガ、コヽノ場所ハイカヌナラ他ノ場所ニ行ッテ釣レバ宜イト云フ御話デアリマスガ、其謂ハユル他ノ場所ニ大勢參ルト同ジク競争ヲ生ズルノデアリマス、是ハ枝葉ノコトデアリマスガ序デナガラ申シテ置クノデアリマス、又改正ハ輿論デナイト云フ御説モアリマシタガ、謂ハユル輿論ナルモノハ如何ニシテ見ルコトガ出來マセウ、見方ハ種々アリマセウ、併シ苟モ帝國議會ニ於テ之ヲ是ナリト致シタラバ之ヲ輿論トスルヨリ外ニ輿論ノ見様ハ無カラウト思フ、世間ノ議論ノ一致ヲ見テ初メテ是ガ輿論ナリト申スコトデアレバ、第十二議會、十三議會、十四議會ニ於テ世間ニモ議論、議場ニ於テモ兩院トモ非常ナル議論ヲ闘ハシテ或ルトキハ不成立ニ了ツタノデアリマスガ、是モ輿論デアルト言ハレナケレバナラヌ、是ハ左様ナルコトハナカラウ、故ニ前例ニ依ツテ考ヘテ見ルニ、兩院ニ於テ國情ニ照シ種々ナ

ル點ヨリ觀察サレマシテ、之ヲ是ナリトスレバ即チソレヲ輿論ト見ルヨリ外コト、考ヘマス、前例ニ於テモ亦左様ニシテ法案ハ提出サレテ居リマス、干渉云々、是ハ餘談デアリマスガ、併シ一言ヲ申シテ置キタイ、私ハ干渉スルデアラウ、シナイデアラウト云フコトヲ御話デアリマシタガ、委員會ニ於テモ何ヤラ左様ナ御説ガアリマシタ、併シ私ハ干渉ヲ致サヌノミナラズ歴代ノ當局者ト雖モ今日干渉スルト云フヤウナコトガ若シアリマシタナラバ、ソレハ選舉區ノ大小ニ依ラズシテ干渉ガ出來マセウケレドモ、今日ノ發達シタル情況ニ依ツテ考ヘマスレバ今日ノ政界ニ於テ干渉ナドヲ致スコトハアルマイト考ヘル、勿論自分ハ干渉イタス考ヘモ無イノミナラズ、去ル四十一年ノ總選舉ニ自ラ局ニ當リマシテ干渉ヲ致シタト云フコトハ自分ニ覺エモゴザイマセヌ、世間ニモ申シタ者ハアリマセヌ、此點ハ序デナガラ御安心ヲ願ヒマス、反対ノ御論旨ニ付イテハ種々アリマスケレドモ、悉ク記憶イタサヌガ故ニ脱漏モアルデアラウト思ヒマスケレドモ、之ニ止メマシテ、要スルニ今回此改正案ヲ提出イタシマシタノハ既ニ當議場ニ於テモ説明イタシ、委員會ニ於テモ數回述べマシタカラ是ハ繰返シマセヌガ、今日ノ時弊ヲ見、今日ノ實際ヲ見レバ、學者ノ議論ハ種々アリマス、議場ノ論トシテハ種々ナル議論モ生ズルノデアリマスケレドモ、今日ノ實際ヲ見テモ、ドウシテモ此儘、選舉法ヲ置クコトハ出來ヌノデアル、故ニ此改正ヲ致スノデアルト云フコトヲ申シタノデアリマス、即チ我ミハ理論モ理論デアリマスガ、事實ニ於テ之ヲ改正スルコトハ國家ノ爲ニ利益デアリ、憲政ノ發達ニハ小選舉區ニ改メ其他ノ箇條モ無論改正ヲ致スノデアリマスガ、主トシテ小選舉區ニ改メテ此時弊ヲ矯正シ、憲政ノ發達ヲ圖リタイト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、繰返シテ理由ヲ喋々ハ致シマセヌガ、斯ノ如キ次第デアルガ故ニ、此法案ニ一點ノ私ナク、選舉界ノ實況ヲ見マシテ斯クスルコトガ國家ノ爲ニ最モ利益アリト考ヘテ提出イタシタ事情ヲ十分ニ御了承ヲ得タイ次第デアリマス

○議長（公爵德川家達君）江木君ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、折角ノ御發議

○江木千之君 改メテ討論終結ノ動議ヲ提出イタシマス

○男爵吉川重吉君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

終結シタカト考へマスカラ、甚シイ御異存ガ無ケレバ此際討論終結ノ動議ヲ
採決イタサヌデモ宜カラウト思ヒマスガ……

○江木千之君 同ヒマスガ、通告ハマダ……

○議長(公爵徳川家達君) 通告ハゴザイマシタガ、目賀田男爵ハ取消スト云
フヤウナ御話ガ議長ノ耳ニ達シテ居リマス

○江木千之君 左様デゴザイマスカ、ソレナラバ……

○議長(公爵徳川家達君) 併シ強ヒテハ議長ハ強ヒマセヌ

○江木千之君 議長ノ御考ヘデ……

○議長(公爵徳川家達君) 江木君ニ尙ホ確メマスガ、討論終結ノ動議ハ決ヲ
採ラヌデ宜シウゴザイマスカ

○江木千之君 議長ノ御考ヘ通リデ……

○議長(公爵徳川家達君) 議長ハ討論終結ノ動議ハ採決イタス必要ハ認マ
セヌカラ採決イタシマセヌ、茲ニ採決ニ付イテ記名投票ノ要求が出テ居リマ
ス、故ニ委員長ノ報告ヲ可トセラル、ヤ否ヤノ採決ハ本院規則ノ第百七條ニ
據リマシテ記名投票ヲ以テ行ヒマス、記名投票ノ爲ニ書記官ヲシテ御席ヘ投
票ヲ集メニ出シマスカラ、其節書記官ヘ御渡シヲ請ヒマス、念ノ爲ニ申上ゲ
マスガ「記名投票ヲ行フ場合ニ於テハ問題ヲ可トスル議員ハ白色票ニ問題ヲ
否トスル議員ハ青色票ニ各、其ノ氏名ヲ記シ投票函ニ投入スヘシ」是ハ規則
第百八條ノ明文デゴザイマス、諸君ニ於テハ勿論御承知ノコト、存ジマス
ガ、念ノ爲ニ議長カラ此段ヲ申上ゲテ置キマス

〔伊澤修二君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 伊澤君ハ何デスカ

○伊澤修二君 投票ノコトニ付イテ念ノ爲ニ伺ヒタイ、今ノ委員長報告ノ通
リト云フ人ハ白票ヲ投ジテ宜イノデゴザイマスカ、チヨット伺ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今、議長ガ朗讀イタシマシタ規則ノ通リデゴザ
イマス

○伊澤修二君 チヨット本員ハ聽漏ラシマシタカラ念ノ爲ニ伺フノデアリマ
ス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ノ朗讀イタシタ通リデゴザイマス
〔書記官投票ヲ集ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票漏レハゴザイマセヌカ、……投票漏レハ無イ

ト認メマスカラ、開票ヲ致シマス
〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、總投票數二
百三十九、委員長ノ報告ヲ可トスル者、即チ白色票ヲ投ジタル者二百十一、
否トスル者、即チ青色票ヲ投ジタル者二十八、故ニ委員長ノ報告ヲ可トセラ
ル、諸君ガ多數ト認メマス

〔參照〕

贊成者氏名

公爵徳川 慶久君	侯爵黒田 長成君	侯爵細川 謹成君	侯爵清棲 家教君
侯爵徳川 賴倫君	侯爵大炊御門幾麿君	侯爵花山院 親家君	
伯爵大原 重朝君	伯爵萬里小路通房君	伯爵吉井 幸藏君	
伯爵清閑寺 經房君	伯爵徳川 達孝君	伯爵吉井 幸藏君	
伯爵川村 鐵太郎君	伯爵奥平 昌恭君	伯爵島津 忠麿君	
伯爵松平 直之君	子爵鍋島 直彬君	子爵伏原 宣足君	
子爵堤功 長君	子爵加藤 泰秋君	子爵裏松 良光君	
子爵加納 久宜君	子爵唐橋 在正君	子爵野宮 定毅君	
子爵一柳 末德君	子爵大宮 以季君	子爵井伊 直安君	
子爵松平 乘承君	子爵青山 幸宜君	子爵山口 弘達君	
子爵大久保 忠順君	子爵大田原 一清君	子爵鍋島 直虎君	
子爵牧野 貞寧君	子爵鳥居 忠文君	子爵京極 高徳君	
子爵松平 康民君	子爵新莊 直陳君	子爵久留島 通簡君	
子爵黒田 和志君	子爵本多 實方君	子爵實吉 安純君	
子爵勘解由小路資承君	子爵本多 忠敬君	子爵土御門 晴榮君	
子爵舟橋 遂賢君	子爵藤谷 爲寛君	子爵毛利 元忠君	
子爵樋口 誠康君	子爵入江 爲守君	子爵東坊城 德長君	
子爵松平 直平君	子爵青木 信光君	子爵冷泉 爲勇君	
子爵有馬 賴之君	子爵牧野 忠篤君	子爵酒井 忠亮君	
子爵永井 尚敏君	子爵本莊 宗義君	子爵伊集院 兼知君	
子爵櫛河 護麿君	子爵五辻 治仲君	子爵前田 利定君	
子爵榎本 隆督君	子爵京極 高備君	子爵西大路 吉光君	
武憲君	定政君		

子爵水野	直君	子爵吉田	清風君	子爵本多忠鋒君	岡田良平君	一木喜徳郎君	清英君
子爵豊岡	圭資君	子爵伊東	祐弘君	子爵松平乘長君	山田春三君	仁尾惟茂君	穂積八束君
子爵野村	益三君	子爵丹羽	長徳君	子爵辻新次君	仲小路廉君	木内重四郎君	加太邦憲君
男爵野村	素介君	子爵堤正誼君	宮本一小君	男爵亦松則良君	若槻禮次郎君	高木豊三君	古莊嘉門君
淺田	徳則君	田邊輝實君	田邊輝實君	男爵有地品之允君	馬屋原二郎君	高橋新吉君	高橋新吉君
村田	保君	男爵久保田讓君	高崎親章君	小松原英太郎君	下條正雄君	木場貞長君	木内重四郎君
男爵關義	臣君	男爵沖原光孚君	和田彦次郎君	伊澤修二君	伊澤修二君	高木豊三君	加太邦憲君
江木千之君	興長君	男爵村上敬次郎君	和田彦次郎君	本間金之助君	本間金之助君	馬儀一郎君	馬儀一郎君
男爵中川	内萬壽治君	男爵武井守正君	荒川義太郎君	江原芳平君	江原芳平君	芳太郎君	岡田良平君
男爵杉溪	言長君	男爵目賀田種太郎君	和田彦次郎君	植竹三右衛門君	植竹三右衛門君	美太郎君	山田春三君
折田彦市君	兼行君	男爵太秦供康君	男爵北島齊孝君	廣瀬滿正君	廣瀬滿正君	芳太郎君	仁尾惟茂君
男爵田健	治郎君	男爵阪井重季君	柴田家門君	浜口吉右衛門君	浜口吉右衛門君	太郎君	木内重四郎君
男爵杉溪	言長君	男爵内田正敏君	男爵山内長人君	尼崎伊三郎君	尼崎伊三郎君	太郎君	加太邦憲君
男爵肝付	兼行君	男爵山内長人君	男爵梨羽時起君	矢島榮助君	矢島榮助君	太郎君	若槻禮次郎君
男爵勝田	四方藏君	男爵伊東義五郎君	男爵伊東義五郎君	依田仙右衛門君	依田仙右衛門君	太郎君	高木豊三君
男爵新田	忠純君	男爵外松孫太郎君	男爵平野長祥君	荒井泰治君	荒井泰治君	太郎君	木内重四郎君
男爵宮原	二郎君	男爵南岩倉具威君	男爵中溝德太郎君	松尾廣吉君	松尾廣吉君	太郎君	加太邦憲君
男爵辻	健介君	男爵小池正直君	男爵吉川重吉君	日高榮三郎君	日高榮三郎君	太郎君	若槻禮次郎君
男爵山内	豐政君	男爵吉川重吉君	男爵小早川四郎君	弓削和三君	弓削和三君	太郎君	木内重四郎君
男爵生駒	親忠君	男爵竹腰正己君	佐藤助九郎君	堀正一君	堀正一君	太郎君	木内重四郎君
男爵藤大路	親春君	男爵神乃武君	木本源吉君	木本源吉君	木本源吉君	太郎君	木内重四郎君
男爵山内	豊政君	男爵神乃武君	高崎三重郎君	高崎三重郎君	高崎三重郎君	太郎君	木内重四郎君
男爵安場	末喜君	男爵坪井九八郎君	佐藤友右衛門君	佐藤友右衛門君	佐藤友右衛門君	太郎君	木内重四郎君
男爵安場	末喜君	男爵竹腰正己君	佐藤源藏君	佐藤源藏君	佐藤源藏君	太郎君	木内重四郎君
男爵本田	親濟君	男爵神山郡昭君	田島竹之助君	田島竹之助君	田島竹之助君	太郎君	木内重四郎君
男爵島津	隼彥君	男爵清水資治君	石渡敏一君	石渡敏一君	石渡敏一君	太郎君	木内重四郎君
男爵尾崎	麟太郎君	男爵楠本正敏君	室田義文君	室田義文君	室田義文君	太郎君	木内重四郎君
男爵安藤	直雄君	男爵長松篤棐君	藤田四郎君	藤田四郎君	藤田四郎君	太郎君	木内重四郎君
石井省一郎君	男爵藤堂憲丸君	男爵津田弘道君	岡野敬次郎君	岡野敬次郎君	岡野敬次郎君	太郎君	木内重四郎君
渡正元君	男爵東郷	男爵岩倉道俱君	麻生太吉君	麻生太吉君	麻生太吉君	太郎君	木内重四郎君
富田鐵之助君	中島永元君	男爵東郷安君	鎌田勝太郎君	鎌田勝太郎君	鎌田勝太郎君	太郎君	木内重四郎君
原保太郎君	三宅秀君	男爵東郷秀君	山下喜兵衛君	山下喜兵衛君	山下喜兵衛君	太郎君	木内重四郎君

〔伊澤修二君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 伊澤君ハ何デスカ

○伊澤修二君 唯今ヨリ請願委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、退席ヲ致シ

タウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 伊澤君ノ請願委員會へ退席ノ要求ヲ許可ヲ致シテ
御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔男爵辻新次君「私モ特別委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、御許シ
ヲ願ヒマス」ト述フ〕

○男爵有地品之允君 直チニ三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○男爵久保田讓君 贊成

〔其他賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ有地男爵ノ動議ニ同
意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り
デ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、……マダ議事ガ残ッテ居
リマスルカラ御靜肅ニ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四、刑事訴訟法中改正法律案、衆議院提出、
提出、第一讀會

刑事訴訟法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十五年三月十六日

衆議院議長 大岡 育造

貴族院議長公爵徳川家達殿

刑事訴訟法中左ノ通改正ス

第百三十六條第一項中「第一百二十五條」ノ下「及ヒ」ヲ削リ 「第一百二十八
條」ノ下ニ「及ヒ第百三十二條」ヲ加フ

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔東久世書記官朗讀〕

刑事訴訟法中改正法律案特別委員

伯爵島津忠麿君	子爵大久保忠順君	子爵鍋島直虎君
子爵本多實方君	男爵眞田幸世君	男爵長松篤棐君
奥山政敬君	安廣伴一郎君	本間金之助君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五、水先法中改正法律案、衆議院提出、
第一讀會ノ續、委員長報告

水先法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月十八日

右特別委員長

伯爵吉井幸藏

貴族院議長公爵徳川家達殿

伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル

○伯爵吉井幸藏君 此水先法中改正法律案ハ衆議院ノ提出デゴザイマシテ、
現行法ノ第三條第一號ヲ改正スルト云フ案デアリマス、現行法第三條第一號
ニ二十三年ニ達セザル者ト六十年以上ノ者ハ水先人トナルコトヲ得ナイト云
フ年齢ノ制限ガアリマス、之ヲ二十三年ヲ二十五年ニ引上げテ六十年以上ヲ
撤廢シヤウト云フ案デアリマス、其目的ハ六十年以上ノ者ニモ水先案内ノ營

業ヲ爲サシメルト云フ目的デアリマス、是ガ此改正ノ眼目デゴザイマス、其
理由デアリマス、且ツ他ノ國デモ英、米、獨逸等ニ於キマシテモ水先人ニ年
齡ノ制限ハ無イ、同ジ船乗ノ船長ニモ年齡ノ制限ハ無イ、斯ウ云フヤウナ理
由デ此改正ガ出テ居ルノデアリマス、然ルニ政府ハ此改正案ニ反對ナノデア
リマス、其理由ハ水先人ハ船長ノ依頼ニ應ジ航路ノ最モ危險ナル場所ノ水路
ヲ嚮導スルモノデアッテ、心身トモ最モ健全デナケレバナラヌ、人ハ六十年以
上ニナルト兎角老境ニ入ル、殊ニ水先人ニ最モ必要デアル視力ノ衰ヘルモノ
デアルト云フ理由ガ一ツ、ソレカラ他ノ法律ニ於テモ制限ガアル、例ヘバ海

軍大佐ノ現役定限ガ五十三デアル、ソレカラ民法ニ於テモ六十年ニナルト隱居ヲ許ス規定ガアル、外國ノ例ニモ伊太利デハ水先人ノ年齢ノ制限ガ五十五デアル、水先人ノ年齢ニ制限ヲ置カナイ所デハ、毎年検査ヲシテ、毎年試験ヲシテ、毎年免狀ヲ書換ヘル、斯様ナ譯デアルカラ此改正ノ六十年ト云フ年齡制限ヲ撤廢スルト云フコトニハ反対デアル、又此現行法ガ制定サレマシタトキニハ水先人ガ二十三人アリマシタ、其中十八人ガ外國人デアッタ、然ルニ此現行法ハ水先人タル者ハ帝國臣民デナケレバナラヌト云フノガ土臺ニナテ居ルノデアリマス、併ナガラ其當時、水先ノ免狀ヲ受ケル者ガ少カッタ、ソレカラ又既得ノ權利ヲ重ンジテ其十八人ニ對シテハ除外例ガ設ケテアッテ、續イテ營業シテ居ツタノデアリマスルガ、此淘汰ハ其年齡制限ニ依ツテ段々行ハレテ參リマシテ、今日ハ半バ以下是ハ減ッテ居ル、ソレデ此原則タル水先案内者ハ帝國臣民デナケレバナラヌト云フ目的モ、此制限ヲ除ケレバソレモ長クナル、彼此レ立法當時ノ狀況ト今日ト格別變リハナイ、故ニ此年齡ヲ撤廢スルト云フコトニ付イテモ、又二十五歳ニ上ゲルト云フコトニ付イテモ、即チ全部改正ノ必要ハナイト云フ意見デ、委員會モ此政府委員ノ說ニ同意ヲ表シマシタ次第デアリマス、此段御報告申シマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス

起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 起立者ナイト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ

提出、第一讀會ノ續、委員長報告
產牛馬組合法改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月十八日

右特別委員長

藤田 四郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス
ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス
ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第六、產牛馬組合法改正法律案、衆議院

提出、第一讀會ノ續、委員長報告

產牛馬組合法改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月十八日

右特別委員長

煙草專賣法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十五年三月十八日

〔藤田四郎君演壇ニ登ル〕
○藤田四郎君 產牛馬組合法ノ委員會ノ經過ヲ御報告申上グマス、委員會ニ

貴族院議長公爵德川家達殿

伯爵 奥平 昌恭

〔伯爵奥平昌恭君演壇ニ登ル〕

○伯爵奥平昌恭君 本員ハ唯今、是ヨリ煙草專賣法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ去ル十八日ニ唯一回議事散會後ニ開キマシテ政府委員ノ御説明ヲ承リマシテ、二三質問ガアリマシテ直チニ討議ヲ開キマシタケレドモ、辯論モゴザイマセズ否決ニナリマシタ、其經過ヲ御報告ヲ致シマスルニ先ダチマシテ、簡單ニ沿革ヲ……此改正案ガ議場ニ上リマシタ沿革ヲ御話シ申上ゲマスルト、最初二十三議會ニ出テ居リマスルケレドモ、是ハ其當時ハ條件附キノ否決トナツテ居リマスル、二十六議會ニ於テ衆議院ハ通過イタシマシタケレドモ、貴族院ニ於テハ否決ニナツテ居リマスル、今回御承知ノ通リ衆議院提出案トシテ出マシタケレドモ是モ特別委員會ニ於テハ否決ニナリマシタ、其理由及改正案ノ目的ヲ簡單ニ申上ゲマスル、御承知ノ通リニ改正案ノ目的トスル所ハ煙草專賣法中第十一條及第十二條第一項、第三項及第十七條ニ於ケル所ノ「量目」ノ下ニアル「又ハ葉數」ト云フ文字ヲ削除スルノガ本案ノ目的デゴザイマスル、併シ之ニ付キマシテ政府委員及委員會ノ意見ハ反對デゴザイマシタ、其重モナル點ヲ申上ゲマスト、此否決ヲ致シマシタニ付キマシテハ量目査定及葉數査定、此ニツノ査定方法ノ中何レガ正確ニ査定ノ標準トナリ得ラレルカト云コトヲ申上ゲマスル直チニ御分カリニナル次第アリマス、此ニツノ査定方法ヲ論ジマスルニ付キマシテ、先づ理論上カラ申シマスルト量目査定ト云フコトハ讀ンデ字ノ如クニ査定官ガ即チ目方ヲ見ルノデアリマシテ、苗床及植付ケノ二検査ヲ經テ收穫ノ時期ニ於テ之ヲ査定スルノデアリマスガ、其査定ノ方法ガ具體的ノ方法デナクシテ唯官吏ノ熟練及其烟ニアリマスル所ノ煙草ノ葉ノ形狀及質ノ検査ヲシマシテ、サウシテ之ヲ目分量デ査定ヲ致シマスルカラシテ往々ニ誤算ガ出來易イノデアリマスル、隨ツテ耕作者カラモ異議ノ申立ヲスル場合ガ多イノデゴザイマスル、之ニ反シテ葉數査定ト云フモノハ是ハ量目査定ヨリモ其計量スル所ノ方法ガ具體的デアリマスル、即チドウスルカト申シマスルト云フト、葉數査定ナルモノハ原則トシテ一段歩ニ煙草ノ三千本植付ケラレテ居ルモノ、中カラシテ平均五本ノ木ヲ撰ビ取リマシテ、其五本ノ木ニ附イテ居ル所ノ葉ノ平均數ヲ出シテ其一段歩ニ植付ケラレテ居ル所ノ煙草ニ乘

ズルノデアリマスルカラシテ、サウシテ大數ヲ得テ耕作者ニ示スノデアリマス、故ニ耕作者ニ於テモ反則ヲ致サウト致シマシテモ稍、實際ニ近イ數ガ舉げラレテ居ルノデアリマスカラシテ反則ヲスル餘地ガナインデアリマス、ソレカラ又實際上ニ於キマシテ此量目査定ト葉數査定トヲ明治四十三年ニ葉草ニ對シテ同一ノ技倅アル官吏ヲシテ殆ド同一ノ場所デ殆ド同日ニ検査ヲサセマシタ、其結果ガアリマスルカラ、チヨット申上ゲマスガ、ソレヲ申上ゲマス、量目官報或ハ速記デ御覽ニナリマシタカ知レマセヌガ、ソレヲ申上ゲマス、量目査定ノ方ハ五百二十五箇所デ以テ三千六百餘件ニ亘ツテ試験ヲ致シマシタ結果、一割以上ノ誤算ヲ生ジタモノガ千八百三十六件ゴザイマスル、之ニ反シテ葉數査定ハ五百二十一箇所、三千五百件ノ中ニ一割以上ノ差ヲ生ジタモノガ百四十件モアル次第ゴザイマス、此誤算ノ計數カラ比較シマシテモ、コトデアリマシテ、今大體ニ於テ比較シマスルトニ對スル十倍強ニナツテ居リマスル、ソレデ今度ハ量目査定……然ラバ量目査定ト云フモノニ付イテハドウスルカ、政府ノ方針トシテ、犯罪ノ起リ易イ場所ニハ此葉數査定ヲ適用イタシテ居リマスルケレドモ、併ナガラ犯則ノ憂ノ無イ場所ニハ量目査定ヲ致シテ居リマス、即チ耕作者ノ氣風ノ良イ所ニハ量目査定ヲ適用イタシテ居ル次第ゴザイマスル、デ現今ニ於ケル所ノ量目査定ノ工合ハドウ云フ風ニナツテ居ルカト申シマスルト云フト、之ニ付キマシテ此量目査定ヲ同一ノ自治體内ニ在ル所ノ個人個人ニ區別シテ之ヲ適用スルト云フコトハ不穩當デアリマスルカラシテ、同一ノ自治體内ニ在ル所ノ同一、即チ總テノ耕作者ハ共同責任ヲ帶ビル仕組ニナツテ居リマス、而シテ一定ノ條件ヲ附シテ明治四十年ニ、前三箇年間ニ一ノ犯則者モ出サナカッタ所ノ町村ニ對シテハ、總テノ耕作者ニ量目査定ヲ許シテ居リマスル、ソレデ翌年ニハ即チ四十一年ニハ大字ニモ之ヲ許シ、四十二年ニハ小字ニモ之ヲ許シテ居リマスル、其間ニ多少條件ノ擴張セラレタ所モゴザイマスルガ、ソレハ餘リ複雜ニナリマスルカラ申上ゲマセヌ、ソレデ此量目査定ヲ今受ケテ居ル所ノ町村ハ全町村ノ三分ノ一大字アリマス、ソレカラ耕作者ハ煙草ヲ耕作シテ居ル所ノ人員ノ四分ノ一、ソレカラ段別ハ總數ノ三分ノ一、斯ウ云フ風ナ計算ニナツテ居リマスル、此計算ヲ見マスレバ、量目査定ヲ受ケテ居ル所ノ土地ガ多イデハナイカ、然ラバ直チニ葉數査定ヲ廢シテ量目査定ニシテモ、差支ヘナイデハナイカト云フ議論

午後四時八分散會

ガ立チ易イノデゴザイマスルケレドモ、又一面ニ於キマシテ、此犯則者ノ數及罰金ト云フモノハナカヽ減ラナイノデアリマス、其煙草ニ關スル所ノ犯則ハ全國ヲ合計イタシマスルトキニハ一万件内外デアツテ、最モ密耕作ヲスル者ガ此犯則ノ件數ノ中デハ一番多イトナッテ居リマス、ソレカラ罰金追徵金ハ約二十万圓内外ノ收入ガアルト云フコトデゴザイマスル、之ヲ要スルニ葉數查定ノ如キ嚴密ナル方法ヲ用キルニ拘ラズ、尙ホ犯則者ノ數ト云フモノハ減少ヲシテ満足スル状態ニアルト云フコトハ申上ゲラレマセヌ、故ニ今日ノ場合ニ於テ突然葉數查定ヲ廢止シ、即チ削除シテ仕舞フト云フコトニナリマスレバ、言葉ヲ換ヘテ申上ゲマスレバ、此改正案ガ法律トナッタ暁ニハ如何ナル結果ヲ生ズルカト申上ゲマスレバ、犯則者ノ數ヲ増加シハシナイカト云フコトノ虞ガアル、一面ニ於テハ犯則ヲスルコトガ容易ニナッテ來マスルカラシテ、取締ニ付イテモ量目査定ノミヲ以テスルトキハ多大ナ不便ヲ感ジ、自然取締官ヲ増加シテ、耕作者ノ戸毎ニ配付ラシ、嚴重ニ取締ヲスルトカ、臨檢ヲスルトカ云フコトニナリマシテ、一面ニ於テハ國民ト官吏トノ間ニ衝突ヲ來タシ、他面ニ於テハ俸給其他ノ經費ヲ増加シテ、遂ニハ專賣制度ノ根本ヲ誤ラシムルニ至ラムカト存ゼラレルノデゴザイマスル、故ニ委員會ハ輕シク此量目査定ト云フノミヲ存在シテ「又ハ葉數」ト云フ此四字ヲ削除スルト云フコトハ、國利民福ヲ增進スル點ニ於テ適當ノモノデナイト云フコトノ下ニ否決イタシタ次第デゴザイマスル、終リニ一言附加シテ置キタイノハ、煙草專賣ニ付イテ百年經驗ノアル佛國デ……佛蘭西デサヘモ量目査定ヲ許シテ居ラヌト云ソコトデゴザイマスル、之ニ反シテ我國ハ量目査定ヲ許シテ居ルト云フコトハ、耕作者ノ氣風ガ即チ犯則者ヲ出ダサナイト云フコトニ段々近ヅキツ、アルト云フコトヲ申上ゲテモ宜カラウト存ゼラレマス、是ニテ報告ヲ終リマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵德川家達君) 起立者ナイト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス